

① 私たちの住んでいる所 3

(1) 千葉県の中の館山市 4

(2) 安房郡の中の館山市 7

② 館山市の仕事のようす 11

(1) 仕事の種類 12

(2) 商業のようす 14

(3) 農業のようす 22

(4) 漁業のようす 32

(5) 工業のようす 40

(6) 観光のようす 46

③ 市内各地区のくらし 53

(1) 海と漁業のまち 船形 54

(2) 門前町として栄えてきた 那古 64

(3) 館山市の中心 北条 72

(4) 城下町として栄えた 館山 80

(5) 花づくりが盛んな 西岬 88

(6) 安房開拓神話の里 神戸 96

(7) 黒潮流れる海辺のまち 富崎 104

(8) みのり豊かな歴史の里 豊房・神余 114

(9) 古代安房の中心地 館野 128

(10) 田園風景が続く豊かな土地 九重 138

④ くらしをささえるしくみ 151

(1) 水道のしくみ 152

(2) 私たちの生活とごみ 160

(3) きれいな海や川を守る 168

(4) 火事をふせぐ 176

(5) 交通事故をふせぐ 184

(6) みんなで学びあう 192



1 ^{わたし}私たちの^す住んでいる^{ところ}所



(1) 千葉県の中の館山市



菜の花畑

わたしたちの住んでいる館山市は、千葉県のうちのどんなところにあるのかな。いろいろな面から調べてみよう。



1 房総半島の南端にある館山市

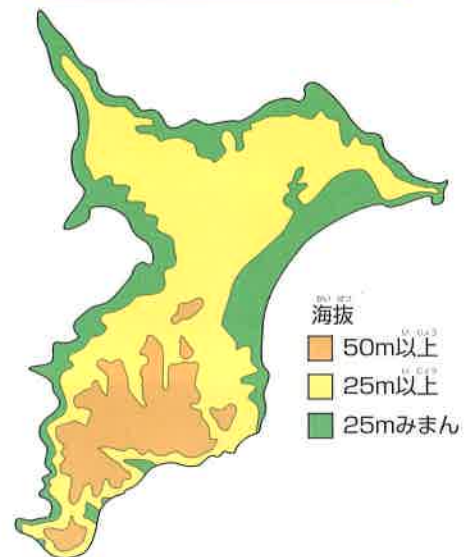
千葉県のようすを見てみよう

千葉県は、東西の長さは約100キロメートル、南北の長さは約134キロメートルで、太平洋につき出た半島からなっています。面積は、約5,156平方キロメートルで、全国第27位ですが、東京都と神奈川県を合わせた面積よりも広く、その中に約590万人の県民が生活しています。地形の面からみると、千葉県の北の方には台地や平地が多く、南の方は山地が多くなっています。



南房総の山なみ

千葉県の地形のようす



日本一低い県

ほぼ平らな地形の千葉県は、平均海拔が約43メートルと、日本一低い県でもあります。千葉県内では、まるやままちにある愛宕山が一番高く、海拔が408メートルあります。

館山市のようすを見てみよう

館山市は、この山の多い安房郡の西側で、千葉県の南の端にあります。西は東京湾、南は太平洋と、まわりが海にかこまれていて、31.5キロメートルもの長い海岸線は、国定公園に指定されています。

面積は、約110平方キロメートルで、東西の長さは約17キロメートル、南北の長さは約16キロメートルあります。

また、平久里川と汐入川の流れる館山平野には、平地が広がり、この海岸よりに、館山市の人口の5分の4の人びとが住んでいます。

みんなの家や学校がどのあたりにあるか、下の地図でさがしてみましよう。



①館山湾 (鏡ヶ浦)



②洲崎灯台

館山市の位置と面積



③空からみた平砂浦海岸

2 冬でも暖かい南房総・館山

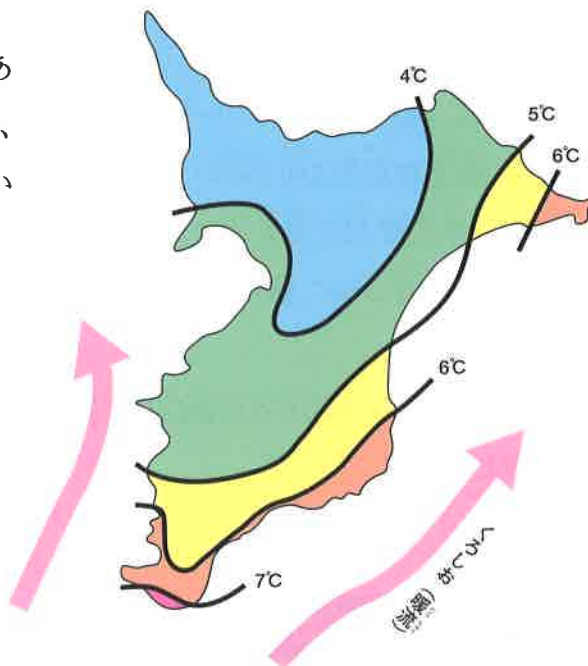
気候の面からみると、冬場は千葉県の南の方が北の方より暖かく、内陸より海辺の方が暖かくなっています。

下のグラフは、館山市の月別の平均気温と降水量をあらわしています。館山市の年間平均気温はおよそ16度で、冬は暖かく夏は涼しい、過ごしやすい気候にめぐまれています。

館山市は、千葉県でもっとも暖かくなっていますが、そのわけを地形や海流の面から考えてみよう。



千葉県の気候・1月の平均気温



館山市の月別平均気温と降水量 (平成7年1月～12月)



資料：館山市統計

あわちいき なか (2) 安房地域の中の館山市



シイアル JR 館山駅 (西口)

館山市とまわりの市町村
とのかわりやそのようす
を調べてみよう。



① 人口のようすを調べてみよう

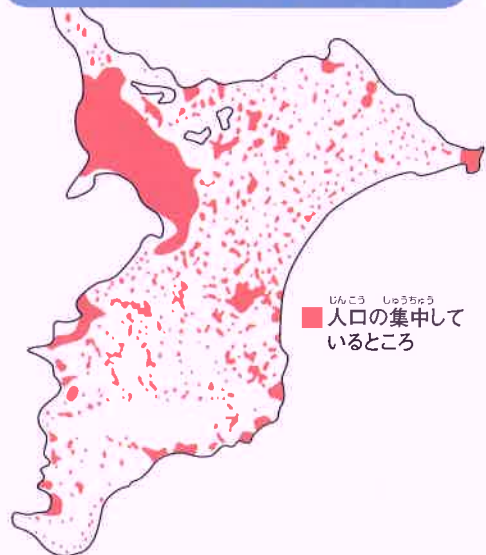
千葉県の一歩南にある安房地域には、11の市町村があります。大きく分けると、「鋸南」「館山」「朝夷」「長狭」の4つの地区に分けられます。

人口の面で見ると、安房地域全体の人口は約14万6千人で、館山市には約5万2千人の人が生活しています。しかし、館山市をふくめ、安房地域の人口は昭和25年の198,716人（国勢調査）をピークに減ってきています。また、人口分布図をみると、安房地域は千葉県の北の方よりずっと人口が少ないのがわかります。

あわちいき しちょうそん
安房地域の市町村



ちばけん じんこうぶんぶ
千葉県の人口分布のようす



館山市の人口のようすを 見てみよう

次に、館山市の人口のようすを見てみましょう。右の表は、平成12年と平成7年の館山市の人口と世帯数をまとめたものです。平成12年の館山市の人口は、51,408人で、平成7年とくらべて1,472人減っています。地区別では、ほとんどの地区が減っていますが、那古地区と館野地区が増えているのがわかります。

館山市をふくめ、安房地域は、冬でもあまり寒くなく、住みよいところですが、人口が減りつづけていてそれぞれの市町村では困っています。

館山市の人口のようす

地区名	人 口			世 帯		
	総 数	増減数	増減数	世帯数	増減数	増減数
	平成7年	平成12年		平成7年	平成12年	
総 数	52,880	51,408	△1,472	18,698	19,232	534
館 山	14,045	13,345	△700	5,137	5,154	17
北 条	12,858	12,625	△233	4,982	5,090	108
那 古	5,267	5,316	49	1,762	1,938	176
船 形	4,392	4,097	△295	1,517	1,486	△31
西 岬	3,224	3,071	△153	1,091	1,117	26
神 戸	3,309	3,304	△5	984	1,045	61
富 崎	1,475	1,256	△219	529	495	△34
豊 房	2,809	2,755	△54	857	896	39
館 野	3,562	3,732	170	1,242	1,389	147
九 重	1,939	1,097	△32	597	622	25

資料：館山市統計（国勢調査・平成12年は速報値）

どうしてこのようなことが起こったのかな。みんなでそのわけを話し合ってみよう。



昼と夜の人口

館山市のまわりには、富浦町、三芳村、丸山町、千倉町、白浜町などがあり、館山市は、生活や仕事の上で、これらの町や村の中心の役割をはたしています。

平成7年の調査で見ると、通勤や通学などのために、市外へ出かけていく人の数は4,870人。一方、市外から館山市内の職場や学校へ通ってくる人の数は8,305人で、昼間の人口は、夜の人口（住んでいる人の数）より3,435人増えています。昼と夜の人口を比べる人口比率は



106.5パーセントで、これは千葉県で第4位。まわりの市町村から館山市へたくさんの方が通ってきていることがわかります。

2 交通のようすを調べてみよう

交通の中心・館山駅

館山市を交通の面から見てみましょう。東京や千葉市から見ると、館山市は、千葉県の中でも遠いところにあります。

鉄道は、JR内房線が通っていて、特急で千葉市まで約1時間30分、東京まで約2時間で結び、「ビューさざなみ」などリゾート地にふさわしい車両が走っています。

市内には那古船形駅、館山駅、九重駅の3つの駅があります。特に、館山駅は通勤や通学のほか、館山市をおとずれる観光客など、1日平均で約8千人もの人に利用されています。また、バスやタクシーなどの発着所としても利用されています。

館山駅は今まで、海に背を向けていましたが、平成11年には、西口の街並みと合った明るいデザインの駅舎に生まれかわり、西口から北条海岸へ行くことができるようになりました。



ビューさざなみ



館山駅東口ロータリー

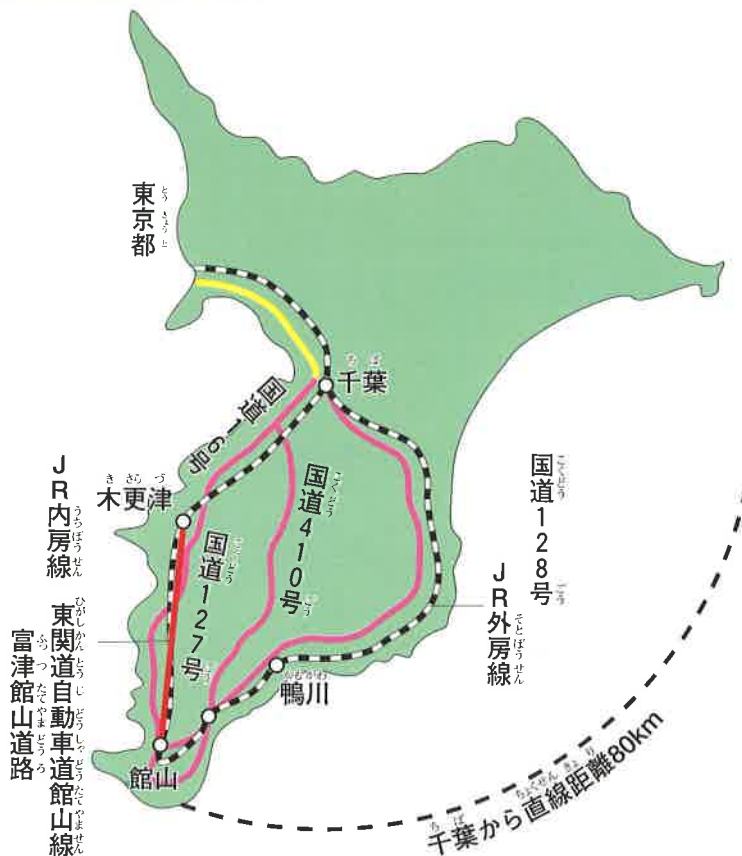


館山駅西口



館山駅西口（夕映え通り）

交通のようす



館山と千葉を1時間でむすぶ高速道路

市内を通っているおもな道路は、千葉方面へむかう国道127号館山バイパスと鴨川方面へむかう国道128号線があります。国道127号館山バイパスは、近い将来、高速道路や東京湾アクアラインとむすばれ、千葉と館山の間を約1時間ほどで行くことができるようになります。

また、最近では、南房総と東京駅の間をむすぶ高速バスが運行を始めました。高速バスは、白浜町を出発し、千倉町、館山市、富浦町、富山町、東京湾アクアラインを通して東京駅に着きます。1日7往復運行し、館山駅と東京駅の間を約2時間20分でむすび、仕事や買い物に行く人のほか、観光客などたくさんの人が利用しています。



国道127号館山バイパス（北条小付近）

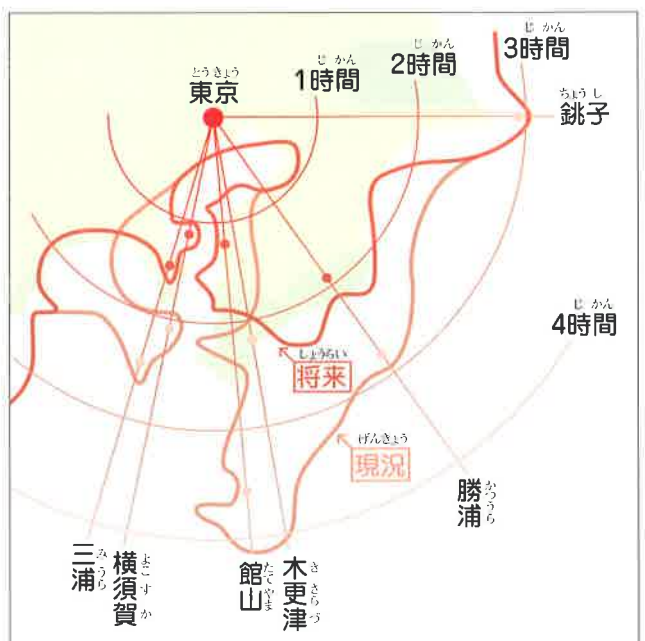


東京駅へむかう高速バス

首都圏への幹線道路網図



時間距離図



高速道路ができるとわたしたちの生活はどうかかわるのかな。みんな考えてみよう。





2 館山市の仕事のようす



(1) 仕事の種類

館山市の人たちは、
どんな仕事をしているの
か調べてみよう。



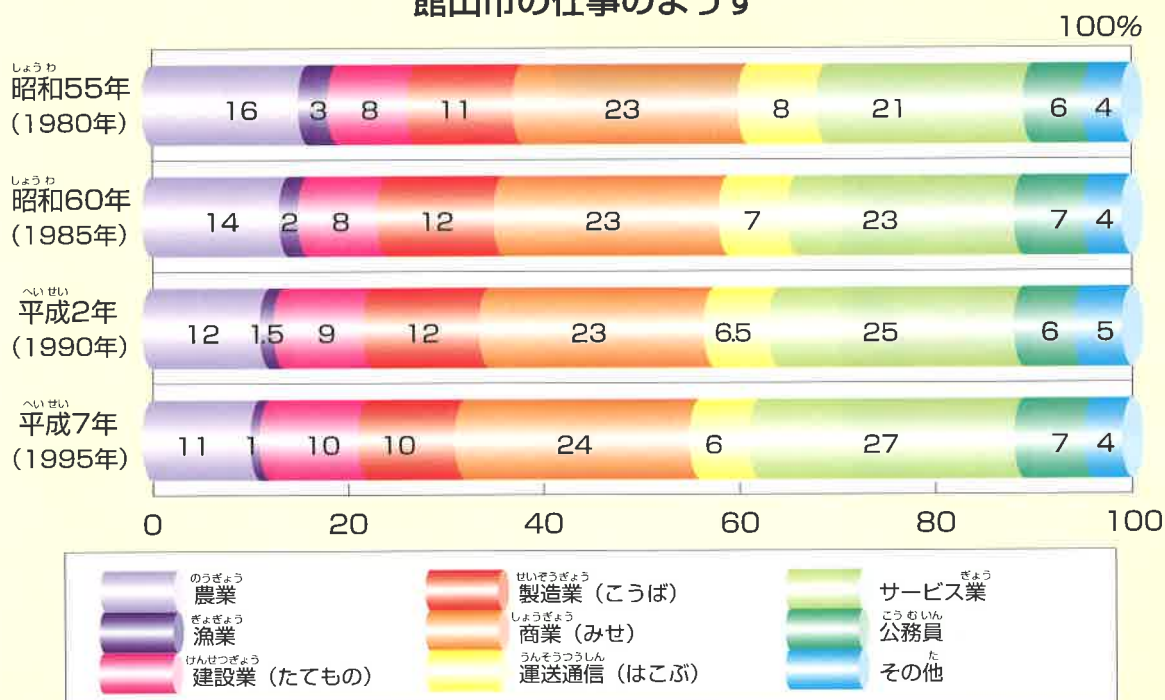
1 仕事の種類を調べてみよう

館山市で働く人たちの仕事は、どんな仕事が多いでしょうか。
下のグラフは、館山市の仕事の種類をまとめたものです。
全体で見ると、商業やサービス業が多いです。そのうつり
かわりを見ると、昭和55年には、商業がもっとも多く、次にサー
ビス業、農業、製造業と続いています。平成7年には、サービス
業が一番多くなっていますが、農業や漁業などのように、年々働
く人が減ってきている仕事もあります。



神戸地区・ポピー畑

館山市の仕事のようす



資料：館山市統計（国勢調査）

2 地図や写真で見よう

館山市の人は、農業や商業など、いろいろな仕事をしてもらっています。それぞれの仕事は、土地のようすに合わせて、進められています。

下の地図は、市内のどこで、どんな仕事が行われているのか、おもなものをまとめたものです。どんな場所に、どんな仕事が多いのか調べ、そのわけも考えてみましょう。



(2) 商業のようす

館山市には、どんなお店があるのかな。
店の種類やようすを調べてみよう。



1 店の種類やようす

いくつかのお店があるのかな？

商店は、大きく分けると、「卸売店」「小売店」「飲食店」の3つに分かれます。卸売店は、生産者から大量の商品を仕入れて小売店に商品を売り、私たちは小売店から品物を買います。

館山市には、どんな商店があるでしょうか。右の表は、館山市の商店の数と商品の年間販売額をまとめたものです。

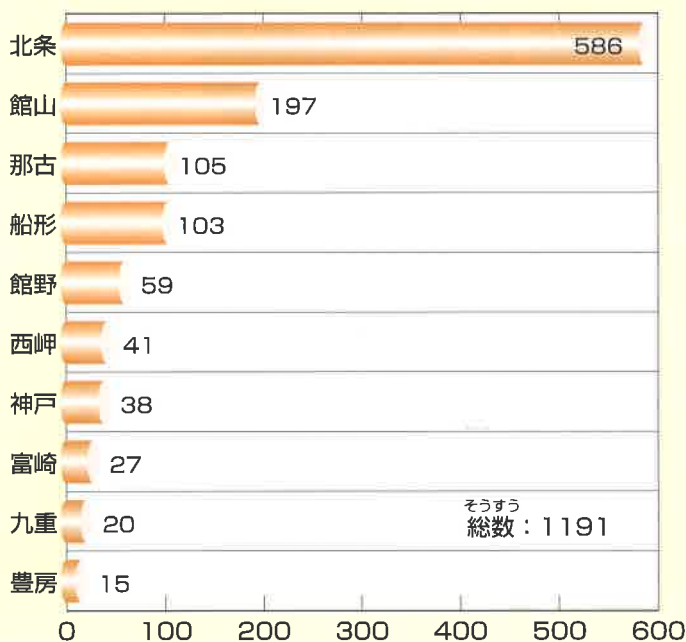
平成6年の時点で、卸売店は228店、小売店は963店の商店があります。飲食店は、平成4年の時点で263店あります。

商店の数と年間販売額

商店の種類	商店数	年間商品販売額
卸売店	228	6,513,677万円
小売店	963	7,665,860万円
飲食店	263	640,858万円

資料：館山市統計（商業統計調査）
卸売店・小売店は平成6年
飲食店は平成4年時点

地区別に見た商店の数（卸売店・小売店）



スーパーの店内のようす

資料：館山市統計（平成6年・商業統計調査）

また、これらの商店を地区別に見ると、北条地区にたくさんの商店が集まっていることがわかります。

どんな商品を売っているのかな？

それぞれの商店では、どのような商品を売っているのでしょうか。

卸売店では、「野菜や魚」などをあつかっている卸売店が52店でもっとも多く、「食料品・飲料品」が46店、「建築材料」が39店などとなっています。

小売店では、「寝具・洋服」などを売っている小売店がもっとも多く147店、「食料品」などが127店、「パン・菓子」などが88店などとなっています。(下グラフ)

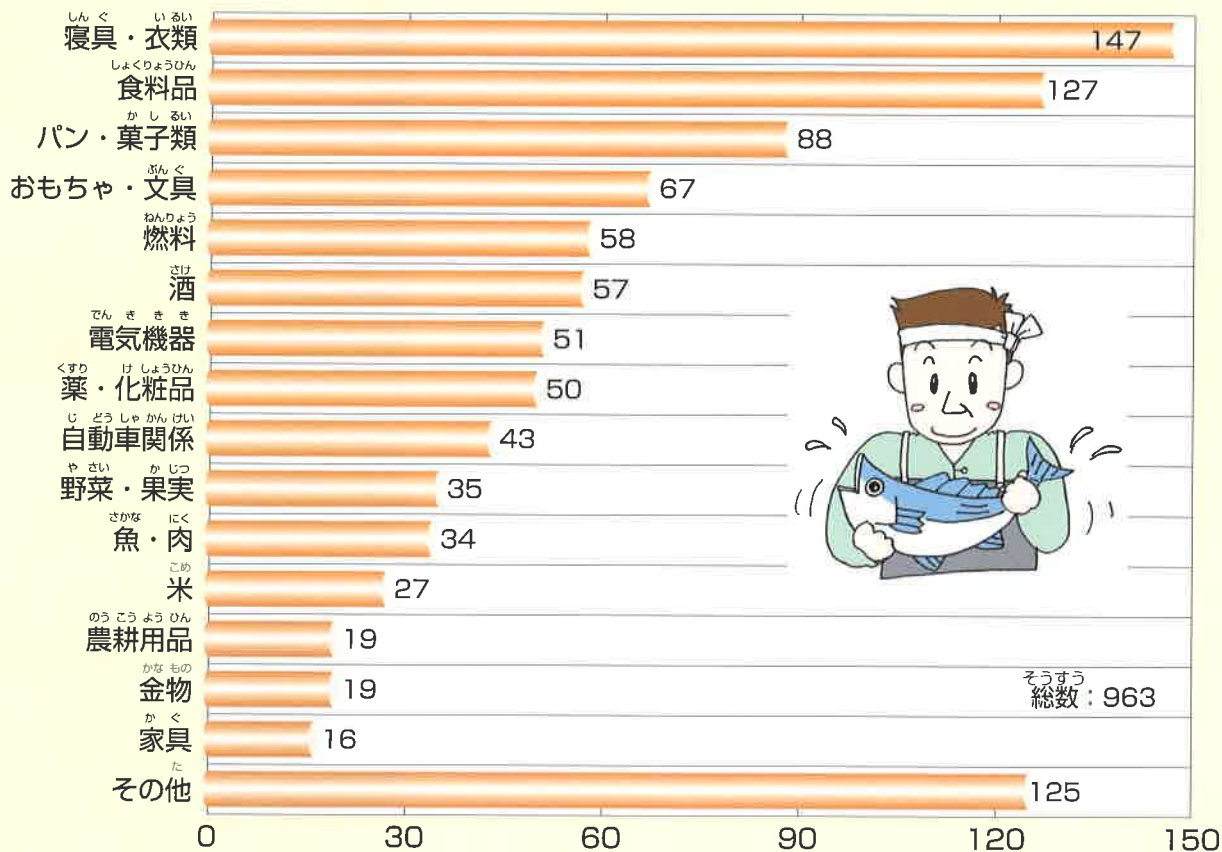


商店街の魚屋さん



商店街のやおやさん

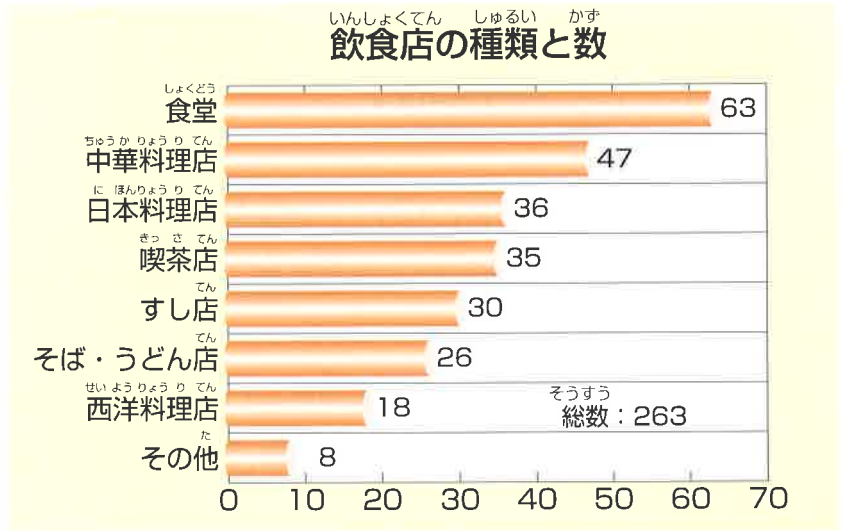
小売店の種類と数



資料：館山市統計（平成6年・商業統計調査）

いんしょくてん しょくどう てん
 飲食店では、「食堂」が63店、
 ちゅうかりょうりてん など47店、「日本
 りょうりてん けん きっさてん
 料理店」が36店、「喫茶店」が35
 てん てん てん つづ
 店、「すし店」が30店と続いていま
 す。(右グラフ)

みんなの家や学校のまわりには
 どのような商店があり、どんな商品
 を売っているのか調べてみましょ
 う。



資料：館山市統計（平成4年・商業統計調査）

2 商店街のようす

館山市で商店の多いところは、北条・館山・船形・那古で、
 国道や県道にそって立ちなんでいます。中でも、北条地区に
 は、館山市全体の半分近くの商店が集まっています。

北条地区で、もっとも多くの商店が集まっているところは、館山
 えきまがしぐち ろっけんちやう とお たてやまぎんざ どの よ
 駅東口にある六軒町で、この通りは「館山銀座通り」と呼ばれ
 ています。館山銀座通りには、いろいろな種類の商店がいくつも
 あります。毎年8月には、「銀座まつり」が行われ、たくさんの人
 でにぎわいます。

たてやまぎんざ どの みせ あつ
 館山銀座通りに店が集まっているのは、館山駅に近く、交通
 の便がいいからです。しかし、最近では、空き店舗も20店以上
 を数え、店を閉めてしまう商店もあります。自動車などの普及や
 おおがたてん こうがい か
 大型店が郊外にできたことなどにより、ようすが変わってきていま
 す。

なぜ、空き店舗がふえているのか、そのわけを調べてみま
 しょう。また、商店街では、空き店舗を活用したとりくみもしていま
 す。どのような工夫をしているのか、商店街へでかけ、調べて
 みましよう。



多くの商店がならぶ「館山銀座通り」



多くの人でにぎわう「銀座まつり」



「銀座まつり」のメインイベント・あわ踊り

4 変わってきた店のようす

最近、バイパス沿いや郊外に、広い駐車場を持った大きな店が増えてきました。レストランや自動車販売の店のほか、日用雑貨の大型店などがあります。これらは、一つの店でいろいろな品物がそろっていて便利のために、お客さんが増えています。

また、市内のいろいろな場所にコンビニエンスストアも増えてきました。そのうち、24時間営業のコンビニエンスストアは、平成13年の時点で、13店あります。駐車場もあり、品数も多いので、多くの人が利用しています。また、品数だけでなく、宅急便や電気・電話料金の振込み、コンサートや映画のチケット、音楽CDやテレビゲームのソフトなども扱っていて、とても便利です。

どのような品物がよく売れているのか、お客さんはどんな時にいくのか調べてみましょう。



お客さんでいっぱい
大型スーパーの店内のようす



24時間営業のコンビニエンスストア



ショッピングは館山で

どれくらいの人か、地元で買い物をしているのかを表すのに「地元購買率」という数字があります。平成10年の時点で、館山市の地元購買率は、「食料品」が99.0パーセント、「洋服や家具」など生活に必要なものが85.8パーセントで、ともに千葉県で1位。一方で、館山市のまわりの町や村では地元購買率は低くなっています。

館山市民やまわりの町や村の人たちが、館山市内の商店でよく買い物をしているのがわかり



ます。

みんなの家では、どこでどんなものを買っているのか、調べてみましょう。

5 市場のはたらきを見よう

魚市場と青果市場

八百屋さんや魚屋さんには、たくさんの種類の品物が並んでいます。店の人が、それを一つずつ見て買っていくというのは、たいへんなことです。そこで、品物を一か所に集めれば、売る方も買う方も助かります。各地から品物を集めて、広いところに並べて、「せり」にかけて、店の人たちに売り渡すのが「市場」です。

市場には、魚を取り扱う「魚市場」と、野菜を取り扱う「青果市場」があります。市場では、どのように仕事を進めているのかしら調べてみましょう。



魚市場のようす



青果市場のようす



房州ずし

館山市を中心に、房州にはたくさんのお寿司屋さんがあります。三方を海にかこまれた房州は、たくさんの新鮮な魚がとれます。魚のおいしい海のまち館山は、お寿司のおいしいまちでもあります。

右の写真は、市内のお寿司屋さんたちが、自慢のお寿司をたくさんの人に食べてもらおうと、みんなで協力してつくった「寿司まっぴ」です。地魚や少し大きめの田舎寿司など、新鮮なネタと自慢の料理を紹介しています。みんなは、どんなネタのお寿司が好きですか。



寿司まっぴ



房州ずし

魚市場のようす

魚市場は、たいていがそれぞれの港にあります。市内には10の漁港があり、西岬の波左間漁港や船形漁港などでは、たくさんの魚が毎朝水揚げされています。水揚げされた魚は、「せり」にかけられ、魚屋さんたちが自分のほしい魚に値段をつけ、一番高い値段をつけた人がその魚を買っていきます。

イワシ漁がさかんな船形漁港では、宮崎県や高知県など遠くからカツオ船がやってきて、カツオをとる時のえさにするために、大量のイワシを買っていきます。



船形漁港の魚市場



漁師さんがとってきた魚は市場へはこぼれます



毎朝たくさんの魚が水揚げされる魚市場



魚は同じ種類ごとに集められます



しわけがおわるとせりがはじまります



せりのようす

いちば市場ではたくさんの方がはたらいています。どのようなくふうをしているのか調べてみよう。



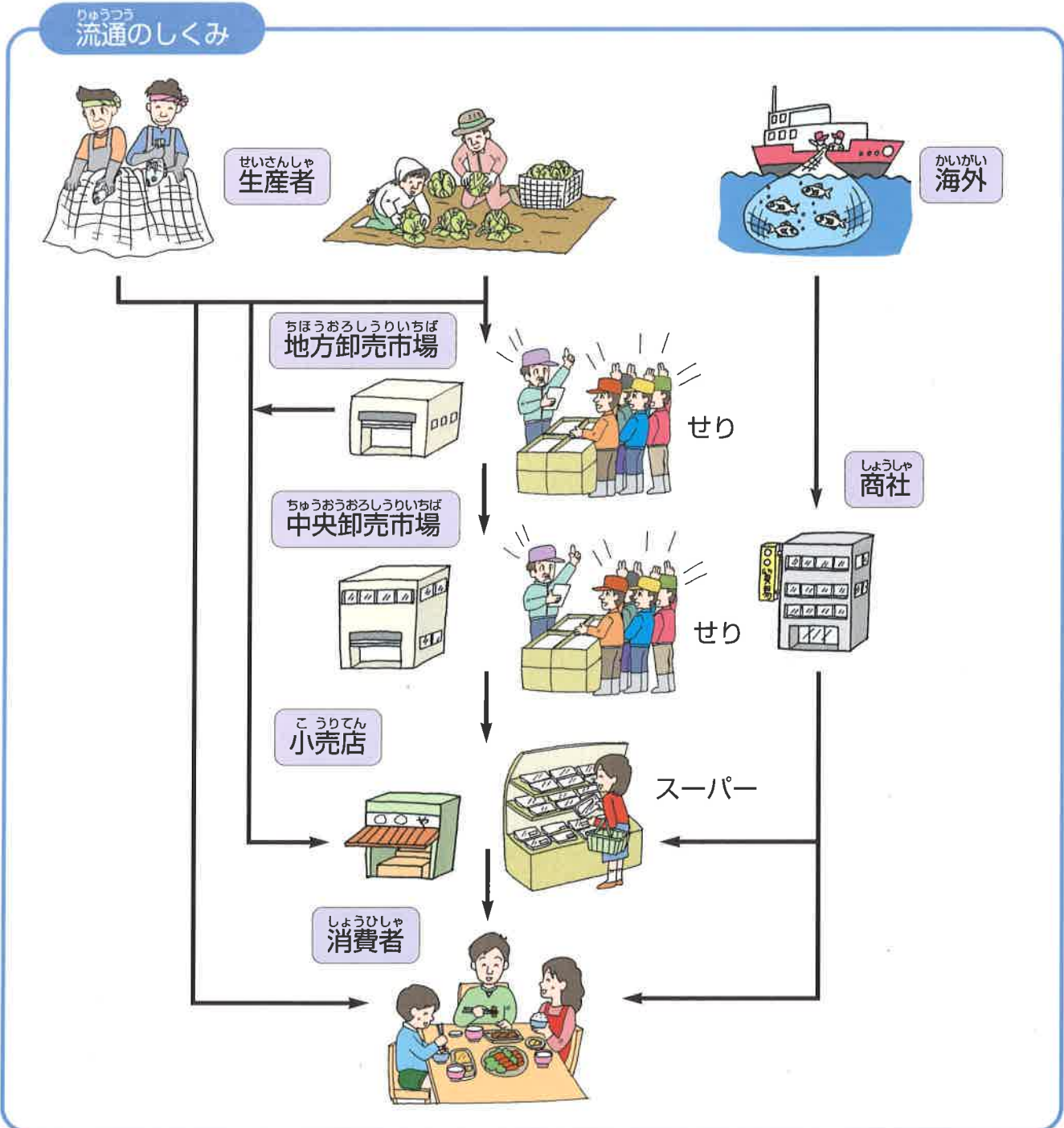
はいかいちば
青果市場のようす

館山市には、安布里や那古に青果市場があります。青果市場も魚市場と同じように、朝早くから新鮮な野菜が並べられ、「せり」を行い、小売店へ運ばれていきます。

下の図で、魚と野菜が食卓にならぶまでをみてみましょう。



たくさんの野菜がならぶ青果市場



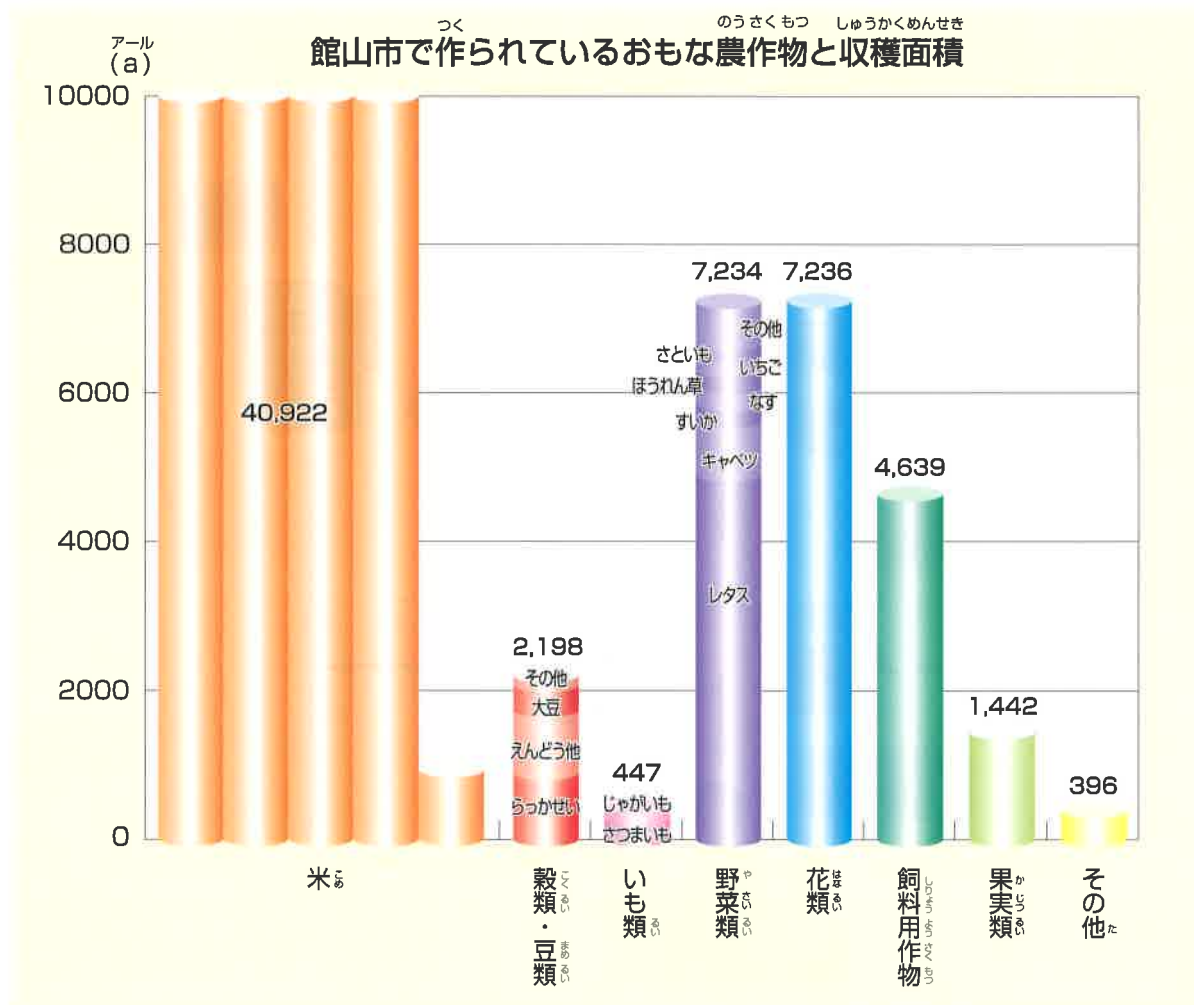
(3) 農業のようす

農家の人たちは、どんな工夫をしているのかな。みんなで調べてみよう。



1 館山市で作られている農作物

下のグラフは、館山市で作られているおもな農作物と収穫面積をあらわしたものです。米を中心に、いろいろな野菜や果実、花などが栽培されています。



資料：館山市統計（平成12年農業センサス）

② 地図や写真で見よう

下の地図と写真は、市内のいろいろな場所で行われている農業の様子です。これを見ると、同じ農業でも場所によって違いがあることがわかります。

それぞれの地区では、山あい、海岸、砂地など、その土地にあった作物が育てられています。どこで、どのような農作物が作られているのか、調べてみましょう。



米づくり (那古地区)

ビワハウス (館山地区)

花づくり (西岬地区)

いちご栽培 (館野地区)

干荷栽培 (豊房地区)

どんな作物が作られているのかな？

米

全体^{ぜんたい}のようすを見ると、収穫面積^{しゆかくめんせき}の一番多いの^{いちばんおお}は、米^{こめ}です。米^{こめ}は市内^{しん}全域^{ぜんいき}のほとんどの農家^{のうか}で作^{つく}られています。中^{なか}でも、館野^{くわの}地区と九重^{くわむら}地区には、
耕地整理^{こうちせいり}された^{ひろびろ}広々とした水田^{すいでん}が広がっています。



広々とした水田が広がる九重地区

野菜

野菜^{やさい}も水田^{すいでん}の裏作^{うらさく}として、いろいろな作物^{さくもつ}が作^{つく}られています。特に、神戸^{とく}地区ではレタス^{さいばい}栽培^{さか}が盛^{さか}んで、一大産地^{いちだいさんち}になっています。いんげん^ちは、おもに船形^{ふねがた}・那古^{なご}・北条^{きたじょう}地区で作^{つく}られています。いちご^{いちご}は、那古^{なご}・豊房^{とよぼう}・館野^{くわの}地区で作^{つく}られています。



神戸地区のレタス栽培

花

冬^{ふゆ}でも暖かい館山^{あたたか}市では、花^{はな}の栽培^{さいばい}も盛^{さか}んです。ストック^{すとっく}、トルコギキョウ^{とるこぎきょう}、アイリス^{あいらす}などが、西岬^{にしさき}・神戸^{とく}地区^{ちゆうしん}を中心に栽培^{さいばい}されています。



神戸地区の花の栽培

果実

果実^{かじつ}類^{るい}では、ビワ^{びわ}が那古^{なご}・船形^{ふねがた}・館山^{くわんざん}地区^{ちゆうしん}で栽培^{さいばい}されています。富浦^{とみうら}町^{まち}を中心に鋸南^{のこなん}町^{まち}、^{とみやま}富山^{とみやま}町^{まち}、館山^{くわんざん}市^しで栽培^{さいばい}されているビワ^{びわ}は「房州^{ぼうしゅう}ビワ」として全国的^{ぜんこくてき}にも有名^{ゆうめい}です。



なし^{なし}は那古^{なご}・館野^{くわの}・九重^{くわむら}地区^{ちゆうしん}で作^{つく}られています。



館山地区のビワ栽培

果樹栽培面積



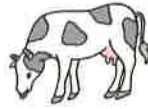
その他
農家数 2
収穫面積 10
アル
単位：a

資料：館山市統計（平成12年農林業センサス）

畜産

グラフを見ると、飼料用作物が作られていることに気づきます。これは、酪農家があることを示しています。酪農の仕事は、乳牛の飼育がほとんどで、西岬・富崎地区をのぞく市内全域で飼育されています。

肉牛、豚、ニワトリはわずかですが、市内のいろいろなところで飼育されています。



乳牛の飼育

観光農業

温暖な気候と豊かな自然に恵まれた館山市では、1年を通して、農業生産が行われています。その農産物を活用した観光農業が盛んです。

花の栽培が盛んな西岬地区や神戸地区では、ポピーなどの花摘みができる観光農業が行われています。

また、館野・豊房地区の観光いちご狩りや、酪農が盛んな九重地区では、乳しぼり体験や小動物とのふれあいができる牧場もあり、館山市を訪れる観光客によるこばれています。



ポピー花摘み



観光いちご狩り



小動物とのふれあい

みんなの学校や家のまわりでは、どんな農業が行われているかな。農家の人の工夫を聞いたり、作り方を見学したりして、たしかめてみよう。



3 農家のようすを見てみよう

館山市には、約2,000戸の農家がありますが、その数は年々減ってきています。

平成12年時点の農家の数は2,099戸です。そのうちわけを見ると、専業農家は453戸、兼業農家は1,646戸で、兼業農家が多くなっています。

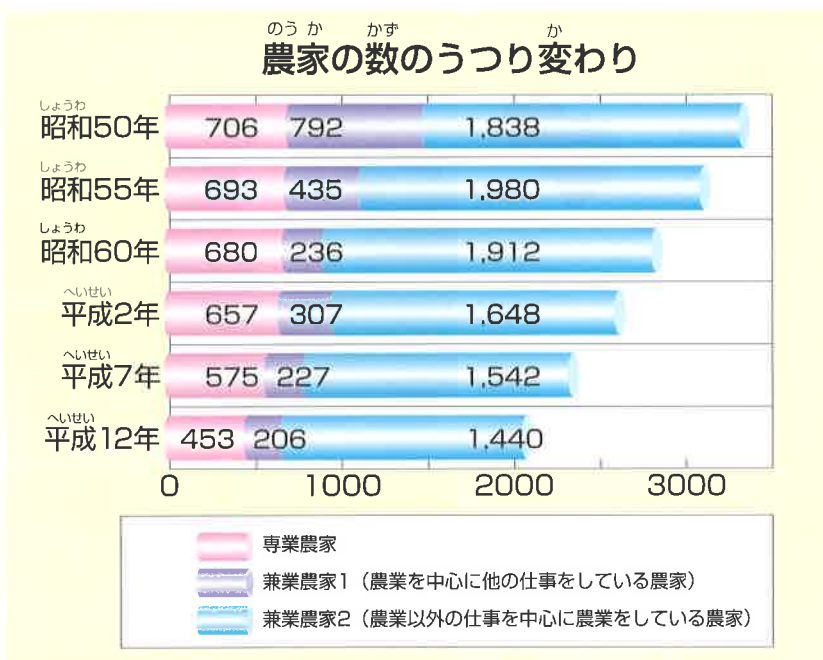
また、兼業農家1,646戸のなかでも、農業を中心に他の仕事をしている農家は206戸、農業以外の仕事を中心に農業もしている農家は1,440戸で、会社などにつとめながら農業の仕事をしている農家が全体の半数以上をしめています。



洲崎・ストック畑



米の収穫のようす



資料：館山市統計（農業センサス）

4 安房農業協同組合（JA安房）のはたらき

どんな仕事をしているのかな？

安房地域の各市町村の農家の人たちは、みんながそれぞれお金をだし合い、くらしを豊かにするために、「安房農業協同組合」(JA安房)を作っています。

JA安房では、農家の人たちのお金をあずかったり、肥料や農薬をまとめて買ったり、お米や野菜、花などを売るお手伝いをしたりしています。近ごろでは、トラクターやコンバインなどで、農家の仕事の手伝いもしています。

JA安房の本店は九重地区にあります。本店からはなれたところには支店をおいて、農家の人が農協を利用しやすいようにしています。



米の収穫のようす



お金をあずかったりかしたりする

のうぎようきようどうくみあい
農業協同組合ではどんなし
ごとをしているのでしょうか



お米をライスセンターへ集める



ひりよう
肥料やたねをせわする



あわのうぎようきようどうくみあい ほんてん
安房農業協同組合（本店）



のうぎよう
農業のべんきよう



のうぎようきようかい
農業用機械を売る

みんなの学校の近くに
も、JA安房の支店がおか
れています。そこで働く人
の仕事の調べてみよう。



いろいろな野菜がならぶ直売所と農業体験

JA安房や農家の人たちは、新鮮な農作物をたくさんの人に食べてもらおうと、市内のいろいろなところで直売所を開いています。

JA安房館野支店のとなりには、農協婦人部のみなさんが運営する「ふれあいショップ」があります。店の中には、新鮮な野菜をはじめ、ジャムやたくわん、梅干しなど、安心して食べられる自然食品がならべられています。特に「房州館山ふるさとの味」のラベルがついたみそは、人気のある商品です。

また、JA安房青年部では、農業の楽しさをたくさんの人に知ってもらうために、体験農業教室を開いています。「田のくろ大がく」と名づけられた教室では、田植えや稲刈りのほか、マスクメロンの栽培や豆腐の作り方などを体験することができます。



いろいろな野菜がならぶ直売所



九重地区にある直売所



自然薯の直売所 (九重地区)



田のくろ大がく・田植え体験



神余地区の青空市



田のくろ大がく・田植え体験



おもしろ探検隊

南房総の特産品・食用ナバナ

冬でも暖かい南房総では、1月から3月にかけて食用ナバナ(菜の花)の出荷がピークをむかえます。水田の裏作として栽培されている食用ナバナは、一足早い春の味覚を味わえる南房総の特産品でもあります。

安房郡市内の約2割にあたる2,000戸の農家で栽培され、全国の半分以上をしめる年間1,500トンの生産量は、日本一。お年寄りの農家の人でも栽培ができ、東京の市場でも年々人気が高まっている数少ない野菜の一つです。

その昔、切り花用に出荷していた「菜の花」が、

東京の料亭で高級料理として食べられていると聞いた白浜町の農家が、食用のナバナとして栽培を始めたのが、生産が広まったきっかけだそうです。



出荷用にたばねられたナバナ

5 米作りの工夫を見てみよう

昔の田は、道路や用水路がなく、形もいろいろだったため、水を引いたり、機械を入れるのによその田を通すので、困ることがたくさんありました。

また、たくさんの水田をもっている農家では、米のとり入れのときは、とてもいそがしくなります。昔は、とり入れた米は、もみのまま、毎朝、庭に何十枚ものむしろをしいて干していました。

秋は、天気が変わりやすく、雨がふると、大急ぎで物置の中にしまったり、夕方にはしまわなければならないので、たいへんな仕事でした。

また、おいしいお米を作るためには、じょうぶな苗が必要です。その育て方はむずかしく、毎日の水やりや温度管理は、農家にとってたいへんな作業でもあります。



天日ぼしのようす



山あいの水田のようす

作業のしやすい水田づくり

農家の人たちは、「土地改良組合」を作って、みんなでお金を
出したり、国からお金を借りたりして、仕事のしやすい水田や道
路をつくっています。

近ごろの水田は、下の写真のように耕地整理が進み、どこも
長方形で同じ広さになっています。そして、どの田も「道路」「用
水路」「排水路」がついています。トラクターやコンバインなどの大
型の機械も使え、また、よその田を通らずに自分の田へ行ったり、
水を引いたりできるようになりました。

下の図は、耕地整理の断面図です。図を見て、水の入れ方
やすて方、田植えや刈り入れのときはどうするのかなど、考えて
みましょう。また、近くの田んぼに行ったら確かめてみましょう。

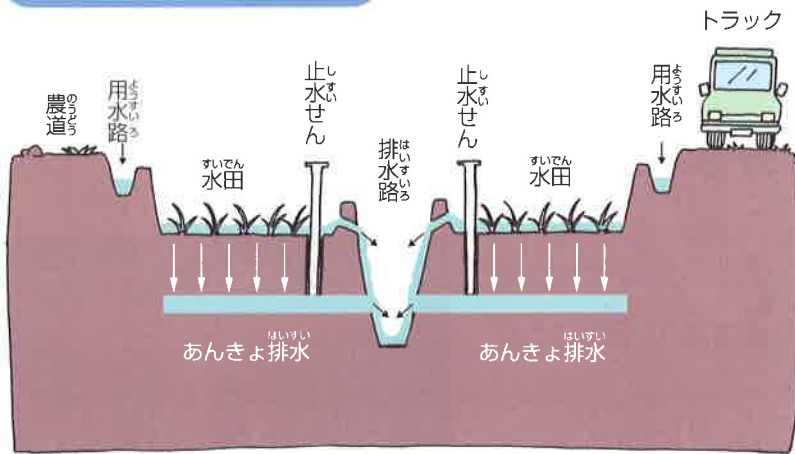


耕地整理された田



広々とした水田が広がる九重地区

耕地整理の断面図



米の収穫のようす



耕地整理がされていない田



耕地整理のすんだ田

ライスセンターと育苗センター

農家の人たちの米作りを助けるために、JA安房では、館野地区に「館山ライスセンター」と「館山育苗センター」をつくりました。

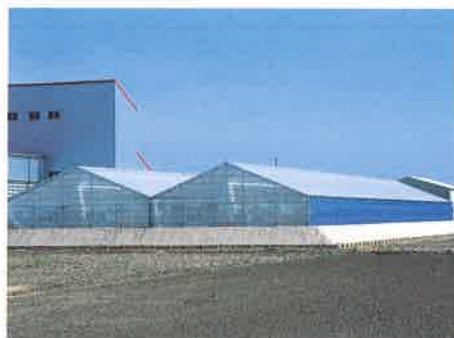
ライスセンターは、農家から持ちこまれたお米を乾燥させる最新の機械をそなえた施設です。それぞれの農家でとり入れた米は、すぐにライスセンターへトラックで運ばれます。苦労して作ったお米は、専用の機械でかわかされ、天日干しのようにおいしいお米にしあげてくれます。

また、ライスセンターのとなりにある育苗センターは、専門的な機械やハウスをそなえた施設で、農家の人にかわって、じょうぶな稲の苗を育ててくれます。

この2つのセンターができたおかげで、農家の人たちは、安心して米作りができるようになりました。



館山ライスセンター



館山育苗センター



たくさんのお米が集められます



館山ライスセンター内部



お米はコンテナではこぼれます



コンピューターで監視します



館山育苗センター内部

(4) 漁業のようす

りようし
漁師さんたちは、どんな工
ふう
夫をしているのかな。
みんなでしらべてみよう。



1 漁港のようすを調べてみよう

海にかこまれ、長い海岸線のある館山市は、昔から漁業が盛
んです。東京湾に面した鏡ヶ浦や黒潮が流れる西岬沖は、
たくさんの種類の魚がとれる豊かな漁場で、多くの海産物が水
揚げされています。

館山市には、船形漁港、富崎漁港、伊戸漁港、川名漁港、洲
崎漁港、栄の浦漁港、坂田漁港、波左間漁港、見物漁港、下原
漁港の10の漁港があります。

それぞれの漁港は、灯台と防波堤で守られ、港の中は波も
なく、船は安心して泊まってい
れます。

港にはいろいろな施設が必要
です。油のタンク、氷の倉庫、漁
具倉庫などは、出港前に使われ
るものです。港には、この他にも、
いろいろな施設があります。

じっさいにどう使われている
か、港を見学して、自分の目で
たしかめ、絵や図にまとめてみま
しょう。



多くの海産物が水揚げされる船形漁港



1 船形漁港



2 下原漁港



3 見物漁港



4 波左間漁港



5 坂田漁港



6 栄の浦漁港



7 洲崎漁港



8 川名漁港



9 伊戸漁港



10 富崎漁港



漁獲量と漁獲高

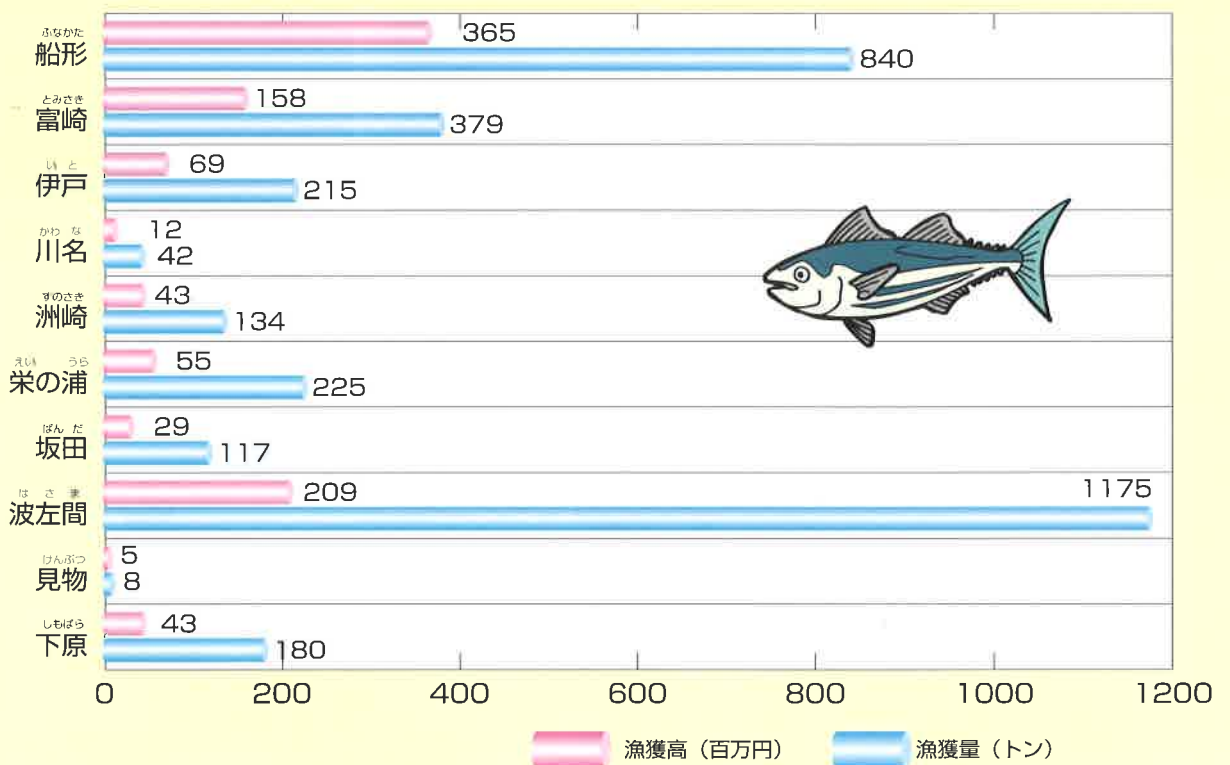
魚のとれる量や種類は、それぞれの漁港に違いがあります。
 魚のとれる量を漁獲量といい、とれた魚の値段を漁獲高とい
 ます。

下のグラフは、それぞれの漁港の漁獲量と漁獲高をあらわし
 ています。漁獲量が一番多いのは、波左間漁港ですが、漁獲
 高では船形漁港が一番多いです。



船形漁港の魚市場

漁獲量と漁獲高のようす (平成11年1月～12月)



資料：館山市役所農水産課

② 館山市で水揚げされる海産物

どんな海産物がとれるのかな？

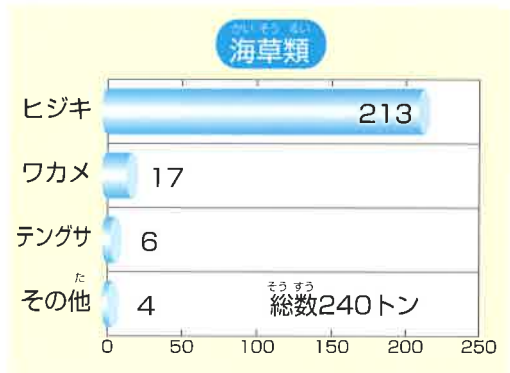
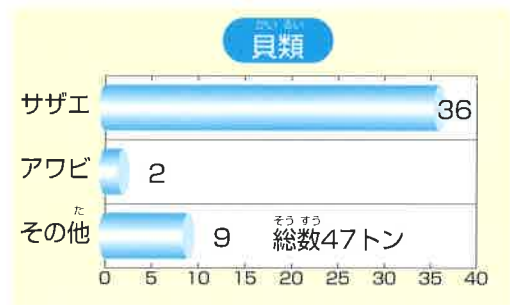
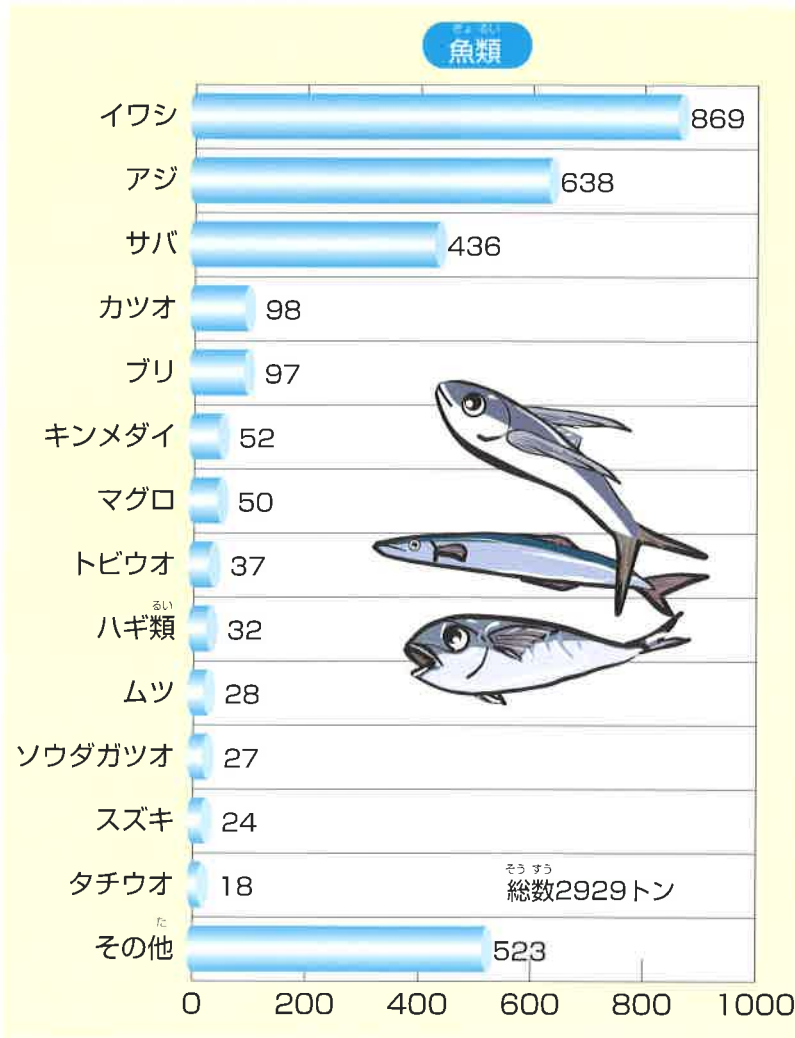
右上のグラフは、館山市で水揚げされるおもな海産物をあら
 わしたものです。

魚では、イワシがもっとも多く、ついでアジ、サバ、カツオ、ブリ、キ
 ンメダイ、マグロ、トビウオなどが多くとれます。その他、イカやイセ
 エビなども多いです。貝類ではサザエ、海草類ではヒジキが多
 いです。



水揚げのようす

館山市で水揚げされるおもな海産物 (平成11年1月～12月) (単位：トン)



資料：館山市役所農水産課

豊富な種類の魚がとれる西岬沖

黒潮が流れる西岬沖は、数百種類の魚がいることで有名な漁場です。海流の豊かさとともに、海水のきれいな西岬沖の海は魚の宝庫でもあります。

市内にある10の漁港のうち、西岬地区には8つの漁港があります。それぞれの漁港では、陸地近くの海で魚をとる沿岸漁業が行われています。

また、西岬・富崎地区の磯根では、アワビ、サザエ、ワカメ、ヒジキ、テングサなど、1年を通して、いろいろな海産物がとれます。



西岬沖は魚の宝庫



ヒジキ狩り(坂田漁港近くの海岸)

イワシ漁が盛んな船形漁港

市内の漁港の中でも、船形漁港は一番大きく、富津岬から伊豆大島までの漁業基地として、県内でも有数の漁港です。

また、船形漁港は、カツオの一本釣りに必要な生きイワシの供給基地として、全国的にも有名で、イワシ漁が盛んに行われています。

とれたてのイワシは、沖にある「いけす」の中に生かしておきます。遠く宮崎県や高知県などから、年間1,000隻ものカツオ船がイワシを買いにきて、カツオをとる時のえさにします。

その他、船形漁港で水揚げされる魚は、アジ、サバ、カツオ、キンメダイ、スズキなどが多いです。



船形漁港・魚市場のようす



イワシのいけす(館山港)



旬の魚がならぶ直売所

三方を海にかこまれた南房総の近海は、たくさんの種類の魚がとれます。それぞれの海産物には一番おいしい時期があります。

春の代表は、マダイやインダイ。夏の代表はアジやカツオ、アワビなど。秋はやっぱりサンマ。冬はキンメダイやサバなど。お刺身にしたり、煮つけにしたりと、料理もさまざまです。

船形や相浜の漁業協同組合では、それぞれ新鮮な海産物を販売する「直売所」を開いています。店内には新鮮な魚やひもの、みやげものなどがならべられ、磯の香りと旬の味を楽しむことができます。



館山船形漁業協同組合が運営しているふれあい市場



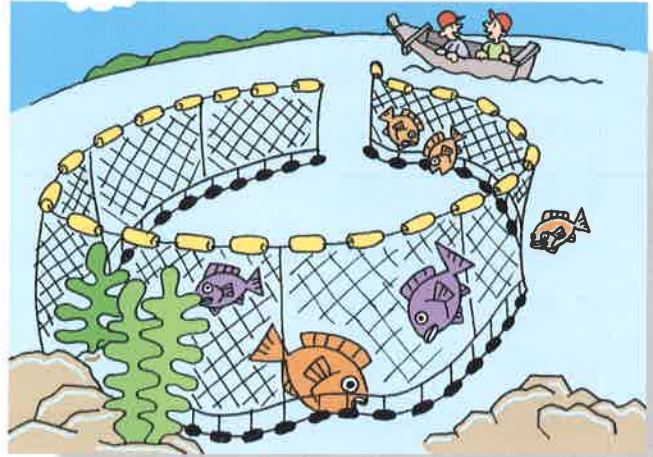
相浜漁業組合が運営しているファミリー市場

3 いろいろな魚のとり方^{かた}

魚をとる方法は、魚の種類や大きさ、または漁師さんによってそれぞれ違います。いろいろな魚のとり方がありますが、いま行われている漁業で代表的なものは3種類です。

まき網漁^{あみりょう}

1つは「まき網漁」で、魚の群れを発見すると、浮きのついた細長い帯状の網で魚の群れを大きく囲み、しだいに網の囲いを小さくしながら魚をとります。船形漁港で盛んなイワシ漁は、この方法です。



まき網漁^{あみりょう}

さし網漁^{あみりょう}

もう1つは、「さし網漁」です。よく海に、100メートルぐらいはなれて2本の旗がたっているのをみかけますが、これがさし網です。旗と旗のあいだの海底に、網をカーテンのようにぶらさげています。

漁師さんが夕方に網をかけると、夜のあいだに動きまわる魚や貝がひっかかり、次の朝にとります。イセエビやサザエ、カワハギ、カサゴなどの魚がとれます。



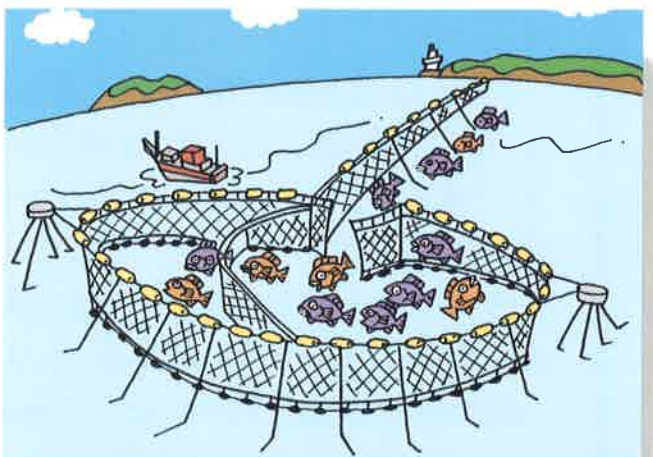
さし網漁^{あみりょう}

定置網漁^{ていちあみりょう}

そして、もう1つが「定置網」です。一定のところにとずっと置いてある網なので、こういいます。魚の種類が多い館山の海では、この漁法が一番多いです。

定置網は、3つの部分から成り立っています。1つは、海のおさいところから沖にむかってカーテンのように張ってある網。これをカケダシと呼びます。カケダシの終点のところには、楕円形の網がかかっています。

楕円形の半分は、ただの網のかこいで、これを運



定置網漁^{ていちあみりょう}

どじょう だ えんけい はんぶん あみ ほか そこ
 動場といひます。楕円形のもう半分は、かこいの網の他に、底に
 も網がついていて、これを箱網といひます。

海の中を泳ぐ魚は、障害物にぶつかるお沖に行く習性がある
 ので、カケダシによってきた魚は、そのまま沖にむかって、運動
 場に入ります。運動場に入った魚は、そこでグルグルとまわって
 いるうちに、箱網のほうに入っていきます。

うんどじょう はこあみ
 運動場と箱網のあいだにはジョウゴという誘導網があるので、
 いつのまにか箱網に入ってしまう、もどろうとしても、もどれない仕
 掛けになっています。

はや ぎよせん そこ あみ かた
 朝早く、漁船がきて、底の網を片すみによせて魚をおいつめ
 て、最後にすくいとります。この網では、アジ、イワシ、タイ、スズキ、
 カンパチ、ブリ、マグロ、スルメイカ、ヤリイカ、アオリイカ、そしてマン
 ボウなど、1年を通していろいろな海産物がとれます。



坂田漁港・観光定置網



1年を通していろいろな海産物がとれます



磯の香りいっぱいのハバノリ

ほんかくてき すのさき
 本格的な冬をむかえる12月になると、洲崎
 の岩場で、カゴを片手にもったお母さんたちが
 せっせと作業をする姿が見られます。「ハバノリ
 と採り」です。

ハバノリは、海の岩場にはりついている海草で
 す。昔から房州の家では正月に「はばを効かす」
 という意味をふくめて縁起物として食べられて
 いました。

カゴいっぱい集められたハバノリは、自宅に
 もかえり、水にひたしながら木杵を使って、スノ
 コにうつされ、半日ほど天日干しにしてできあが

ります。
 ほか あと
 他のノリとくらべてややかたいので、焼いた後
 でもみほぐし、あたたかいご飯にかけて食べる
 と香りが強く、磯の味が楽しめます。



4 魚や貝をふやす工夫

下のグラフは、館山市でとれる魚の量と漁獲高のうつりかわりをあらわしています。

近ごろの日本の海は、どこでも魚がとれなくなってきました。館山市の海でも、漁獲量がへってきています。その原因は「とりすぎ」だといわれています。

漁師さんたちは、漁業組合が中心となって、魚や貝をふやす努力をしています。水産試験場で育てたアワビやサザエの稚貝や稚魚を海に放流しています。また、魚や貝をとる時期を決めたり、小さな貝はとらないように約束もつくったりしています。

そのほか、どんな工夫をしているのか、みんなで調べてみましょう。



「大きなマンボウだ」中学生の漁師体験で

館山市の漁獲量と漁獲高の推移



資料：館山市役所農水産課

(5) 工業のようす

館山市では、どんな工業が盛んで、どんなところに工場が多いのか、調べてみよう。



1 工場の種類

館山市には、どのような工場があるのでしょうか。下のグラフは、館山市の工場の種類をあらわしたものです。

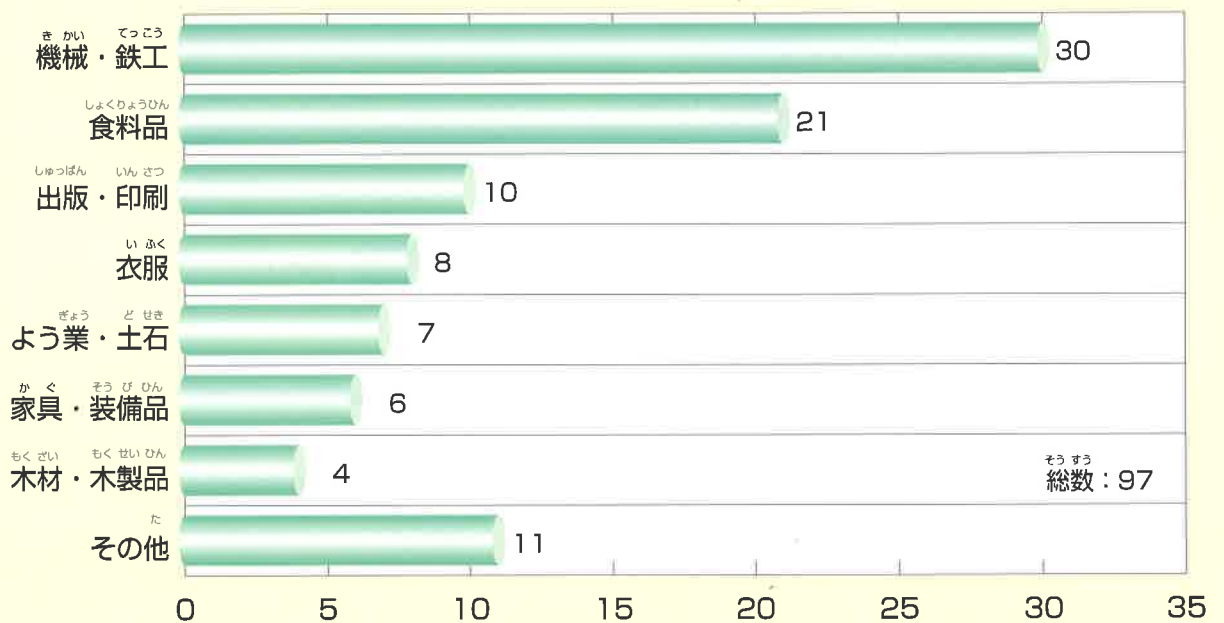
工場の種類では、機械・鉄工の工場がもっとも多く、つづいて食料品、出版・印刷の順になっています。

機械・鉄工の工場は、船形地区と館山地区に多く、その代表的なものは造船業です。この2つの地区には、大きな港があり、船の出入りが多いことから盛んになったものです。



船形漁港近くの造船工場

館山市の工場の種類



資料：館山市統計（平成11年・工業統計調査）

しよくりょうひん こうじょう すいさん か こうひん こうじょう おお ぶし
 食品の工場は、水産加工品の工場が多いです。サバ節や
 ひもの、くんせい、れいとうひん こうじょう などがそれです。すいさん か こうひん
 水産加工品の
 こうじょう おお ちか ぎょじょう げんりょう しんせん
 工場が多いのは、近くによい漁場があり、原料となる新鮮な
 かいさんぶつ
 海産物がたくさんとれることがあげられます。館山市には、この
 どうせんぎょう すいさん か こうひん かんけい こうじょう おお
 ように、造船業や水産加工品など、海に関係する工場が多いで
 す。



すいさんかこうひん こうじょう
 水産加工品の工場のようにす

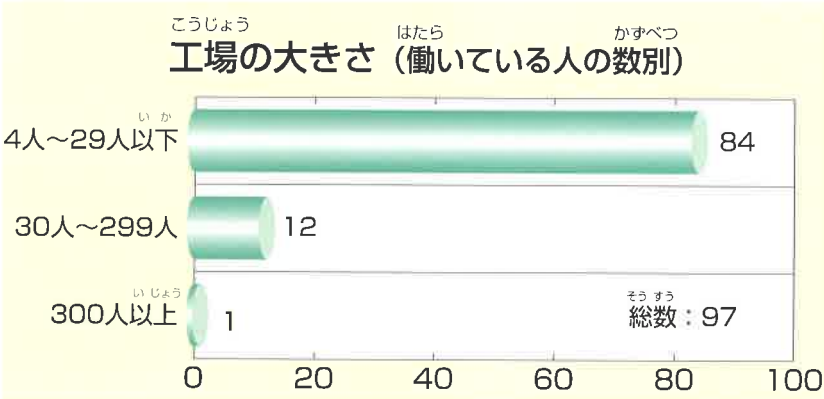
ほか しゅっぱん いんさつ こうじょう いんさつこうじょう
 その他には、出版・印刷の工場もあります。印刷工場は、北
 条地区が多いです。これは、北条地区に市役所や安房郡市の
 おお ちゅうしん くに けん やくしよ おお
 中心となる国や県の役所が多いことによるものです。また、
 いんさつこうじょう しちょうそん しょうてん
 印刷工場では、まわりの市町村の商店やスーパーなどのチラシ
 やポスターなども手がけています。



せいみつちいきこうじょう
 精密機械工場のようにす

② 工場こうじょうの大きさ

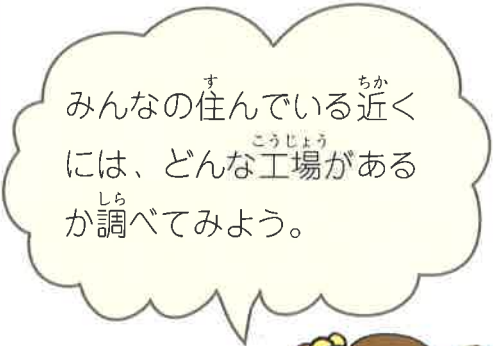
下のグラフは、どのくらいの大きさきぼ（規模）の工場こうじょうがあるのかを、
 こうじょう はたら かげつ
 工場こうじょうで働いている人の数かずであらわしています。



いんさつこうじょう
 印刷工場のようにす

へいせい じてん
 平成11年の時点で、4人から29人以下の人が働いている
 こうじょう
 工場は84あります。30人から299人の人が働いている工場は12
 あります。また、300人以上の人が働いている工場は1つありま
 す。

いじょう はたら こうじょう き かい てっこう
 30人以上のたくさんの人が働いている工場は、機械・鉄工の
 こうじょう おお なか ぶひん はんどうたい
 工場が多く、中でもパソコンなどの部品となる半導体をあつ
 かけている工場では、1つの工場こうじょうにたくさんおほくの人が働いています。



みんなの住んでいる近く
 には、どんな工場こうじょうがある
 か調べてみよう。



3 最先端技術を持った工場

館野地区の山本には、最先端技術を持った工場が2つあります。「ユー・エム・シー・ジャパン株式会社・館山工場」と「館山デバイス株式会社」です。それぞれの工場では、携帯電話などの情報端末機器やデジタル情報家電などに使われている「半導体」という製品をつくっています。

半導体工場をたずねてみよう

2つの工場のひとつ、ユー・エム・シー・ジャパン館山工場をたずねてみました。

工場は、山の上の緑豊かな敷地にたてられています。自然林にかこまれていて、山の斜面やまわりの自然をうまく利用してたてられた大きな工場です。

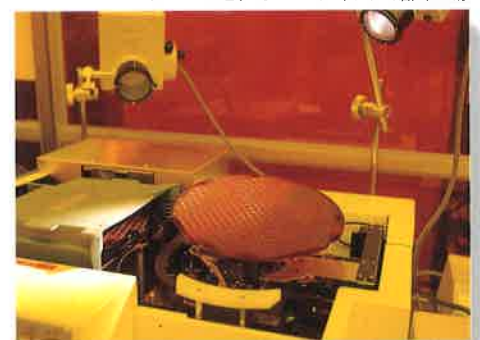
この工場では、約750人の人が働いています。新しい半導体をつくる部門や検査部門、製品の注文、在庫を管理する部門などにわかれ、仕事を分担しています。生産管理などはすべてコンピュータで管理され、工場の中には、自動で製品を運ぶ機械やロボットなど、最先端の設備がととのっています。

ユー・エム・シー・ジャパン館山工場では、家電製品などを生産している会社から「こういう半導体をつくってほしい」という注文をうけて、その会社の製品にあった半導体をつくっています。また、注文におうじて、工場の設備も大きくしています。

こうした生産のしくみは、おたがいの会社の技術をもちあうことで、効率よく、すぐれた製品をつくることができます。



ユー・エム・シー・ジャパン館山工場



顕微鏡による原材料（ウエハー）の検査



生産会議の様子



工場内の様子



ユー・エム・シー・ジャパン館山工場（手前）と館山デバイス株式会社（おく）



半導体をつくる機械



半導体の原材料（ウエハー）の研磨



ロボットによる機械への運搬



半導体の製品の機械による検査



ロボット

実際に、みんなで工場
をたずねてみよう。



4 水産加工品の工場

カツオ節の工場をたずねてみよう

カツオ節とサバ節をつくっている館山地区宮城の工場をたずねてみました。工場を経営する吉田仁一郎さんは、サバ節作りの3代目です。18才の時から父親のあとをついでいます。

サバ節作りは、4月から5月ごろの梅雨入りの前にはじまります。大島、三宅島、八丈島のあたりでとれるこの時期のサバは、まだあぶらがなく、もともとサバ節作りに適しているからです。

この日は、りっぱなカツオが3トン入りました。その作り方を見てみましょう。

1 仕入れと加工

現在、安房地域には3隻のサバをとる船があります。吉田商店では、1日で2トンから4トンのサバを加工します。サバもカツオも大きく、さらに身にあぶらが少ない方がよい製品になります。

仕入れた魚は、大型冷蔵庫で3日から4日間ねかされます。つぎに、内臓や頭をとりのぞき、2つまたは4つに切り、セイロにならべます。

2 煮熟

カツオを入れたセイロは8段ごとに大きな煮釜に入れられます。ゆで時間は約1時間。ゆでられたカツオはその後じゅうぶんに冷やされます。



仕入れ



生切り



煮熟



煮釜への出し入れ



焙乾



にじやく 煮熟



まきこや 新小屋



てんびかんそう 天日乾燥



ほいめん 培乾

3 焙乾

つぎに、大きな炉のうえにセイロが重ねられ、けむりと熱でカツオを燻製にします。この作業は、2週間続けておこなわれます。

4 カビつけ

かんそうされたカツオは、専用の部屋に入れられ、自然にカビを発生させます。一番カビは青カビで、これを1年かけて茶色のカツオ節色にかえます。

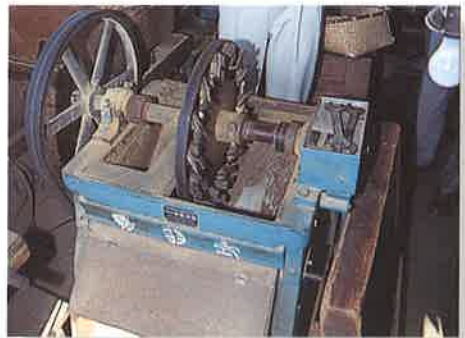
カビは、身の中の水分をとり、のぞき、おいしさをふうじ込める働きをします。

5 天日乾燥

カビつけされたカツオは、天日で干します。カビつけと天日干しは数回くりかえされ、最低1か月おきに干します。回数を増すごとにうまみも増し、さらに保存期間も増します。



カビ付け



削り



かんせい 完成 (箱づめされたカツオ節)

(6) 観光のようす

観光客をよぶために、市や地域の人はどんなことをしているのかな。みんなで調べてみよう。



1 館山市の観光の歴史

毎年、館山市にはたくさんの観光客がおとずれます。館山市が多くの人たちの休養地となつてからの歴史は、すでに100年をこえています。

気候温暖な安房地方には、江戸時代から那古寺などのお寺や神社をお参りする人たちが、詩をよんだり、絵をかく人たちが安房の自然を題材にしようと数多くおとずれていました。当時は、江戸から館山まで歩いてやってくる、4日間もの旅でした。

明治時代になると、こうした画家や作家にくわえ、大きな汽船が行き来するようになり、たくさんの人が館山へやってきました。やがて、水泳の合宿でたくさんの学生たちもおとずれ、大正時代に鉄道が開通すると、夏の間、海水浴を楽しむ人たちがさらに大勢やってきました。

こうして、館山をおとずれる人たちが増えると、新しい産業としての「観光」が盛んになり、まちをあげての観光地づくりへと発展してきました。



北条棧橋と汽船 (大正頃)



海水浴客でにぎわう北条海岸 (昭和の中頃)

2 観光のまち館山のようす

その昔、館山をおとずれる人たちは、きれいな夕日がしずむ、波静かな鏡ヶ浦をめざしてやってきました。豊かで美しい館山の自然は、貴重な観光資源でもあります。



鏡ヶ浦の夕日

観光客の利用交通機関を見てみよう

観光客の利用交通機関を見ると、自家用車がもっとも多く、つづいて鉄道、貸切バスとなっています。

貸切バスは、旅行者が企画をした観光ツアーの大型バスで、東京や神奈川、埼玉などいろいろなところからたくさんの人を乗せてやってきます。

平成11年に、館山市が旅行者34社を対象におこなったアンケートでは、観光ツアーの目的は「花摘み」「宿泊」「いちご狩り」が多く、観光ツアーのためには「高速道路などの道路整備が必要」とこたえています。

日帰りや宿泊のようすを見ると、日帰り客が全体の7割ちかくをしめています。

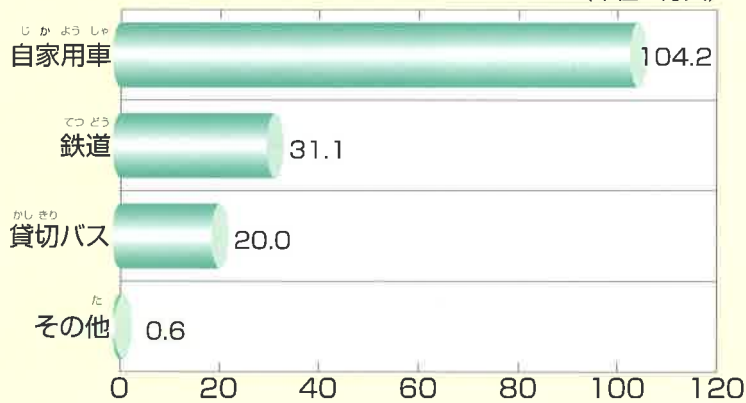


フラワーライン（日本の道100選）



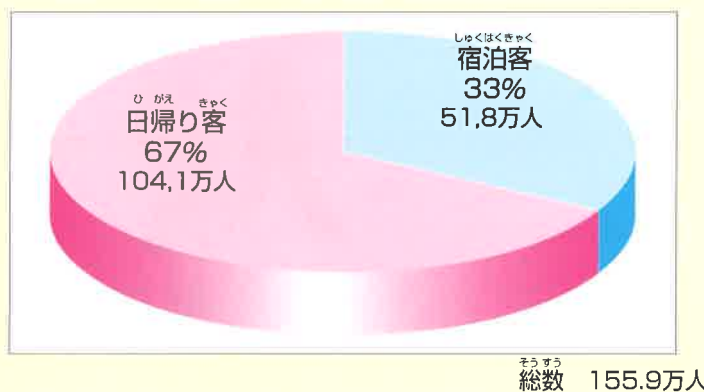
シェアール館山線 JR内房線「ビューさざなみ」

観光客の利用交通機関 (単位：万人)



館山市をおとずれる観光客のようすをまとめてみよう。

日帰りや宿泊



資料：平成12年安房支庁管内観光客入込調査結果

かいすいよくきゃく かいがん しぜん
海水浴客でにぎわう海岸をはじめ、自然をいかした「館山ファミリーパーク」や「南房パラダイス」などの観光施設は、年間を通じて多くの観光客に利用されています。

さいきん
最近では、ペンションをはじめ、いろいろな宿泊施設もとのい、マリンスポーツを楽しむ人や、名所・史跡をおとずれる人など、おおぜい
大勢の人がやってきます。

かんこうきゃく とくちょう
館山市をおとずれる観光客は、どんな特徴があり、それはなぜなのか、調べてみましょう。

かんこうきゃく もくてき しら 観光客の目的を調べてみよう

かんこうきゃく もくてき にんずう
下のグラフは、観光客の目的とその人数のようすをあらわしたものです。へいせい ねんかん
平成12年の1年間で、155万9千人の観光客が館山市をおとずれています。

おお ゆうえん ちきゃく
もっとも多いのが、遊園地客で46万1千人。「館山ファミリーパーク」や「南房パラダイス」などに、たくさんのおとずれます。つぎに多いのが、夏の海水浴客と冬から春にかけての観光いちご狩りで、それぞれ約22万人の観光客がおとずれています。



なんぼう
南房パラダイス



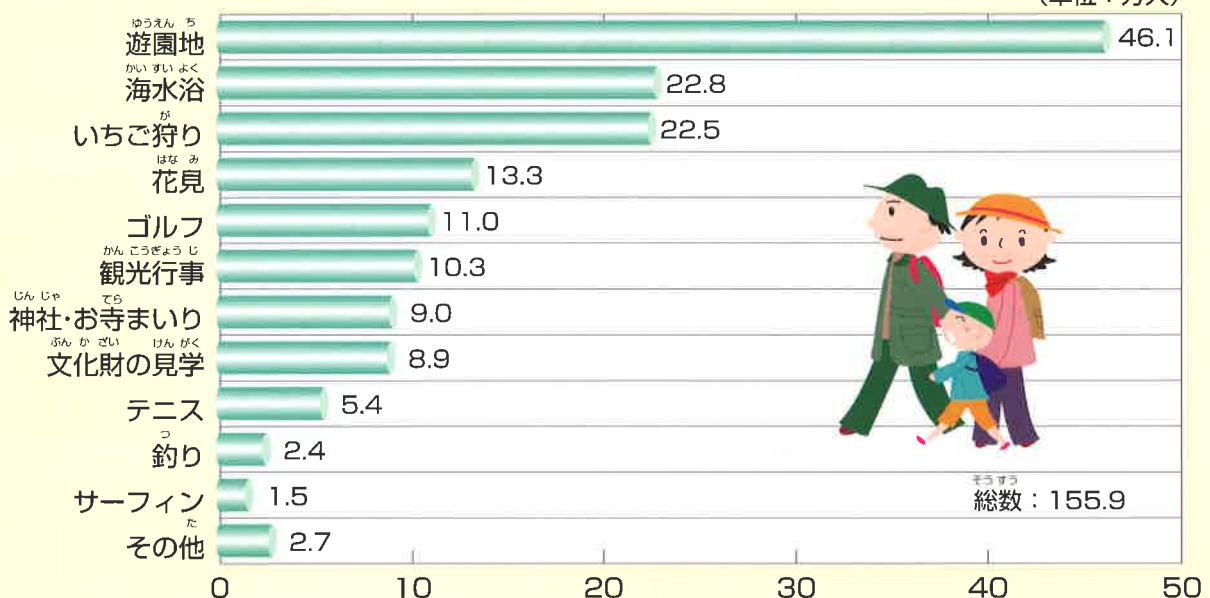
館山ファミリーパーク



多くの人でにぎわう海水浴

かんこう もくてき にんずう 観光の目的と人数

(単位：万人)



資料：平成12年安房支庁管内観光客入込調査結果



夏の風物詩「花火とフラメンコ」(8月)



安房最大の「八幡んまち」(9月)



ポピー花つみ



観光定置網



城山公園のツツジ(5月)

3 観光客を増やす工夫

観光客を呼ぶために、市や地域の人たちはどんな工夫をしたり、行事をもったりしているのでしょうか。

館山市では、観光協会や商工会議所、市役所などが協力して、1年を通じて、いろいろな観光行事を開催したり、宣伝をしたりしています。

冬から春にかけては、観光いちご狩りや花摘みに大勢の観光客がやってきます。

夏の海水浴シーズンには、花火大会をはじめ、全国大学フラメンコフェスティバルなど、いろいろなイベントを開いています。

秋には、南総里見まつりを中心に、戦国大名里見氏をテーマにしたいろいろな行事が開かれています。

市や観光協会では、こうした観光行事などを多くの人に知ってもらうために、チラシやポスター、インターネットなどを利用して宣伝に力を入れています。



観光いちご狩り(1月~5月)



南総里見まつりの「里見少年隊」(10月)

観光プロデューサー

観光協会では、館山市の観光客をもっと増やすために、平成13年に全国から観光プロデューサーを募集しました。その結果、応募者95人の中から大手旅行会社につとめていた浅井信さんが選ばれました。浅井さんは、今までに100か国を案内するなど、観光についてくわしい人です。

市や観光協会では、観光プロデューサーの経験や情報をおしゃしながら、もっとたくさんの観光客を呼ぶための宣伝やイベントの企画などを行っています。



観光について説明する浅井さん

道路や海岸の整備

市では、観光客をむかえるために、国や県などと協力して、まちの中をきれいにしたり、道路の整備を進めています。

また、大勢の人が集まる北条海岸を中心に、砂浜や駐車場を広げたり、観光客がくつろげる施設などを整備しています。



館山駅にある観光協会の窓口



整備がすすめられている北条海岸のイメージ図



ヤシの木がならぶ北条バイパス



館山駅西口（夕映え通り）



北条海岸



北条海岸の整備・階段



おもしろ探検隊

館山の花火と花火職人



館山の花火を50年以上にわたって手がけている福山次郎さん



館山の夏の一大イベント・花火大会



花火づくりのようす

毎年、8月8日に、館山・北条海岸で花火大会が行われます。夏の夜空をいろどる色あざやかな花火は、館山の夏の一大イベントでもあります。

館山の花火は、鹿野山の山あいにある花火工場で作られています。花火をつくっているのは、江戸時代からつづく花火屋の家系で、5代目の福山次郎さんと6代目の一郎さんの親子です。父親の次郎さんは、「形もの」といわれる、図形や文字を花火にする技術をもつ全国で唯一の花火職人です。館山の花火を50年以上にわた

って手がけています。

館山の花火大会の歴史は古く、昭和2年に北条町商工団によって開催された「鏡ヶ浦花火競技大会」がはじまりです。当時、2代目の藤次郎さんと3代目の巳次郎さんが、この大会に出場して優勝したこともあります。

4代目のときは、館山へ前日から大八車に花火を乗せて運んだそうです。当時で80本の花火だったそうです。

花火は、1年がかりの作業。夏が終わると、すぐに次の年の準備にはいるそうです。





3 し ない か く ち く 市内各地区のくらし



ふな かた

(1) 海と漁港のまち 船形



崖の観音 (大福寺)

漁師さんたちは、どんなふうや努力をしているのだろう？



船形小こういちさんの報告

1 船形のようにす

船形地区は、館山市の北の玄関口にあります。那古山と堂山にかこまれた、海に面した地形で、船形漁港を中心にたくさんの人が住んでいる漁港のまちです。

ぼくの家は、堂山の近くにあります。船形という地名は、堂山が船をふせた形に似ていることに由来しているそうです。

昔から船形は漁業のまちとして発展し、船形の人たちは崖の観音に漁の安全を祈ってきました。その歴史は古く、江戸時代には一大消費地である江戸に、干鰯（干したイワシ）を中心とする魚や薪を送る廻船業がさかんになりました。1808（文化5）年には、押送船と呼ばれる江戸と房州を行き来する船は33隻を数え、自給自足の漁村から廻船の基地へと大きく発展しました。



人口の移り変わり

	明治22年	昭和40年	平成13年
館山市全体	43,086人	56,674人	52,080人
船形地区	5,112人 (12%)	6,533人 (12%)	4,122人 (8%)



船形漁港と堂山



崖観音から見た船形のまち
左おくには那古山が見えます



那古山から見た船形漁港



正木貞蔵さんによって築かれた防波堤



那古船形駅

江戸時代の末には、船形漁港を利用する船がたくさん増え、さらに波や風による船の事故が多発するようになったため、港として本格的な整備がはじまりました。

今でも、船形漁港の西の端には、1858(安政5)年に船形村の名主・正木貞蔵さんによって築かれた防波堤が残っています。船の安全を祈ってつくられたこの防波堤は、全長85メートルの石積みで、材料費や人件費で約千両という大工事でした。

今では、大きな防波堤ができあがり、富津岬から伊豆大島までの漁業基地として、千葉県内有数の漁港になっています。

ほくもときどき、防波堤へ釣りに出かけます。港には大きな魚市場や冷凍倉庫などがあります。朝早く、たくさんの魚が市場にならべられ、せりが行われています。

港で働いている漁師のみなさんや漁港のようすを調べてみました。



ほしか しめかす
干鰯・メ粕

干鰯はイワシを乾燥させたもので、砂浜の上で10日くらい乾燥させてつくりました。メ粕はイワシを煮たあと油をしぼって乾燥させたものです。これらの肥料は、江戸時代から大正時代には農業の増産になくはないものでした。とくに江戸時代には最高の商品のひとつでした。



船形漁港はたくさんの船がとまっています



燃料タンク



漁港にはどんな施設があるのかな？

漁港には、いろいろな施設があります。港は、灯台と防波堤で守られ、港の中は波もなく、船は安心して泊まっています。小さな漁船が漁から帰ってきた時など、陸にあげておくための船引き場もあります。

港の中心にある荷揚げ場（市場）は、魚の水揚げや「せり」に使われます。魚屋さんたちが自分のほしい魚に値段をつけ、一番高い値段をつけた人がその魚を買っていきます。

荷揚げ場の近くには、船の燃料タンクや冷凍倉庫があります。出港する時に船に給油したり、新鮮な魚を大切に運んでくるために、たくさんの氷を船に積んでいきます。

港には、このほかにも、いろいろな施設があります。港を見学して、調べてみましょう。



氷を作る施設



魚屋さんたちが魚を運ぶためにも氷が使われます



どんな魚がとれるのかな？

漁師さんたちは、新鮮な魚をたくさんの人に食べても

らうために、朝早くから漁に出かけます。

魚のとり方もいろいろあります。魚の群れをあみでとり囲む「まきあみ漁」や、魚の通り道をあみでさえぎって、囲いの中に魚をさそいこむ「定置あみ漁」や「さしあみ漁」などがあります。船形漁港で水揚げされる魚は、アジ、イワシ、サバ、カツオ、キンメダイ、ズキが多いそうです。

その中でも、イワシ漁は昔から有名です。とれたてのイワシは、沖にある「いけす」の中に生かしておきます。宮崎県、高知県、三重県、静岡県など遠くから年間1,000隻ものカツオ船がイワシを買いにきて、カツオをとる時のえさにします。

カツオ船は入港すると、いけすのわきに横づけし、乗組員がバケツでイワシを船に積みこみます。その量は1隻あたり200杯、約1トンにのぼり、1回の航海で使いきってしまいます。



網の手入れも大切な仕事のひとつ

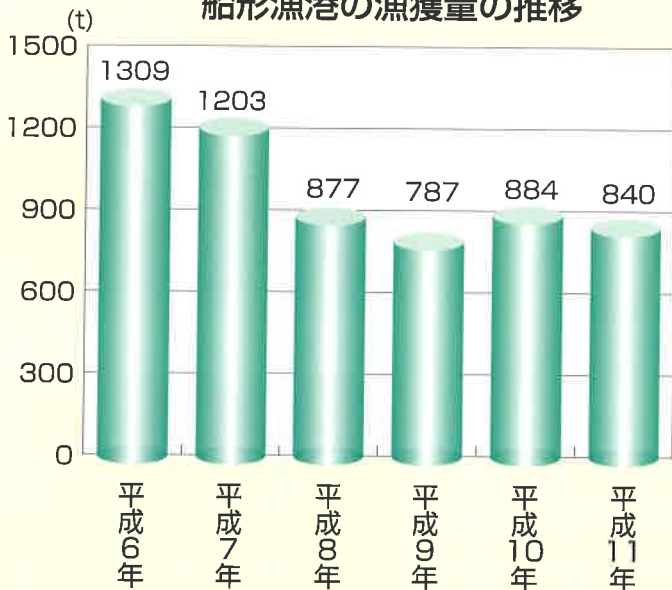


この白はキンメダイが大漁でした



漁から帰ってきた漁船

船形漁港の漁獲量の推移



資料：市役所農水産課
(各年1月～12月)



荷上げ場にあがった魚



船形漁港の市場



せりのようす



魚は大きさごとに集められます



水揚げされたイセエビ



どんな工夫をしているのかな？

近ごろの日本の海は、どこでも魚がとれなくなってきました。船形漁港でも、昔と比べて魚のとれる量が少なくなってしまいました。その原因はとりすぎだと言われています。

今、県や市、漁業組合が力を合わせて、いろいろな魚や貝を増やす努力をしています。マダイやクロダイなどの稚魚や、アワビ、サザエなどの稚貝を育て、海に放流したり、沖合いの海底にコンクリートブロックなどをしずめ、魚の住む家を作っています。

また、新鮮な魚を安く、多くの人に食べてもらうために、漁港には「ふれあい市場」があります。とれたての魚やひもの、みやげものなどをそろえ、年間6万人ほどの観光客や地元の人が買い物に訪れています。

漁師さんは、「何よりも海がきれいなことが一番大切です。」と話していました。きれいな海を守るために、みんなのできることを考えてみましょう。



ふれあい市場



店内のようす



おもしろ 探検隊

えさいワシ^{ぎょぎょう}漁業の発祥地^{はっしょうち}・船形

えさいワシ^{あみぎょぎょう}まき網漁業

カツオ一本^{いっぽん}づり漁業^{ぎょぎょう}にとっていちばん^{じゅうよう}重要なことは、活きのいいイワシを手に入れることです。船形^いや館山^{むかし}は、昔からえさいワシ^{ちくよう}の蓄養^{ちくよう}がさかんで、えさいワシ漁業^{ぎょぎょう}の発祥地^{はっしょうち}（最初^{さいしょ}にはじめられた土地）でもあります。

船形^{えど}はまた、江戸時代からカツオ漁業^{ぎょぎょう}がさかんなところでした。そのころの漁師^{りょうし}さんたちは、自分たちでえさいワシをとってからカツオつりに出^でかけました。明治末^{めいじすえ}から大正時代^{たいしょう}のころ、船形^{しずおかけんやいづ}は静岡県焼津^{ぎょぎょう}とならぶカツオ漁業のさかんなところでした。

そこで、1918^{たいしょう}（大正7）年ごろにえさいワシを専門^{せんもん}にとり、蓄養^{ちくよう}するえさいワシまき網漁^{あみりょう}が生まれたのです。生きイワシは、もうそう竹^いを編んでつくった高さ^{たか}幅^{はば}とも1.5メートルの大きないけすかごに入れて蓄養^{ちくよう}しました。1935（昭和10）年にはすべての漁船^{ぎょせん}にエンジン^つが付き、いけすも現在^{げんざい}とほぼ同じ網^{おな}いけすになりました。しかし船形^{いっぽん}のカツオ一本づり漁船^{ぎょせん}は、1923^{たいしょう}（大正12）年9月に関東大震災^{かんとうだいしんさい}の被害^{ひがい}と第二次世界大戦^{だいにしせかいたいせん}のとき館山市^{せんたい}全体^{ぐんじきち}が軍事基地^{けんじきち}になったことなどが原因^{げんいん}でほとんどなくなってしまいました。

えさいワシ漁業^{ぎょぎょう}は第二次世界大戦^{だいにしせかいたいせん}後に復活^{こふっかつ}して、昭和30年^{しょうわ}ごろにもっともさかんになりました。



イワシ漁^{りょう}のようす



イワシのいけす

た。そのころ、船形^{とう}で9統^{せんたん}（船団^{かす}の数）と館山^{とう}で4統^{いとな}が営^ごんでいました。その後、赤道^{せきどう}近くの熱帯^{ねつたい}の海^{うみ}でカツオをとる南方^{なんぽう}カツオ漁業^{ぎょぎょう}が開発^{かいぱつ}されたり、1971^{しょうわ}（昭和46）年から東京湾^{とうきょうわん}の中でそう業^{ぎょう}ができなくなったりして、漁船^{ぎょせん}はしだいにへってきました。

館山^{げんざい}と船形^{とう}では現在^{げんざい}、3統^{えいぎょう}が営業^{えいぎょう}しています。1統^{とう}につき1年間^{ねんかん}に2億円^{おくえん}もの安定^{あんてい}した収入^{しゅうにゅう}をあげており、およそ100人^{りょうし}の漁師^{りょうし}さんたちがはたらいています。



ぼうしゅう 房州うちわ

ぼうしゅう 房州うちわの歴史

みんなの家で使っているうちわの中で、持つところが丸い竹でできているうちわはありませんか。それを「房州うちわ」といいます。その多くは、船形と那古で生産され、香川県丸亀市、京都市とならぶ「国内三大うちわ」として知られています。

明治23年、那古に住む忍足信太郎さんが「割ぎ竹」の加工を内職として手がけたのが房州でのうちわづくりのはじまりです。それまでは、丸竹のままうちわの材料として東京の間屋に出荷されていました。

明治30年になって、同じ町に住む岩城庄吉さんが本格的に「割ぎ竹」の加工をはじめ、大量の加工品を出荷するようになり、大正のはじめには「マド」と呼ばれるうちわの骨づくりまでの加工ができるようになりました。

完成品としての「房州うちわ」が出荷されるようになったのは、当時日本橋堀江町でうちわ問屋をしていた松根屋のあるじ、横山寅吉さんが船形に工場をたて、うちわづくりをはじめた大正



昔のうちわ作りのようす



房州うちわ

10年からです。その後、大正12年の関東大震災でうちわ問屋のほとんどが大火にみまわれたことが重なって、地元の産業をさかんにしようと、町をあげてのうちわづくりがはじまりました。

那古、船形、富浦は古くからの漁師町で、働きざかりの男たちが漁に出たあと、家に残された女性やお年寄りの内職としてうちわづくりがさかんになりました。最盛期のころは、うちわ業者が30~40軒、内職にたずさわる人は1,000人位いたそうです。

昔は、雑貨屋や呉服屋などが夏のお中元シーズンに名前入りのうちわを利用していましたが、扇風機やエアコンの普及により、うちわを必要とする人が少なくなりました。しかし、その手づくりの価値が伝統工芸として認められ、今なお、職人さんの手によって美しいうちわが作りつづけられています。

房州うちわの作り方

房州うちわの特色は、手に持つ柄に材料の女竹をそのまま使う丸い柄にあります。

その作り方は、材料となる質のいい女竹をとってきて、「皮むき」「みがき」「選別」と続き、うちわの骨になる部分をつくる「割り」や、竹の骨を糸で編む「編み」、両面に紙を貼る「貼り」など、完成するまでに全部で24工程あります。

この工程を一人でやると、1日に4~5枚のうちわを作るのがせいっぱいなので、各工程ごとに分業して作られています。

9月、夏の盛りがすぎると、うちわ問屋さんではもう来年に向けて材料の竹さがしがはじまります。

1本のうちわは、何人もの人の手と数か月の時間をかけて、私たちの手に届くのです。



ちくりん
竹林



かわむき
皮むき



せんべつ
選別



き割り
割り竹



もみ
編み



あぶり
編竹



はしり
弓削



まどづく
窓作り



や
焼き



は
貼り



断裁
断裁



ローラーがけ
ローラーがけ

●^ち地^ず図^みで見^みて^みよう

船形地区



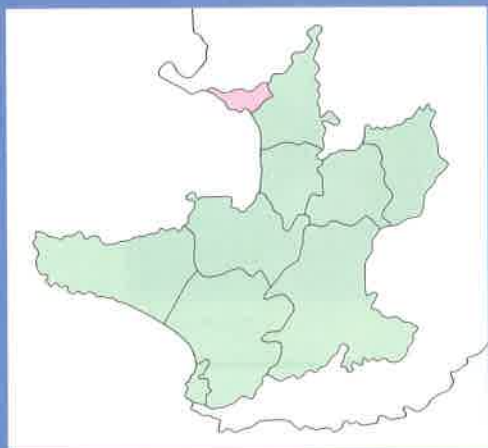
崖観音



船形漁港の市場



崖観音からみた船形のまち





なご (2) 門前町として栄えてきた那古

那古の歴史やくらしのようすを調べてみよう!



那古小のあきらさんの報告



那古寺

1 那古のようす

那古地区は、館山市の北部に位置し、市内で3番目に人口の多いまちです。北半分が山地になっており、南半分が平地になっています。西側には、那古海岸があります。まちの中央には、国道127号館山バイパスが通っています。

ぼくの家は、那古寺の近くにいます。那古寺の裏山是那古山といって、お年よりの人たちは「シキビさん」と呼んでいて、昔からみんなに親しまれています。

標高82メートルの那古山の林は、今でも自然がたくさん残っていて、市の指定天然記念物になっています。山一面に、スタジイの大木が茂り、長い年月の間に立ち枯れて、自然に若い木と入れかわっています。急な斜面の山中には、タブノキ、ヤブニッケイなどの背の高い木が生い茂り、その下をヤツデ、イヌビワなどの低い木が埋めています。林の中からは、ウグイスやヒヨドリなどの鳴き声がよく聞こえてきます。

那古山には、誰でも登れるように遊歩道があります。山頂には



人口の移り変わり

	明治22年	昭和40年	平成13年
館山市全体	43,086人	56,674人	52,080人
那古地区	4,044人 (9%)	4,781人 (8%)	5,483人 (26%)

へいあん じりゅうかじん いずみしきぶ はか つた つか
 平安時代の女流歌人・和泉式部の墓と伝えられている塚があ
 ります。いずみしきぶ でんしょう ぜんこくかくち
 ります。和泉式部の伝承は全国各地にあり、この塚もその
 一つです。この「シキブ」がなまって、なごやま
 那古山のことを「シキビさ
 ん」と呼んでいるそうです。ゆうほどう なまえ しきぶゆめさんどう
 遊歩道の名前も「式部夢山道」とい
 います。

なごやまさんちよう かみうらかこ しがい は
 那古山の山頂からは、鏡ヶ浦を囲む市街や、晴れた日には
 たいがん みうらほんとう いずほんとう ふじさん み
 対岸の三浦半島や伊豆半島、富士山も見わたすことができます
 す。

むかし なごじ もんぜんまち さか
 那古地区は、昔から那古寺の「門前町」として栄え、また、船
 形地区とともにぼうしゅうせいさんち
 形地区とともに房州うちわの生産地として全国に知られてい
 ます。なごのまちのようすやれきししら
 ます。那古のまちのようすや歴史を調べてみました。



なごやま しぜんりん
 那古山の自然林



いずみしきぶ はか
 和泉式部の墓

② 那古の農業のようす

のうぎよう
 ② 那古の農業のようす
 どの農業がさかんなのかな？

なご地区では、こめ ちゅうしん り
 那古地区では、米づくりを中心に、ビニールハウスを利
 よう やさい らくのう かじゆさいばい く あわせたのうぎよう
 用した野菜づくりや、酪農、果樹栽培などを組み合わせた農業
 おこな
 が行われています。これを「複合農業」といいます。

へいち まさき こめ おこな
 平地の多い正木地区で米づくりがさかんに行われています。
 すいでん のうさぎよう
 水田のほとんどは、農作業がしやすいように田の形を四角形に
 いちまい めんせき やく ひろ
 し、一枚の田の面積を約30アールの広さにしています。

のうか しゃめん りよう か
 山あいの農家の人たちは、山の斜面を利用してビワなどの果
 じゆ さいばい さいきん りよう
 樹を栽培しています。最近では、ビニールハウスを利用したビワ
 やナシ、カキなどの栽培が行われています。

らくのう ようとん まさき しゅうちゅう らくのう
 酪農や養豚もさかんで、正木地区に集中しています。酪農や
 ようとん おこな のうか かず すく
 養豚を行っている農家の数は、少なくなってきていますが、それ
 のうか おた かず ふ
 ぞれの農家では牛や豚の数を増やしたりしています。

りよう やさい しゅんぎく
 ビニールハウスを利用した野菜づくりでは、セロリや春菊、イン
 さいばい
 ゲンなどが栽培されています。

のうか くふう しら
 それぞれの農家で、どんな工夫をしているのか調べてみま
 しょう。



なごやま からみた 鏡ヶ浦
 那古山からみた鏡ヶ浦



こめ しゅうかく
 米の収穫のようす



らくのう ようとん
 酪農や養豚もさかんです



セロリ栽培のようす

毎年2月ごろになると、ビニールハウスの中で、あざやかな緑色をしたセロリの収穫がはじまります。那古地区でセロリを栽培するようになったのは、今から40年ほど前。富山町の平久里から、その栽培方法が伝わったそうです。

セロリは7月に種をまいて、10月から11月にかけて苗を畑にうつす作業が行われます。これを定植といいます。2月から3月にかけて収穫が行われ、一年間のうちで一番消費が伸びる3月から4月にかけて出荷されます。

正木の鈴木衛さんは、農業を始めて以来、セロリ栽培に取り組んでいます。鈴木さんは、環境にやさしい農業と健康的な野菜作りに取り組もうと、昭和63年に「館山有機会」を地域の仲間と作りました。

市場に出荷するりっぱなセロリを栽培するためには、土づくりが大切だそうです。いくつかの農家では、みんなで力をあわせて有機質肥料を使った土でセロリを栽培しています。

有機質肥料は、くさったかれ葉などが原料で、それを土にまぜることで自然に近い土を作ることができます。作るのがたいへんなのですが、環境にもやさしい土を使って、みんなによるこばれるセロリ作りにつとめています。



セロリの収穫のようす



一つひとついねいに収穫します



緑色があざやかなセロリ畑

③ 那古の歴史を調べてみよう



門前町として栄えた那古のまち

那古地区は、昔から那古寺の「門前町」として栄えてきました。関東地方には有名な三十三か所の観音様があります。那古寺の観音様も、そのうちのひとつで、三十三か所を順番にまわる巡礼の最後のお寺として、今でも遠くの方から大勢の人がお参りにやってきます。

那古寺は昔から安房の名所として知られ、江戸時代から明治時代にかけて多くの文人が訪れ、さまざまな本に紹介されまし



那古観音

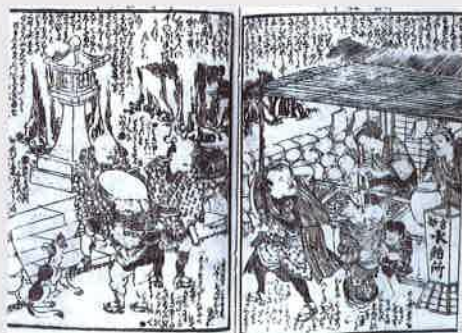
た。そのなかのひとつに、弥次さん喜多さんの『東海道中膝栗毛』で有名な十返舎一九が書いた『房総道中記』があります。

この『房総道中記』は、江戸から房総への道中のようだけでなく、各地の名物やできごとをおもしろおかしく書いています。

下の絵は、那古観音を紹介したものです。当時の那古は、餛が名物で、門前にはたくさんの餛屋がならんでいたそうです。一九は、那古寺門前のにぎわいを次のように描いています。



那古寺の多宝塔



旅人「なるほど、この娘は餛屋だけ、餛のとりにこしらへたような姉(餛)さまだが、そのかわりぶっ切り棒(ぶっきらぼう)でなくて、顔は白玉の上に少し桜餛がかってにちやにちやと汁餛らしい顔付き、そのくせ水餛たくさんにみえて旨そうだから四文ばかりこの姉(餛)さまを買ってみようか」

餛屋「名物餛をお買いなさませ。私のところの餛は、この嬢しゅと娘と二人手のひらへ唾をつけてのばした餛で旨いこと請け合。私ののばした餛には唾の中へ痰を混ぜるから、そこで痰切りと申します評判で、お買いなさい」

旅人「餛をかんだら、何かジャリジャリして気味が悪かったから吐き出した。その餛に入れ歯がかくつついて吐き出したから、これはと、それを取ろうとするうちに、犬が来て、その入れ歯も餛も喰ってしまったからつまらない。とんだ目に会った」

一九がこれを著したのは、1827(文政10)年ころだったといわれています。

狂歌に「商ひの利生有るべし観音の千の御手ほど売れる水あめ」とよまれるほど、当時の那古寺門前のにぎやかなようすがうかがえます。



汽船でにぎわった那古の海岸

江戸時代の房州は、江戸へ新鮮な魚を出荷する供給地として栄えました。当時、房州と江戸とは歩けば3泊4日もかかり、陸上交通の不便な房州は、江戸へ向かう海路が重要な交通路でした。押送船という船が使われ、約10時間で着くことができました。



空からみた那古地区

押し送り船には、新鮮な魚のほかに、房州石材やまき、炭などが
 積み、帰りの便では米や酒、しょう油、砂糖などを仕入れてき
 ました。また、船を使って江戸へ仕事や勉強に行く人もいて、商人
 や学問などを身につけた人が房州で活躍しました。

明治時代に入り、押し送り船にかわって、館山と東京の間に「蒸
 気船」が行き来するようになりました。明治22年には、今の那古
 棧橋の所にも汽船が着くようになりました。汽船が着くようになる

と、遠く丸山町や三芳村の方から、まきや炭、米などを棧橋へ運ぶ人や棧橋に着いた荷を配達する人
 など、那古の町は、いっそうにぎやかになり、海岸方面にも町が広がりました。

四辻から那古小学校までの街道や那古寺付近の道すじには、今でも昔をしのばせるような大きなか
 まえの店が見られ、当時のはんじょうのようすがうかがえます。



那古海岸



稲原貝塚

海を渡った黒よう石

富浦町方面に流れる福沢川流域にある小原
 地区は、稲原貝塚があるほか、たくさんの横穴墓
 がある歴史の古い地区です。

稲原貝塚は、那古小学校の裏山の山頂近くに
 あります。今から約八千年前の縄文時代早期の
 遺跡だということがわかっています。こうした貝
 塚からは、鹿の角でつくったつり針やもりの先、
 貝がらなどが土の下から掘り出されています。
 この時代の人たちは、木の実などを食べたり、石
 器などの道具を使って、シカやイノシシ、魚など
 をつかまえていました。

石器には、黒よう石という石がよく使われまし
 た。黒よう石は、火山のマグマが地上に噴き出
 して、急に冷えてできたガラス質の火山岩で、切
 ったり、さしたりする道具を作るのに便利な材料



レプリカ

でした。

稲原貝塚からは、この黒よう石がイルカの骨
 にささったまま出土しています。この地に住ん
 でいた大昔の人がイルカをとっていたことや、と
 がらせた石をもりの先に使っていたことがわか
 ります。

また、黒よう石は、安房地方ではとれない石な
 ので、当時の人たちは、この石がとれる伊豆半島
 や伊豆諸島などと、交流があったことがわかりま
 す。



おもしろ探検隊

す わ じ ん じ ゃ し ぜん り ん 諏訪神社の自然林



す わ じ ん じ ゃ し ぜん り ん
諏訪神社の自然林



す だ じ い 林
スダジイ林



オガタマノキ



オガタマの花



ツルコウジ (赤実)

那古小学校の東側にある諏訪山（標高74メートル）の山頂には、諏訪神社の自然林があります。スダジイの大木でおおわれた林は、市の天然記念物に指定されています。

諏訪神社は、建御名方命を祭神とし、正木地区の氏神として崇敬され、その社殿をとりまく自然林は鎮守の森として保護されてきました。昭和60年には参道などが整備され、諏訪山公園として、地元の人たちのいこいの場になっています。

諏訪神社の自然林は、樹高18メートルにもおよぶスダジイの大木が林の中をおおっています。調査によると胸の高さで直径30センチ以上の

樹木が約120本あり、10種類の樹木のうち、スダジイが約100本とそのほとんどをしめています。最大のもので直径95センチほどのスダジイも見られます。

その下にはヤブニッケイ、タブノキ、カクレミノ、ヒメユズリハが、下草にはキチジョウソウ、アリドウシ、フウトウカズラ、ツルコウジなどが生育しています。

そのほかにも、オガタマノキをはじめ、イヌマキ、ヤマモモ、カゴノキ、ホルトノキ、ニセジュズネノキ、ハナミョウガなどがあり、洲崎神社や那古山の自然林とともに、房総半島南部を北限とする多くの種類の暖地性植物が見られます。

●^ち地^ず図^みで^みて^みよ^うう
那古地区



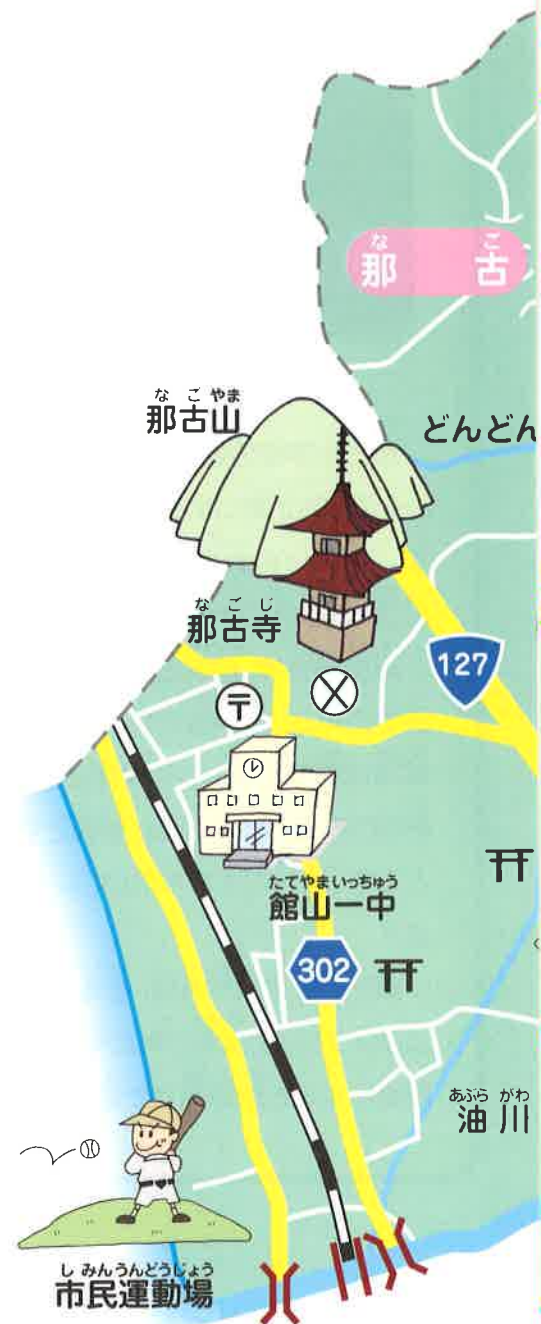
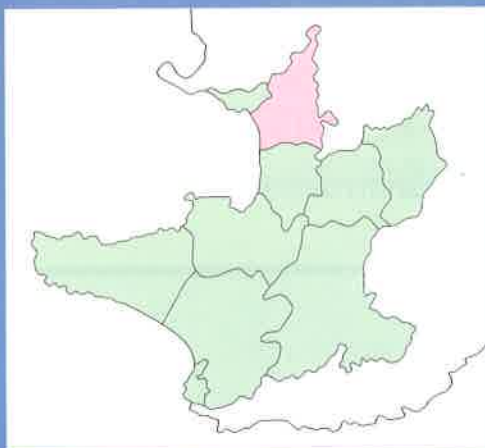
那古寺



那古山の自然林



那古寺の多玉塔





たて やま し ちゅうしん
(3) 館山市の中心

ほう じょう 北条



JR館山駅 (西口)

北条のようすや交通の歴史を調べてみよう!



北条小のゆうじさんの報告

1 北条のようす

北条地区は、北は平久里川、南は汐入川にはさまれ、館山湾に沿った館山平野のまん中にあります。市内では一番人口の多いところです。

交通の便がよく、館山市ばかりか安房地域の中心となっている役所や高等学校も多く、大勢の人が集まってきます。そのため、お店や銀行などの多いところとなっています。

ぼくの家は、館山駅の近くにあります。館山駅ができたのが、大正8年。今から80年前のことです。駅ができてから、北条のまちも大きく変わったとうちのおじいさんに教わりました。今では、新しい駅舎ができて、東口と西口を行き来することができるようになり、たくさんの観光客や働いている人たちが館山駅を利用しています。

北条の地名は、古代の条里制という土地を区画する制度の名残で、これに対して豊房地区には南条の地名もあります。



● 人口の移り変わり

	明治22年	昭和40年	平成13年
館山市全体	43,086人	56,674人	52,080人
北条地区	4,736人 (11%)	14,677人 (26%)	12,915人 (25%)

北条のまちは、昔から内房と外房からの街道の合流地点として、たくさんの方が行き来していました。江戸時代から明治時代にかけては、南町のあたりがまちの中心でしたが、鉄道の開通後には、まちの中心が駅前へとうつっていきました。

交通の歴史とともに、そのようすをかえてきた北条のまちの歴史を調べてみました。



JR館山駅東口の商店街。鉄道の開通後、館山市の中心街は南町から駅周辺へとうつっていきました

② 北条の歴史を調べてみよう

安房地域の中心地としてさかえた北条

北条地区は昔から、内房と外房からの街道が合流する重要な地域でした。そのなかでも、北条の中心の道は、神明町、南町、長須賀を通る道でした。

江戸時代には、現在の消防署や警察署のあるところに北条藩の陣屋（城を持たない大名の住まい）がおかれました。その後、明治時代には安房郡役所、北条町役場、警察署、裁判所、税務署などが建てられました。神明町の通りは安房地域の中心地としてさかえ、お店もふえてきました。



北条藩の陣屋跡

砂丘を切りひらいた新田の開発

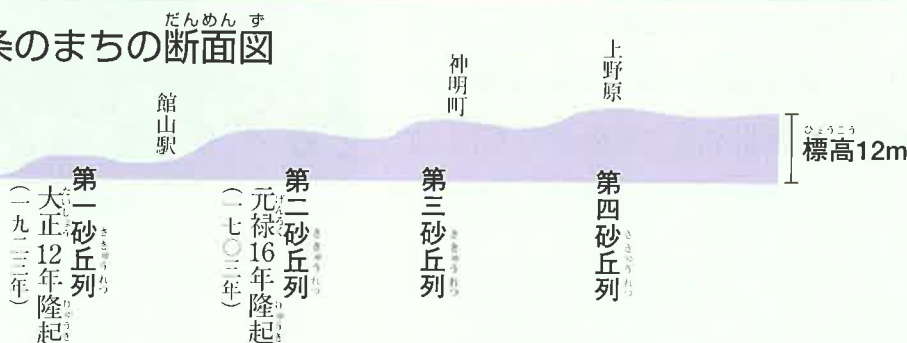
北条のまちの断面図（下図）をみると、北条海岸から上野原にかけて、だんだんと土地がもりあがっているのがわかります。



館山駅西口。開発工事着工前の沼地

館山平野の海岸線は、大きな地震のたびに隆起をくりかえし

北条のまちの断面図



て、砂丘列と呼ばれる陸地をいくつもつくりあげてきました。北条地区は、砂丘の上にはひらけたまちでもあります。

江戸時代、汐入川の河口は現在よりも300メートルほど北に流れ出ていました。江戸時代の終わりのころ、小原善兵衛という人が、親子三代にわたって砂丘を切りひらき、汐入川を今のところ

に流し、沼地と川だったところに3万4千坪もの大きな水田をつくりました。この水田は「小原新田」と呼ばれ、現在では渚銀座と呼ばれる飲食店街ができています。



汽船でにぎわった北条海岸

江戸時代から明治時代にかけて、千倉町や和田町の方から魚を運んできて、北条棧橋から江戸（東京）へ押送船という船で荷物を送り出していました。

善兵衛によってつくられた六軒町から北条棧橋までの新田の道は、この荷物を運ぶ車やたくさんの人でにぎわったそうです。

1878(明治11)年には蒸気船が東京と館山の間を行き来するようになりました。片道6時間から7時間で、1日5往復していました。船に乗せるための棧橋は、北条、館山、那古、船形の海岸にありました。

たくさんの人や荷物を運ぶことができるようになって、館山の産業もさかんになりました。棧橋の近くには魚を加工する工場などができました。牛の牧畜もさかんになって、北条にバターやアイスクリームをつくる工場ができ、房州の牛乳が東京へ運ばれるようになりました。

東京との汽船の行き来が便利になると、汽船に乗って、たくさんのお客さんもやってきました。北条海岸の近くには、旅館やみやげもの屋がふえたり、海岸には別荘を建てる都会の人もいました。



昔は水田でしたが、今は飲食店街になっています



北条棧橋と汽船(大正頃)



万里小路伯爵の北条別荘(明治38年頃)



汽船でにぎわった北条海岸



まちのようすをかえた鉄道の開通

1919(大正8)年5月24日、安房北条駅ができて、北条

のまちは大きく変わりました。今まで北条棧橋から汽船で東京へ行き来していた人は、雨の日も風の日も安心して東京へ行けるようになったのです。運賃は船の方が安かったけれど、汽車に乗っていた人の方が多かったそうです。

安房北条駅は、はじめ神明町の方へ作る計画でしたが、北条のまちが将来開けるためには、海岸に近い方がよいということになり、わざわざ六軒町の方に作られました。

このころになると、北条や館山に中学校(今の安房高、安房南高、安房水産高、安房西高)などができていたので、役所に行く



安房北条駅(震災前の駅舎)



安房北条駅前の商店街



デカンショ節

大正から昭和にかけて、学生の間で「デカンショ節」という歌が大流行しました。この歌は、今から100年ほど前に館山で生まれました。

「デカンショ、デカンショで半年暮らす」と歌う「デカンショ節」は、明治31年、八幡の江戸屋旅館で合宿をはじめた旧制一高(今の東京大学)水泳部がつくりだしたものです。もともとは丹波篠山(兵庫県篠山市)の民謡デカンショで、ぐうぜん江戸屋に宿をとった篠山の青年たちの歌を聞いた水泳部員たちが歌を覚え、いつの日か学生歌として「デカンショ節」にかわり、全国で歌われるようになりました。

「篠山生まれの館山育ち」とされるこの歌の縁に、昭和53年には両市の観光協会が姉妹都

市を結び、昭和55年には一高水泳部OBらが発起人になり、旅館の跡地に記念碑がたてられました。篠山市では、昭和28年からまちおこしとして毎年夏に「デカンショ祭」が行われ、多くの人でにぎわっています。



旅館の跡地にたてられた記念碑

人ばかりか、大勢の生徒が駅で乗り降りし、駅前がにぎやかになってきました。そして、神明町の方にあったお店も駅前に移ってきました。

一方、北条棧橋や館山棧橋からは、汽車が通るようになって、引き続き船が発着していました。荷物は、船の方が安かったのです。まだまだ船が多く利用されていたのです。



安房博物館前の交差点付近にあった水道会社
1階で汽船の切符を販売していました

館山駅・80年の歴史

安房北条駅ができてまもなく、1923(大正12)年におこった関東大震災で、駅舎がつぶれてしまいました。この震災で、北条町は安房の中でも一番大きな被害がありましたが、その一方で、震災後には駅前にそば屋など、いろいろな商店が店を出しはじめ、商店街がつくられていきました。

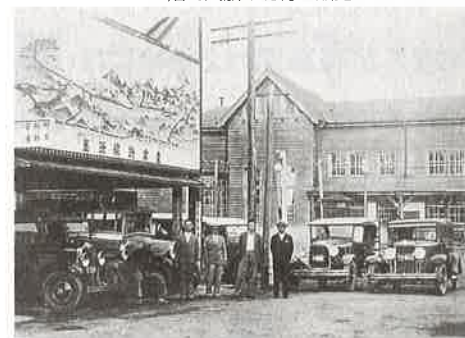
1925(大正14)年には新しい駅舎に建てかえられました。この年には、房総西線(今のJR内房線)が、1929(昭和4)年には房総東線(今のJR外房線)が開通し、安房北条駅は、内房と外房を結ぶ駅としてますますかつやくするようになったのです。

昭和に入り、1939(昭和14)年11月3日には、安房郡館山北条町と那古町、船形町の三町が合併して館山市ができました。昭和20年代になるとアメリカ空軍の本土爆撃も地方に広がり、那古にも爆弾が落とされました。

このころは、房総西線で東京の両国から安房北条駅までSLで約4時間もかかっていた。戦時中は、木製の客車はアメリカ軍機の機銃で穴だらけで、切符もなかなか買えない状態でした。

戦後の1946(昭和21)年3月1日には安房北条駅から館山駅に名前がかえられました。翌年には、駅前にロータリーがつけられ、駅前のシンボルともいえるカナリーヤシが植えられました。

1969(昭和44)年には、房総西線が千倉町まで電化開通され、東京から館山の間を2時間でいけるようになり、ますます便利になりました。この一方で、開業以来かつやくしてきた蒸気列車が姿を消すことになり、たくさんの人が慣れ親しんだ蒸気列車



安房北条駅前の乗合自動車(昭和初期)



館山~両国間を4時間でつないだ蒸気機関車



昭和30年頃の駅前交差点



電化される前に走っていたディーゼル列車

とのわかれをおしました。

1971(昭和46)年、房総西線が内房線に名前がかえられ、翌年には特急列車が運行されました。みんなが鉄道を利用するようになり、北条海岸から汽船の姿が消えたのもこのころのことです。

1993(平成5)年7月2日には、「ビューさざなみ」が運行を開始。1999(平成11)年には館山駅の東西をむすぶ今の駅舎に建てかえられ、3月27日の始発から新駅舎での運行が開始されました。その年の9月には、新駅舎が「関東の駅百選」にも選ばれ、館山市のシンボルとして、多くの観光客を迎え入れています。



特急さざなみ号の運行開始



館山駅開業50周年記念パレード



おもしろ探検隊

駅前のシンボル ヤシの木

館山駅東口を降りると、正面に南国のイメージのヤシの木がそびえ立っています。これは、1947(昭和22)年に駅前ロータリーがつけられたときに同時に植えられたものです。いつでも私たちを見守ってくれているような、このヤシの木のお話をしましょう。

このヤシの木を最初に育てたのは、神戸地区藤原の安西定七さんという人でした。大正のはじめころの話ですが、はじめは買って来たとも種をひろってきたとも言われ、実際のところ出所はよくわかっていません。

このヤシの木はカナリーヤシといって、アフリカのカナリー諸島原産のものだそうです。昭和のはじめころ、当時ヤシの木なんてそうそうありませんでしたので、安西さんの家に植えてあったヤシの木は通りすがりの人たちにたいへんめずらしがられていました。

1941(昭和16)年に現在の房南中学校の



館山駅前のバス発着場(昭和30年代)

敷地を中心とする場所に館山海軍砲術学校ができました。その翌年に安西さんから砲術学校にヤシの木が寄贈されました。太平洋戦争をはさんで、1947(昭和22)年に館山駅前のロータリーをつくることになり、砲術学校のヤシの木を移植しました。もうそれから50年以上の歳月がたちました。

高さ10メートルをこえる駅前のヤシの木は今日も、元気に館山におとずれる人を迎えています。

●^ち ^ず ^み 地図で見てもよう
北条地区



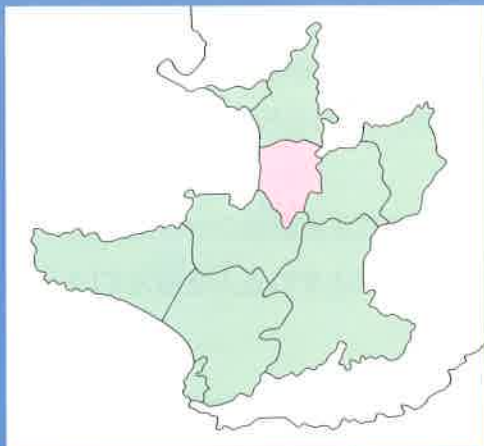
北条地区 北条市
JR館山駅（西口）



北条地区 北条市
JR館山駅（東口）



北条地区 北条市
南総文化ホール



平久里

鏡ヶ浦クリーンセンター

北

安房西高校

館山駅



汐入川



みなと
湊

ほししょうまさき
北条正木

たきがわ
滝川

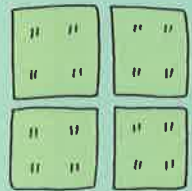
や八
八幡

八 卍

○デカンショ節の碑

127

やわたじんじゃ
八幡神社



88

たが井
高井

302



あわごうこう
安房高校



たてやまごうこう
館山高校

うえのほら
上野原

しん宿
新宿

しやくしょ
市役所

たてやまさんちゅう
館山三中

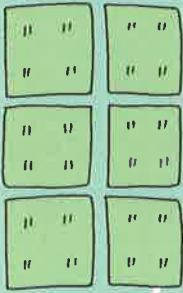


八 卍



ほししょうしょう
北条小

けいさつしょ
警察署



としょかん
図書館

しょうぼうしょ
消防署

あわみなみごうこう
安房南高校



うびんきょく
郵便局

さいばんしょ
裁判所



なんそうぶんか
南総文化ホール
コミュニティセンター

か須賀
須賀

八 卍

八 卍

じょう か まち さか
(4) 城下町として栄えた

たて やま
館山

館山のまちのうつり
かわりを調べてみよう！



しるやまさんちやう ぼくがつかんぶんかん
城山山頂 (博物館分館)



ほうこく
館山小のけい子さんの報告

1 館山のようす

しるやま ちゆうしん ひろ
城山を中心にまちなみが広がっている館
山地区は、館山市の中央部に位置し、市内
でも人口の多いところす。

しるやま
館山地区のシンボルともいえる城山は、春にな
ると桜やツツジが山一面に咲き、週末にはたくさ
んの人が訪れます。山頂へ向かう途中には、博
物館本館と山頂にはお城の形をした博物館分館があります。
山頂からは沖ノ島や波静かな館山湾を見わたすことができま
す。

しるやま がわ ちか やま
私の家は、城山の南側にあります。夏が近づくと、ピワ山やハ
ウスでは、ピワの収穫がはじまり、近所の農家の人たちはいそが
しくなります。

とよつ
館山地区は、大きく館山と豊津にわかれます。それぞれに、館
山は漁業と商業、豊津は漁業と農業を中心に栄えてきました。
じょうもんじん こだいじん くらし やすかつた 土地のようす、沼を中心



じんこう か
● 人口の移り変わり

	明治22年	昭和40年	平成13年
館山市全体	43,086人	56,674人	52,080人
館山地区	7,222人 (17%)	12,293人 (22%)	13,381人 (26%)



じょうもん こふん いせき ちゅうせい
に縄文時代から古墳時代にかけての遺跡や、中世のやぐらな
どが数多く確認されています。

ちめい せんごくだいみょう さとみ し きょじょう
館山という地名は、戦国大名・里見氏が居城をかまえていた
たてやまじょうせき しろやま かずかず ぶしょう じょうかん りょう
館山城跡（城山）が、古くから数々の武将たちの城館に利用
されていたことに由来します。城館のある山、このことからこの
山が館山といわれ、やがて城下のまわりも館山と呼ばれるよう
になりました。

たてやまじょう きず さとみ し じょうかまち
館山城が築かれたことで、館山地区は里見氏の城下町とし
て栄え、港にはたくさんの船が出入りして、まちもとてもにぎやか
になりました。また、昭和のはじめには館山海軍航空隊がおか
れ、戦時中は、軍都として戦争と深いかわりをもっていました。
じょうかまち みなとまち ぐんと せんそう ふか
城下町として、港町として、軍都として、さまざまな歴史をもつ
館山のようすとそのうつりかわりを調べてみました。

やぐら

やぐらは、中世の武士や僧侶が岩にあなをほって、墓として利用していたものです。



しろうまからみた館山のまちなみ

2 館山の歴史を調べてみよう



城下町として栄えた館山

じょうかまち さか
城下町として栄えた館山地区の話は、今から400年ほど前、豊臣秀吉の時代にさかのぼります。

てんしょう さとみ し だい よしやす たてやまじょう けんせつ
1588(天正16)年、里見氏九代の義康が館山城の建設をはじめたとき、義康はいままでの里見家の城にはない新しいタイプの城づくりをはじめます。

それは、大きな船が出入りできる港をはじめ、商売をする人のためにも交通の便がよく、城下には多くの家臣をひかえさせておく城下町です。武家と町方、領民がともに栄えるまちをつくらうとしたのです。そして、1590(天正18)年頃、館山城が完成しました。

いらい よしやす きず じょうかまち
以来、義康が築き上げた城下町は、時代をこえてうけつがれ、あわちほう せいじ さんぎょう ぶんか ちゅうしん はってん
安房地方の政治、産業、文化の中心として発展していくこととなります。しかし、江戸時代になると、里見氏は徳川幕府にとって外様大名であったため、無実の罪を着せられて取りつぶすと



しろうまからみた館山のまちなみ (大正初期)



しろうり ころ じょうま
昭和のはじめ頃の城山

なり、館山城も徳川幕府の手であとかたもなくこわされてしまいました。

今でも城山公園のまわりには、城をかこんだ堀のあとや城壁の名残を見ることができます。城山の東側にある上真倉には、今でもたくさんの寺院がありますが、当時は12もの寺院がありました。これらの寺院は館山城のいちばん外側の囲いとしての役割があったと考えられ、なかでも、泉慶院には館山城鹿島堀の一部が残っています。また、今も残る上町、仲町、下町などの地名は、城下町の名残でもあります。

港町として栄えた館山

里見氏にかわってこの地をおさめたのは、徳川幕府やその旗本たちです。江戸に政権がうつり、海上交通が発達してくると、江戸湾の入口にある館山港は海上交通の重要な港として注目を集めます。

港のまわりには、東北の南部藩や仙台藩の船宿が置かれるほどでした。また、館山湾は船のひなんする所としてとてもよい所だったので、幕府の御用米を海路で運んできた船が、ここで一休みしては江戸へ向かったそうです。今でも館山には、「赤門」「仙台屋」などという名前の残っている家がありますが、御用米をあつかった船宿だといわれています。

江戸時代の終わりごろになると、西の浜や柏崎の海岸の沖では、東北方面から薪や炭、米などを積んでやってきた廻船や、江戸を行き来する押送船などが館山湾に停泊し、荷物ははしけ船で積み下ろしされていました。

港町としての発展は、明治以降も続き、館山栈橋は東京と館山を結ぶ汽船の発着場となっていました。西岬や富崎の魚、藤原の白土などが館山栈橋から送り出され、港はたくさんの人でにぎわいました。このころ、館山市の中心はこの館山地区にあり、大きな銀行などはこちらにありましたが、大正時代に入り、房州に鉄道がきて、北条に駅ができると、市の中心は北条地区にうつっていきました。



鹿島堀跡



現在の館山港



鏡ヶ浦図絵馬 (大正4年)



押送船 (模型・安房博物館蔵)



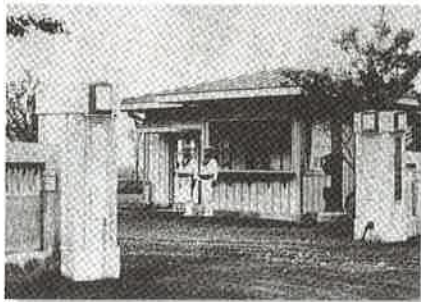
昭和の初め頃の館山栈橋



みやぎ せんたいごう こうくう き ぶさ こう
宮城の掩体壕（航空機を納める壕）



あきかいぐんこうくうたいしげいしやう
洲ノ崎海軍航空隊射撃場跡



たてやまかいぐんこうくうたい せいもん
館山海軍航空隊の正門



あきかいぐんこうくうたい
洲ノ崎海軍航空隊



たてやまかいぐんほうしゅうがっこう
館山海軍砲術学校



戦争と深いかわりをもつ館山

しょうわ とうきやうわん いりぐち たてやまわん ぐん
昭和のはじめころ、東京湾の入口にある館山湾は、軍
じじょう じゅうやう せんそう ふか
事上の重要な地区として、戦争と深いかわりをもっていま
た。

たいしやう かんとうだいしんさい かいがんせん りゅうき おき しま たか
大正12年の関東大震災で、海岸線の隆起により沖ノ島と高
しま じつづ あら しょうわ たてやまかいぐん
ノ島が地続きになり、この新たな土地に、昭和5年に館山海軍
こうくうたい みやぎ おおか こうくう き ぶっし
航空隊がおかれました。宮城や大賀などには航空機や物資を
ほかん ごう かずおお
保管するための「壕」が数多くつくられました。

しょうわ たてやまかいぐんこうくう き ち す さきかいぐんこう
昭和18年には、館山海軍航空基地のとなりに洲ノ崎海軍航
くうたい きじゅう しやげきくんれん
空隊がつくられました。ここでは機銃の射撃訓練などがおこな
れ、全国から、多いときで1万数千人が入隊していたといわれて
います。

せん ご こうくうたい しゅうへん ふじみ な だい
戦後、航空隊の周辺は「富士見」と名づけられました。その大
ぶぶん かいじやうじ えいたいだい こうくうぐんたてやまこうくう き ち しょうち
部分は海上自衛隊第21航空群館山航空基地の用地でしめら
れていますが、多くの自然が残る沖ノ島や高ノ島は、富士山や
たてやまわん み
館山湾を見わたすことができる市民のいいいの場として、今でも
多くの人に親しまれています。



しるやまさんちやう たてやまわん
城山山頂からみた館山湾



げんざいではしや민의いいいの場になっている城山公園

3 岡沼のビワづくりのようすを見てみよう

ビワの栽培は、全国では長崎県や鹿児島県、千葉県でさかんです。千葉県では、富浦町を中心に富山町や館山市の船形、那古、館山地区でおもに栽培され、「房州ビワ」として有名です。

ビワ畑は、山の斜面につくられています。これは、ビワが春先の寒さに弱いので、霜のおりにくい山の傾斜地で、海岸に近い所が栽培に適しているからです。

城山の南側にある岡沼地区でも、ビワ栽培がさかんで、約5ヘクタールで20戸ほどの農家がビワを栽培しています。岡沼のビワ栽培は、今から60年ほど前、富浦町からこの地にうつり住んだ法木嗣郎さんにより、その栽培技術が伝えられたのがはじまりといわれています。

夏が近づくと、ビワ農家では、家族みんなでビワの収穫や箱詰め作業がはじまり、いそがしくなります。品種は「田中」や「大房」が中心で、東京の市場では高い値段で取り引きされます。最近では「瑞穂」などの新しい品種も栽培されるようになりました。

近ごろでは、休耕田を利用したハウスビワの栽培がさかんになってきています。ハウスを利用したビワ栽培は、山の斜面と違い、たいらな地面なので、作業がとても楽になりました。



城山からみた沼地区



岡沼のビワハウス



箱詰め作業

館山地区には、館山市の歴史を学ぶ博物館や、沖ノ島、沼サンゴなど身近な自然を学ぶことができる場所がたくさんあります。みんなでかけてみましょう。





おもしろ探検隊

沼のサンゴ層とヒカリモ

沼のサンゴ

城山の南側に、沼という地名の地区があります。沼の地名はこの地一帯に沼地が広がっていたことに由来するといえます。

沼という地名を裏づけるかのように、谷の奥、海拔20メートルのところに、6千年から1万5千年前に形成されたサンゴ層があり、そのころ、ここが海だったことがわかります。

沼のサンゴ層は、地層研究や化石研究の対象として古くから知られていて、誰でも観察できるようにサンゴの化石を柵でかこった見学施設もあります。現在75種類が確認され、千葉県天然記念物に指定されています。



千葉県の天然記念物に指定されている沼のサンゴ層



黄金色にかがやくヒカリモ

ヒカリモ

また、沼地区のあたりにみられる洞穴では「ヒカリモ」を観察することができます。「ヒカリモ」は、顕微鏡でなければその姿や形を確認することができないほど小さなものですが、洞穴内の水たまりなどに群生して浮かぶと、光線を反射して水面が黄金色にかがやくことで知られています。

最近では、安房高等学校生物部の生徒たちが1年半以上かけて沼地区の「ヒカリモ」を研究しました。「ヒカリモ」が生息する洞穴の大きさや水の深さ、水質、光の強さなどを調べていくうちに、新たに生息地7か所を発見。現在は沼地区周辺16か所の洞穴に「ヒカリモ」が生息していることがわかりました。また、「ヒカリモ」の発生



ヒカリモの発生は、サンゴ層とも深く関係していることも実験でわかりました

はサンゴ層とも深く関係していることも実験でわかりました。

沼地区のほかにも、市内には自然豊かな所がまだまだたくさんあるはず。みんなで調べてみましょう。

●^ち地図^すで^み見て^みよう

館山地区



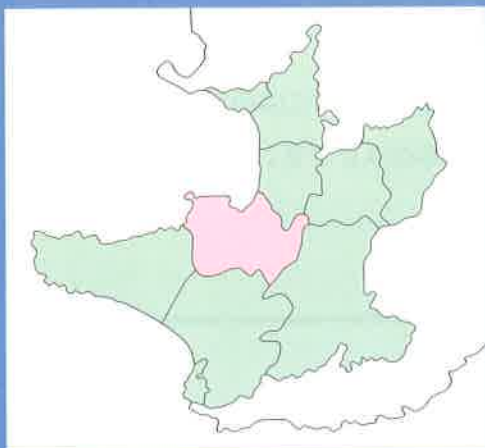
城山山頂 (博物館分館)



城山からみた館山のまちなみ



忍のサンゴ層



おきしま
沖ノ島





にし ざき

(5) 花づくりが盛んな

西岬



洲崎灯台

西岬のまちのようす
を調べてみよう！



西岬小のよう子さんの報告

1 西岬のようす

西岬地区は、館山市の中で西に突き出たところにあります。まわりの4分の3が海にかこまれ、地図で見ると、山が海岸までせまっています、平地が少ないです。

西岬の地名は、東京湾に岬のように突き出していることから名づけられたもので、明治22年に西岬村ができたときにその名がつけられました。

東京湾の入口にある洲崎は、波のはげしい外房と波のおだやかな内房のさかいでもあります。岬には沖を行き来する船を見守る洲崎灯台があります。この洲崎灯台は、大正8年、今から80年ほど前にたてられました。光のとどく距離は約34キロメートルで、水面から灯火までの高さは45.1メートルあります。

まだ灯台がなかったころ、東京湾に向かう船は、白浜の野島埼灯台を目標にすすんでいましたが、布良崎を洲崎とまちがえ



● 人口の移り変わり

	明治22年	昭和40年	平成13年
館山市全体	43,086人	56,674人	52,080人
西岬地区	5,096人 (12%)	4,106人 (7%)	3,123人 (6%)

て、暗やみの平砂浦に乗り上げてしまう事故が多くありました。洲崎灯台がたてられてからは事故もなくなったそうです。今でも船乗りの人たちは、館山が近づき、洲崎灯台の光を見るとほっとするそうです。

西岬地区は、花の産地として有名です。沖を流れる黒潮の影響で、冬でも温暖な気候のため、年間を通じてさまざまな花が栽培されています。2月になると、洲崎灯台のまわりはストックなどの露地花が咲き始め、一足早い春がやってきます。

西岬の花づくりは、大正6年に一人の船員が持ってきた花の種から花が咲き、その花を東京の花屋へ送ったことがはじまりです。今では、冬から春にかけて、菜の花やキンセンカ、ポピー、マーガレットなどが咲き乱れ、「日本の道100選」にも選ばれたフラワーライン沿いには、南房パラダイスや館山ファミリーパークといった花と自然の観光施設もあり、四季を通じてたくさんの人でにぎわっています。

西岬の花づくりのようすを調べてみました。

2 西岬の花づくりのようす



花づくりに適した自然環境

西岬の花の栽培は、西に突き出た地形と深い関係があります。館山湾に面した北側の地区では、北風がじかにあたるので、花づくりはあまりさかんではありません。一方、南側では、海風が強くあたるため霜が風でとばされ、夜の冷えこみが少ないため、花の栽培に適しています。

また、平地が少ない西岬地区では、狭い農地から効率よく収益をあげるためにも、花の栽培は適していました。

同じ南側でも、場所によってその栽培方法や花の種類がちがいます。南側の海沿いにある洲崎や伊戸では、ストックなどの露地花栽培がさかんです。海岸から少しはなれた坂足、小沼、坂井などでは、夜の冷えこみが洲崎周辺よりも強いので、ハウス栽



沖を行き来する船を見守る洲崎灯台



洲崎灯台のまわりのストック畑



洲崎灯台からみた西岬の北側



洲崎灯台からみた西岬の南側



ゆうひ
夕日にはえるストック



すのさきじんじや
洲崎神社の大しめ縄



おおやま
大山 (標高193.8メートル)



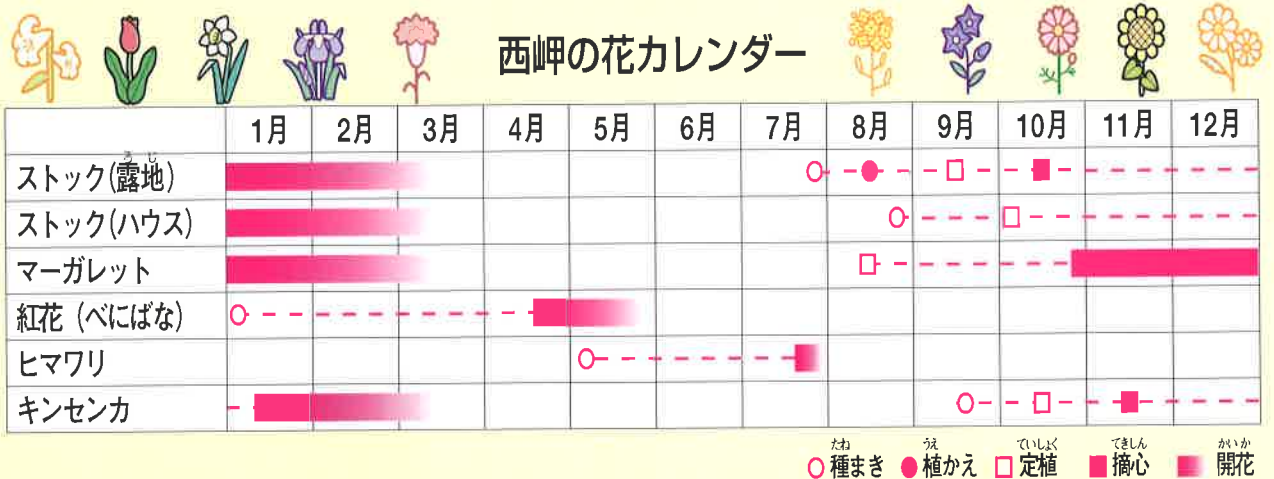
はなつ
ポピー花摘み



すのさきじんじや
洲崎神社

ばい ちゅうしん きく
菊やストック、キンセンカ、マーガレットなどが栽培さ
れられています。

のうか
花農家のなかには、新しい種類の花を自分でつくっている人
もいます。また、いくつかの花農家では、ポピーなどの花摘みが
できる観光農業をおこなっている人もいます。





花づくりのようす

2月ごろになると、洲埼灯台のまわりでは家族総出でストックの出荷作業がはじまります。白い灯台と真っ青な海を背景に、紫色や白色のストックが一面に咲くようすは、とても美しく、春の訪れを私たちに教えてくれます。

ストックは、8月から9月にかけて種をまきます。10月には新しい芽をやわらかい土の畑に植えかえます。これを定植といいます。強い日差しをあびないように、「すのこ」でおおったり、水をかけたりと、たいへんな作業が続きます。

市場で花が高く売れるお彼岸を前に、2月から3月にかけて摘みとり作業がはじまります。摘みとり作業にかかせないのが、ススキを材料にした「こも」です。「こも」は、摘んだ花を家へ運ぶときに使われます。長さ2メートルほどのススキを自家製の織り機で幅70センチ、長さ1メートルに編みこみます。

運ぶときに花がずれおちないことから、出荷用に昔からつくられていましたが、最近では出荷用には段ボールが使われ、花農家の伝統でもある「こも」をつくる人も少なくなっています。



ストックの摘みとり作業



こもづくりのようす



花づくりのあゆみ

西岬は、昔から半農半漁の村でした。明治のはじめころは、西岬でもたくさんのイワシがとれました。しかし、明治30年ごろから、イワシがだんだんとれなくなりました。男たちは千倉町などほかの漁場へ出かせぎに行くようになりました。そのため、農業は女の仕事になってしまいました。畑は山の斜面の段々畑がおおいため、肥料や花を運ぶのはたいへんな仕事でした。

明治のおわりごろ、岩永益禅さんが九州から小沼に来て、寺子屋をはじめました。大正2年ごろ、岩永さんは趣味で菊やキンセンカをつくりはじめました。大正6年、坂井の和代勝蔵さんという船員が、岩永さんに花の種を持ってきました。岩永さんは、その種をまき、花を咲かせ、東京へ行ったついでに築地の花屋にその花をおいてきました。しばらくして、花屋から「もっと花をおくってほしい」という知らせがあったので、残った花を送りました。



昭和40年頃の西岬



昭和30年頃の西岬・縄の修理をする漁師さん

これが花の出荷のはじまりです。

そのころは、汽車も自動車もなかったので、西岬から大八車で館山の棧橋まで花を運び、船で送り出していました。船がおそいので、くさってしまう花もありましたが、値段は米よりも高く売れて、花のほうがずっとお金になりました。

大正10年ごろ、伊戸、西川名、根本の人たちが、お寺に日やといの仕事に来て、花のつくり方をおぼえ、このころから土地の人たちも花づくりをはじめました。

昭和にはいると、房州の漁業がふるわなくなり、江見、和田、富浦、岩井などから岩永さんのところに花づくりを教わりにくるようになりました。また、東京の大森市場からストックの花の試作をたのまれ、西岬地区でストックづくりがはじまりました。

昭和17年ごろから太平洋戦争がはげしくなると、花より食料品のイモをつくることになりましたが、戦後、また花づくりがさかんになりました。

今では、新しい品種のストックも西岬からたくさん生まれ、房総の花畑できれいな花を咲かせています。



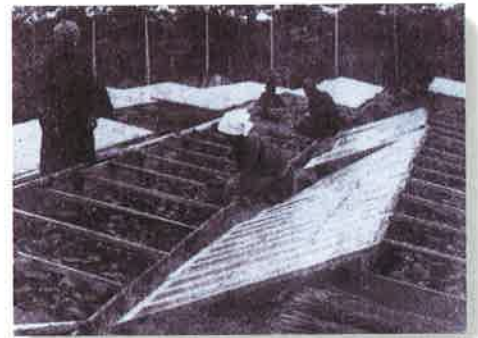
西岬の漁業のようす

黒潮が流れる西岬沖は、たくさんの種類の魚がとれる豊かな漁場でもあります。館山市内には、船形漁港や富崎漁港など10の漁港があります。西岬地区にはそのうち8つの漁港があります。早朝、それぞれの漁港から、たくさんの漁船が漁にでかけていきます。

魚をとる方法は、魚の種類や大きさなどによってちがいますが、西岬では「定置網漁」が中心です。「定置網漁」は、魚の通り道を垣根のようにさえぎり、魚の習性を利用して網の中に魚をさそいこむ方法で、イワシやアジ、イナダなどがとれます。

また、魚の通り道に壁のように網をはり、魚の頭部や体をからませてとる「刺網漁」も主に夏場におこなわれます。イセエビやサザエなどはこの方法でとっています。

漁師さんたちは、港にかえってくると、魚の種類ごとにしわけを



昔の花づくりのようす



西岬の花畑



ヒジキ狩りのようす



魚のしわけ作業

して市場へ出荷します。天候が悪くて漁に出られないときなどは、網の補修や船の手入れなどをします。

坂田漁港では、一般の人でも漁船に乗って漁を楽しめる「観光定置網」があります。沖合300メートルほどの漁場でおこなわれる漁は、海ではたらく漁師さんたちの仕事を間近でみることで、観光客に人気があります。



観光客に人気の「観光定置網」



房州に伝わる天気のことわざ

科学技術が発達した現代では、気象衛星などからおくられてくる情報で、私たちはいつでも天気予報を知ることができます。

このような天気予報のない時代の人たちは、身近な自然の変化から、天気のおつりかわりを予測していました。これを観天望気といいます。田畑をたがやすお百姓さんはもちろん、海で働く漁師さんたちにとっても、天気の変化を読むことは、まさに命がけの重要な仕事のひとつでした。

ふるさと房州には、海の男たちが長年の自然観察からあみだした天気予知のことばが、親から子へ、先輩から後はいへと、数多く語り伝えられています。その中のいくつかを、館山測候所の気象官だった網仲七之助さんの調査報告書『房州地方の天気のことわざ』から紹介します。

それには「夕やけは晴れ、朝やけは雨」というような全国的に知られていることわざのほか、館



山周辺に伝わる地域的なものがたくさんあるそうです。

たとえば「台風時期に、洲崎から大島にかけて雨足が立つと、天気がくずれる前兆」とか、「夏期に、三宅島方面で立雲がすると、ウネリがくる」などがあります。また、「大島・三宅島が近く見ると、雨が近い」とか、「大島晴らすと西風になる」「春の南風、秋の北風は好天気」など、たくさんあります。

これらは、昔の人たちのするどい自然観察力から生まれた、生きるための智慧でもあります。

●^ち地図で^す見て^みみよう
西岬地区



洲崎灯台



ストック畑



ヒジキ狩りのようす





あ わ かい たく しん わ さと
(6) 安房開拓神話の里

かん べ
神戸



うつく まつばやし つづ へい さうらいがん
美しい松林が続く平砂浦海岸

神戸のまちのようす
を調べてみよう！



神戸小のけんたろうさんの報告

1 神戸のようす

神戸地区は、美しい松林が続く平砂浦海岸にそ
って広がる土地で、そのまわりを緑の森林が囲む、
自然豊かなところす。

安房神社の入口にある千葉県立野鳥の森は、
「森林浴の森100選」にも選ばれ、ハイキングやバー
ドウォッチングが楽しめます。また、平砂浦海岸のあ
たりは「白砂青松100選」「日本の道100選」にも選
ばれていて、美しい景色が続いています。

温暖な気候にめぐまれた神戸地区は、花の産地
として、あるいはレタスの産地としても有名です。

このあたりは、その昔、四国の阿波から忌部氏が一族をひき
いて上陸し、開発をはじめたところだと伝えられ、安房開拓にま
つわる神話の里でもあります。忌部氏のふるさとの名にちなんで
この地が「安房」と名づけられ、そこに先祖の天太玉命をまつる
神社をたてました。それが現在の安房神社のはじまりです。



● 人口の移り変わり

	明治22年	昭和40年	平成13年
館山市全体	43,086人	56,674人	52,080人
神戸地区	3,593人 (8%)	3,142人 (6%)	3,187人 (6%)

神戸は「神^{かみ}につかえる家」のことで、安房神社^{あわじんじや}の神^{さき}を支える人たちの家^{ちいさ}があった地域^{ちいさ}ということが地名^{ちいさ}の由来^{ゆらい}です。明治22年^{めいじ}に神戸村^なができたときにその名^ながつけられました。

神戸地区^{れきし}の歴史^{へいさうら}は、平砂浦^{すな}の砂^{れきし}とのたたかいの歴史^{れきし}でもあります。大風^{おおかせ}がふくたびに飛^とんでくる砂^{すな}は、家^{たはた}や田畑^{のうか}をうめ、農家^{のうか}の人たち^{くる}を苦しめてきました。

平砂浦^{へいさうら}の砂防^{さぼう}の歴史^{れきし}とまちのようすを調^{しら}べてみました。



安房神社

2 平砂浦砂防の歴史



地震^{じしん}によってつくられた砂丘^{さきゅう}

平砂浦^{へいさうら}の砂防^{さぼう}の歴史^{れきし}は古^{えど}く、江戸時代^{げんろく}の元禄^{げんろく}のころから、明治^{めいじ}、大正^{たいしやう}、昭和^{しやうわ}と300年^{ちか}近くもの間^{あいだ}、続けられてきました。

1703(元禄16)年^{げんろく}と1855(安政2)年^{あんせい}に、大地震^{だいじしん}がおこりました。この地震^{じしん}によって土地^ちがもりあがり、海岸^{かいがん}のあたり^{いちめん}は一面^{すなはま}の砂浜^さになりました。大風^{おおかせ}によって空^ふに吹き上げられた砂^あは、一晩^{すな}で小川^{ひとばん}の流れ^おをかえてしまったり、田畑^{たはた}をうめてしまうほどで、農家^{のうか}の人たち^{くる}をたいへん苦しめました。

もっとも被害^{ひがい}のあった藤原地区^{ふじわら}では、海岸^{かいがん}から3キロメートルも奥^{おく}の方^{ほう}まで砂^{すな}がおしよせ、田畑^{たはた}は1年1年^{すな}せばめられていきました。



砂流し^{すななが}と砂防林^{さぼうりん}の植栽^{しょくさい}

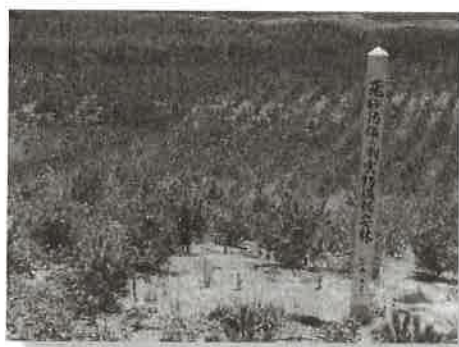
農家^{のうか}の人たち^{たはた}は、田畑^{すな}につもる砂^{なん}を何とか取りさる方法^{ほう}はないか考^{かんが}え、川^{すな}に砂^{なが}を流^{おも}すことを思^{おも}いつきました。大雨^{おおあめ}になると一家^{いっか}総出^{そうで}で田畑^{たはた}につもった砂^{すな}を川^{なが}に流^{なが}しました。

藤原地区^{ふじわら}では、田畑^{たはた}のまん中^{すいろ}にわざわざ水路^{すのみやがわ}をつくり、洲宮川^{すのみやがわ}の水^{すな}をこれに流^{なが}しこみ、砂^{すな}を流^{なが}しました。この砂流し^{すななが}は、昭和20年代^{しやうわ}まで200年以上^{すな}も続^{つづ}きました。

一方^{いっほう}、海岸^{かいがん}では村^{むら}の人たち^{ひと}が力^{ちから}をあわせて柵^{さく}をたてたり、砂防林^{さぼうりん}をつくりながら田畑^{たはた}を守^{まも}ろうとしましたが、砂^{すな}の被害^{ひがい}は防^{ふせ}ぎ



平砂浦海岸^{へいさうらかいがん}の砂防林^{さぼうりん}整備^{せいび} (昭和26年頃)



昭和28年頃の平砂浦海岸^{しやうわ}



平砂浦海岸^{へいさうらかいがん}で砂防垣^{さぼうかき}を作る人^{ひと}たち (昭和30年頃)



平砂浦砂防林のようす



砂山からみた平砂浦



砂防林の記念碑



平砂浦海岸のようす



砂防柵

きれませんでした。しかも、戦時中は、館山海軍砲術学校の演習地としてつかわれたため、せっかくつくりかけた砂防林はことごとく伐採されてしまいました。



村人の団結と砂防林の完成

戦後、このあたりが地元にかえされたときは、もとの砂丘にもどっていて、農作物をつくるのもむずかしい状態でした。そこで、西岬村と神戸村が団結して砂防林保護組合を結成し、千葉県との協力で昭和24年から10年の歳月をかけ、昭和33年に現在の砂防林を完成させました。

現在では、緑の松林からはウズラなど小鳥のかわいい声も聞かれ、海岸ではハマヒルガオなどの海岸植物が私たちの目を楽しませてくれています。田畑では、特産品のレタスをはじめ、スイカやウリなどいろいろな野菜がつけられています。



平砂浦海岸に咲くハマヒルガオ



つり客にも人気のスポットになっています

3 花づくりのようすを調べてみよう

気候が温暖な神戸地区では、布沼を中心に花づくりがさかんです。神戸地区で栽培されているおもな花の開花時期をあらわした「花カレンダー」を見ると、ストックやトルコギキョウ、スターチスなど、1年を通じてさまざまな花が栽培されているのがわかります。

神戸地区では、大型のガラス温室やビニールハウスによる花の栽培が中心です。花の農家の人たちは、市場でどのような花が人気があるのか、新しい品種の研究や栽培方法のくふうをしたり、生産組合をつくって、共同で東京の市場へ花を出荷しています。



ビニールハウスによるストック栽培



トルコギキョウの出荷作業



花シーズンの幕開けを告げるポピー

本格的な冬が訪れる11月、神戸地区の布沼では、花シーズンの幕開けを告げるアイランドポピーの出荷がはじまります。アイランドポピーは、7月に種をまき、9月末には新しい芽をやわらかい土の畑に植えかえます。11月から3月にかけて、20センチから30センチほどの高さに育ったものをつぼみの状態で収穫し、箱詰めにして東京の市場へ出荷します。



花シーズンの幕開けを告げるアイランドポピー

神戸の花カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
ストック(ハウス)	■							○	□	■			
トルコギキョウ	□		■			○	□	■					
スターチス	■							○	□	■			
アイリス	■							○	□	■			
カーネーション	■						□	■					
キンギョソウ	■							○	□	■			
アイランドポピー	■							○	□	■			

○ 種まき ● 植えかえ □ 定植 ■ 摘心 ■ 開花



ぼくもお手伝い



一面にひろがるポピー畑

神戸地区でアイスランドポピーの栽培がはじまったのは、昭和24年ごろ。現在では、布沼、茂名、洲宮の約40軒ほどの農家で栽培され、約7ヘクタールの栽培面積は、日本全国で唯一の集団産地になっています。



夏の花として人気のあるトルコギキョウ

6月になると、夏の花として人気のあるトルコギキョウの出荷がはじまります。ハウスの中では、ピンク、白、クリーム、むらさきなど色とりどりの花が咲きほこります。

神戸地区でトルコギキョウの栽培がはじまったのは20年ほど前からです。暑さに強く、花もちがいいことから、ポピーやストックなど春先の花に続く夏の花として、栽培されています。花農家では、ハウスでの切り取りから花芽をととのえる芽摘み、箱詰めと、早朝から家族総出の作業が続きます。

花農家によって、1年間の花ごよみが違います。株を残して、冬にまたトルコギキョウを出荷する二期作の農家もいれば、株を残さずに、同じ畑に来春のポピーやストックの準備をする農家もいます。

最近では、トルコギキョウは秋の結婚シーズンなどにも人気があり、栽培方法などをくふうして、ほとんど1年中出荷できるようになりました。

アイスランドポピー



ポピーの正式な名前はアイスランドポピー、和名はシベリアヒナゲシといいます。18世紀に北極探検隊がシベリアで発見したためその名前がつけられました。原産地はシベリアとヨーロッパで花言葉は「忍耐・なぐさめ」。また、3月・4月の誕生花になっています。



出荷作業のようす



色あざやかなトルコギキョウ

4 レタス栽培のようす

神戸地区ではレタス栽培もさかんです。藤原や佐野を中心
に広がるレタス畑は、県内でも有数の一大産地になっています。
栽培面積は約55ヘクタールにもおよびます。

神戸地区のレタス栽培は、戦後からはじめられ、昭和44年
は国から「野菜指定産地」に指定されました。現在では、約50
戸の農家が組合をつくり、共同で等級の選別や出荷を行って
います。年間1,300トン、その約8割を東京方面、2割を千葉県内
に出荷しています。各農家では、トンネル状の小さなビニールハ
ウスの中から、包丁で1個ずついねいに収穫し、ラップにつ
んだものを箱詰めにして出荷しています。出荷作業は、12月ご
ろから水田の作業がはじまる3月いっぱいまで続きます。



一面にひろがるレタス畑



レタスの収穫作業



おもしろ 探検隊

茂名の里芋祭

神戸地区の茂名では、毎年2月20日に「里芋
祭」という行事が行われています。これは、
五穀豊穰・無病息災を祈る祭りとして、茂名の十
二所神社の氏子30戸で受け継がれている伝統
の行事です。昭和63年に、市の無形文化財に指
定されています。

前日の19日に、茂名地区全戸の30戸が2軒
ずつ組をつくり、各組12個の「アカメ」といわれ
る丸く大きな芋を持ちよります。集められた
180個の芋をハギの枝でさしながら、2つの桶
に90個ずついねいに積み上げていきます。翌
日、これを竹カゴで神社へ運び、祭典をした後に
その場で芋を各戸へ配ります。



里芋祭は、神社の祭神、国常立命が12人
の子どもを育てるのに自分の乳だけでは足りな
いため、甘酒と里芋で育てたことに由来すると
もいられています。また、里芋を食べると病気に
ならないと伝えられ、旧正月になると地区をあげ
て里芋を奉納するのだそうです。

●^ち地^ず図^みで見^みて^みよう
神戸地区



安房神社



トルコギキョウの出荷作業



平砂浦海岸に咲くハマヒルガオ



ともろ
巴



茂名

けんりつたてやまろうどうこうえん
県立館山運動公園

じゅうにしよじんじゃ
十二所神社
もな さと いもまつり
(茂名の里芋祭)

すのみやじんじゃ
洲宮神社
おたうえしんじ
(御田植神事)

ラ・コスタカントリークラブ

ふじ 藤 原

ふじわらじんじゃ ししかくら
藤原神社(獅子神楽)

さ 野

410

文



ぼうなんちゅう
房南中

ぼう
房パラダイス

むら
いこいの村たてやま

いぬ 石
犬石

文



かんべしやう
神戸小

あわようごがっこう
安房養護学校

なか ざと
中里

りやう おが
竜岡

こづかたいし
小塚大師

やちよう もり
野鳥の森

おおつかやま
大塚山

せんしやうじ
千祥寺

だいじんくう き じんしちにんさま くよび
(大神宮義民七人様の供養碑)

だいじんくう
大神宮

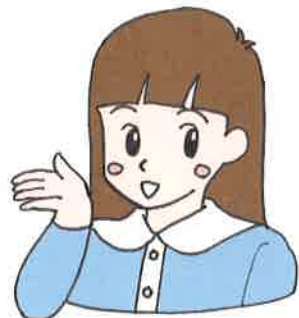
あわじんじゃ
安房神社
どうくつ いせき
(洞窟遺跡)

とみ さき
 (7) 黒潮流れる海辺のまち 富崎



富崎の海岸に咲くスカシユリ

富崎のまちのようす
 を調べてみよう！



富崎小のきょう子さんの報告

1 富崎のようす

富崎地区は、館山市の南の玄関口にあります。平地が少なく、海に面した地形で、相浜漁港と布良漁港を中心に家が集まっています。

布良の沖合には、黒潮と親潮がぶつかるところで、全国的にも魚の種類が多い海域で、昔から漁業を中心に栄えてきた海辺のまちです。

私の家は布良漁港の近くにあり、漁をしながら民宿や旅館を営んでいる家も数軒あり、漁港から出港する船を利用する釣り客も増えています。

布良漁港の南側にある阿由戸の浜は、昔、黒潮に乗ってきた忌部氏が上陸したところと伝えられ、富崎地区は神戸地区とともに、安房開拓にまつわる神話が伝えられている地域です。

富崎の地名も、布良崎神社の祭神で安房開拓の祖と伝えられる天富命と、岬に位置する地域であることに由来しています。



● 人口の移り変わり

	明治22年	昭和40年	平成13年
館山市全体	43,086人	56,674人	52,080人
富崎地区	3,291人 (8%)	2,739人 (5%)	1,348人 (3%)

明治22年に富崎村ができたときにその名がつけられました。

私が通っている富崎小学校には、「富崎カルタ」というのがあります。3学期のはじめごろ、体育館に全校児童が集まって行われるカルタ大会は、10年以上続く富崎小学校の伝統行事です。カルタは画用紙大の大きさで、「昔の伝統船祝い」「海の幸描く青木繁」「みんなで歌った房州安房節」など、富崎地区の歴史や自然が描かれています。

明治時代、布良はマグロの延縄漁がさかんでした。漁師さんたちによって歌いつがれている「安房節」は、富崎の漁業の歴史を私たちに伝えてくれています。

カルタにも描かれている富崎の歴史やまちのようすを調べてみました。



布良漁港の南側にある阿由戸の浜



富崎小学校の伝統行事・富崎カルタ

2 富崎の漁業のようす

どんな魚がとれるのかな？

富崎地区では、およそ90隻ほどの漁船があり、陸地近くの海で魚をとる沿岸漁業が行われています。魚をとる方法は、魚の種類や大きさなどによって違いますが、富崎では「刺網漁」や「一本釣り」「定置網漁」などが行われています。

布良の沖合いは、冬場は西風が強く、海があることが多いため、漁に出ることができない日があります。また、台風などにより定置網がこわされてしまうなどの被害も多くあり、1年間の水揚げ高が海流や気候に大きく左右されてしまいます。



相浜漁港

どんな工夫をしているのかな？

富崎沖では、1年を通じて、ヒラメやアジ、タカベ、イセエビなどさまざまな魚が水揚げされていますが、ここ数年、漁獲量が減ってきているといわれています。

漁業組合では、沖合いの海底にコンクリートブロックをしずめ、



漁港のようす



布良漁港



網の手入れをする漁師さん



漁港のようす



ファミリー市場



ファミリー市場内部

魚の住む家を作ったり、タイやヒラメの稚魚やサザエの稚貝などを近くの海に放流して、魚が多く住みつき、増えるようにしています。

また、漁業にとって大切な港を安全で働きやすいように広げたり、波を防ぐ堤防をじょうぶにつくりかえたりしています。

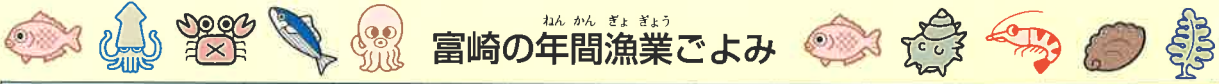
また、新鮮な魚や水産加工品を安く、多くの人に食べてもらうために、平砂浦のフラワーライン沿いに漁船の形をした「ファミリー市場」を平成8年にオープンしました。アジの干物やワカメなどの加工品の「おみやげコーナー」や水揚げされたばかりの魚がならぶ「鮮魚コーナー」があり、花つみに訪れる観光客などによるこぼれています。



網の手入れ

漁師さんたちがどんな工夫をしているのか、漁港にでかけて調べてみよう。





富崎の年間漁業ごよみ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
しゅつりょうにっすう 出漁日数	7~10日	10~15日	15~20日	20~25日	ほぼ毎日	ほぼ毎日	20日	20~25日	20~25日	ほぼ毎日	15~20日	15日
りょうき 漁期	※西風が強く、海がある しけ→不漁期→盛漁期→盛漁期→しけ→不漁期											
ひらめ 漁	→ (さし網) (さかん)											
あじ たかべ	→ (小型定置網) → 休み (8/10~8/25) → 12/25まで											
いそ 漁	不漁期 → 解禁 (貝や海藻) → 9/15まで											
いせ えび	→ (さし網) → (禁漁) → (解禁)											
あお もの	→ (ひらまさ・ぶり等の一本釣り)											
いな だ	→ (さし網)											
きんめ 金目だい	→ (夜づり)											

(多く出漁する人で220日くらい。小型定置網は、280日くらい出漁する。)

師走の名物・ナマダのひらき干し



12月になると、相浜漁港では、師走の名物・ナマダのひらき作りがはじまります。

ナマダとは、するどい歯でイセエビなどを食いあらす海のギャング、ウツボのことです。ナマダ漁は、沖合い1キロメートルほどにエサになる大イワシをいれた竹カゴをしかけます。体長1メートル、重さ2キログラムほどのウツボが一カゴに10匹前後、1日の漁で100匹前後が水揚げされます。

漁港で頭を切りおとし、背びらきにされ、一晚塩漬けにします。早朝3時半ごろに竹ざおにつるされ、半日ほど天日に干してできあがります。細く切り、鍋に入れたり焼いて食べるなど、まだら模様のグロテスクな姿ににあわず、なかなかの珍味として人気があります。



ナマダのひらき干し



海のギャングともよばれているウツボ



たいりょう ねが 大漁を願う

あいのほま ふねまつ 相浜のお船祭り

富崎地区の相浜には、元禄年間にはじまったといわれる「お船祭り」が伝えられています。その昔、相浜の村祭りは1月28日の初不動の縁日に行われていましたが、時代とともに、引き船祭りの祭日はうつりかわり、現在は毎年3月末の土曜日と日曜日に行われています。

大漁や海上安全を祈願する「お船祭り」は、相浜の名主であった石井家を訪れた殿様に、村人が船遊びを見せたのがはじまりといわれています。

明かり障子がたてられた朱塗りの引き船は、将軍の船を函面にうつし取って作ったものといわれています。車輪がついた山車になっていて、進路をかえるために、テッコン(テコ)棒とよばれる丸太が使われます。

夕方、笛や太鼓の音にさそわれるように地区の人たちが相浜神社に集まります。祭りの主役をつとめるのは、化粧をして着飾った殿様役の男の子です。殿様役は、地面の上を歩くことなく、



引き船は「波除丸」とよばれています

若衆に肩車されて船先に乗こみます。

綱を手にした子どもたちのいせいのいいかけ声とともにお船が神社を出発。屋根の上では、若衆が「船歌ばやし」にあわせておどりながら地区内を練り進み、夜おそくまでにぎわいます。

3 富崎の漁業の歴史をしてみよう



マグロ延縄漁と安房節

布良漁港の近くに、港から出港する漁船を見守るよう「鯖延縄船・安房節発祥の地」の碑があります。

この碑は、平成5年に地元の漁師さんたちによって建てられたもので、マグロ延縄漁の歴史と安房節の歌詞が記されています。



布良漁港



安房節の記念碑

もとうた あ わ ぶ し
元唄 安房節

アーエ 伊豆じゃ稲取 房州じゃ布良よ

い き せんどうしゅう で
粋な船頭衆の出るところ

アーエ 船頭させても とも取りゃさせぬ

お 押さえ ひかえが ままならぬ

明治時代の布良は、マグロの延縄漁がさかんでした。冬の荒波の中、きびしい自然とたたかいながら、漁師の人たちがおたがいを励ましあうために歌ったのが「安房節」です。

マグロの延縄漁は、江戸時代に紀州からうつり住んだ漁民によって伝えられました。明治の中ごろには「ヤンノー船」という大型のマグロ船がつくられ、真冬に南下してくるマグロをおって、遠く伊豆稲取沖や銚子沖まで魚場が広がられました。

明治41年には、クロマグロだけで約61トンの水揚げがあったと記録にあります。大人がまたいでも足が届かないほどの大物があつたと伝えられています。

しかし、マグロの大漁で漁港がにぎわう一方で、冬場に出漁するマグロ漁は、危険も多く、冬の荒海の中で遭難事故が相次ぎました。明治35年から明治44年の10年間で212人という多くの漁師が命を落としてしまいました。マグロ漁もその後は不漁が続き、漁港にはマグロの姿も少なくなっていました。



ヤンノー船 (模型・安房博物館蔵)



布良崎神社

海の男の歴史をたたえる記念碑

安房節の記念碑が建っている場所は、晴れた夕映え

時には太平洋をいき来する船と遠く大島が見わたせ、平砂浦も一望できる地元でも自慢の景勝地でもあります。

毎年12月になると、安房節の記念碑の近くにある花壇には、海の男たちの歴史をたたえるように、真っ赤に色づいたアロエの花が咲き誇ります。緑の葉に真っ赤な花のコントラストがとても美しく、道行く人たちの目を楽しませてくれます。



延縄漁のしくみ

延縄漁は、幹となる一本の長い網からたくさんの枝糸を出し、その先に針をつけて海の中にしずめて魚を釣ります。マグロやカジキ、タイなどをとるときにこの漁法がつかわれます。

アロエの花が咲くこの花壇は、記念碑を建てた時に地元の
 人たちによって作られたものです。花壇が完成した4年後には、
 地元に住む鈴木馨さんが作詞した「相浜音頭」が、当時の
 文部大臣賞を受賞しました。その歌詞に「冬もアロエが真っ赤
 に咲いた」と歌われるほどみごとに根つき、受賞を記念してさら
 に花壇が広げられました。



地元の人たちによって作られた花壇
 12月になると真っ赤なアロエの花が咲きます

記念碑にぎざまれた安房節の歌詞の後には、「この記念碑は
 祖先の偉業を顕彰し後世に残すために建立する」というメッセ
 ージが続いています。この記念碑を建てた地元の漁師さんの
 思いが語られています。



アカテガニ

夏の夕暮れ、平砂浦海岸の南にある巴川の河
 口付近で、大きな赤いハサミを持ち上げながら、
 岩はだや草むらをはっているカニを見かけるこ
 とがあります。このカニは赤い手をもっている
 ので、アカテガニとよばれています。



アカテガニ

8月の満月の夜になると、山の中からそろそろ
 と海岸にむけてアカテガニの群れが産卵のため
 に集まってきます。お腹に卵をかかえたメスは、
 からだを海水に半分ひたし、岩にしっかりとあし
 でしがみつきのながらからだをふるわせ、卵を海
 中にはなします。卵は満潮の海にちっていき、す
 ぐにふ化して幼生となります。しだいに稚ガニ
 に成長し、その後、海から何キロもはなれた上流
 の山間へむかい、そこで生活します。

ます。そして、また卵をうみ、約1か月後の大潮
 の日になると、海へはなしにもどってくるので
 す。

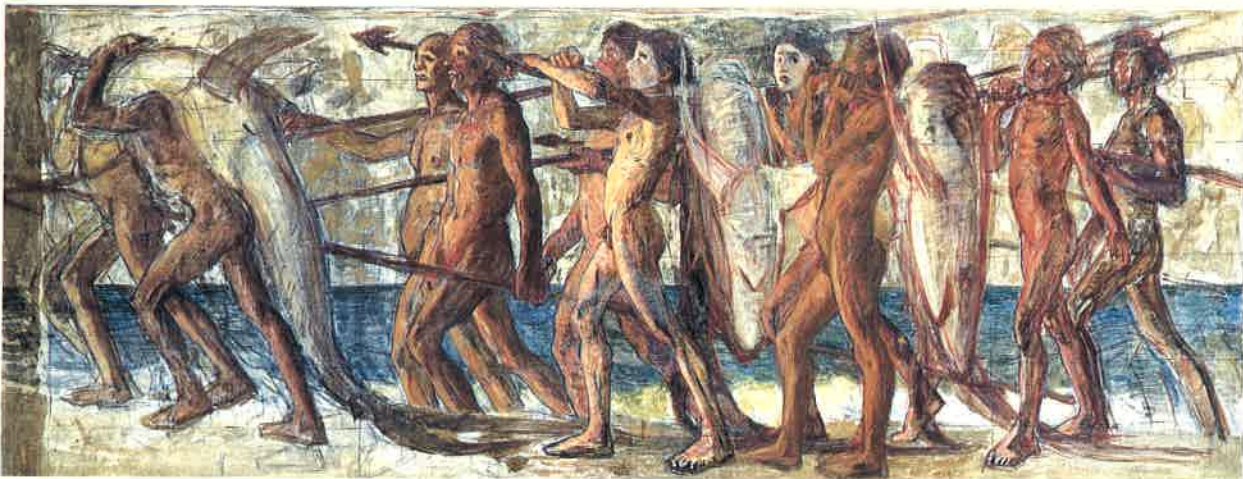
放卵をおえたメスは、からだをやすめるひま
 もなく、近くでまちかまえていたオスと交尾をし

海べのアカテガニだけでなく、海からとおくは
 なれてくらしているアカテガニは、どうして大潮
 の日をするのでしょうか。なぜ、満月や新月のぼ
 んに、それも満潮というみじかい時間だけ、卵を
 はなすのでしょうか。まだ、なぜにつつまれたま
 まです。



おもしろ 探検隊

あおきしげる うみさち 青木繁の「海の幸」



「海の幸」重要文化財・石橋財団石橋美術館蔵 ※平砂浦海岸にある南房パラダイスの門扉は、この「海の幸」をモチーフにしています。

富崎地区の阿由戸の浜を見おろす山の中腹に、大きな石碑が建っています。

これは明治を代表する洋画家・青木繁の記念碑で「青木繁 海の幸ゆかりの地」ときざまれています。

1904(明治37)年の夏、東京美術学校を卒業した青木は、画友の森田恒友、坂本繁次郎、そして恋人の福田たねと制作旅行にこの地にやってきました。

布良を訪れた青木は、漁家・小谷家に約2か月近く滞在し、布良の海を題材に、数多くの海の景色を描きました。その中で最も力をそそいだのが、裸の漁夫数人が大きなフカ(サメ)を背にして夕日をあびて戻ってくる、有名な油彩画「海の幸」でした。

「海の幸」はその年の秋、白馬会展に出品され、日本にはじめて、日本人の油絵が生まれたと評されたといえます。布良の豊かな自然の中



青木繁の記念碑で描かれた「海の幸」は、青木繁の名を日本美術史上不動のものにしました。

幸せの絶頂にいた青木でしたが、この幸せは長くは続かず、放浪の末、29歳という若さでこの世を去ったのでした。

1962(昭和37)年、福田たねと青木繁の遺子幸彦(福田蘭童)の手により、この記念碑の除幕式が行われました。

●^ち地図^ずで^み見て^みみよう
富崎地区



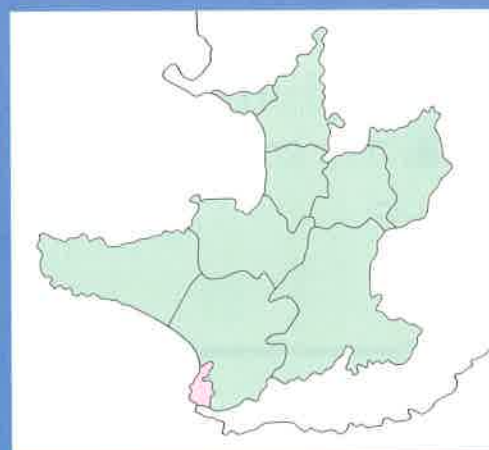
あいのまぎよこう
相浜漁港



めらぎよこう
布良漁港



あゆどのほま
阿由戸の浜



あいのまぎよこう
相浜漁港

めらぎよこう
布良漁港



まくろはえなわせん
鮪延縄船
はつしょうち
発祥の地
あわきねん
安房記念

めらぎよ
布良



あゆどのほま
阿由戸の浜

あおきしげる
青木繁
きねん
記念

ともえがわ
巴川

あいのほま
相浜

卍

卍
あいのほましんじゃ
相浜神社
ふねまつ
(お船祭り)

とみさきしょう
富崎小

とみさきこうみんかん
富崎公民館

卍 めらさきしんじゃ
布良崎神社

410

かいしょくどう しょうにゅうせき
海食洞と鍾乳石

あわせんむら
安房自然村

(8) みのり豊かな歴史の里

とよ ふさ かな まり
豊房・神余



畑地区の千両

豊房のまちのようすを調べてみよう!



豊房小のゆたかさんと神余小のゆう子さんの報告

1 豊房のようす

豊房地区は、館山市の南東部にあります。山の多い所で、汐入川と巴川、長尾川が流れる山の谷あ

いに家が集まっています。

昔から稲作を中心に農業がさかんな地域で、畑地区で栽培されている千両は全国的にも有名です。大戸では、観光イチゴ狩りも行われています。

4月の終わりごろになると、道沿いの田んぼでは、一斉に田植えがはじまります。苗がすくすく育つと、あたり一面はあざやかな緑色にそま

り、とてもきれいです。ほとくの通っている豊房小学校の裏にも、学校田があります。全校児童で行う田植えは、豊房小学校に50年以上にわたってうけつがれている伝統行事です。秋にはたくさんのもち米が収穫され、地域の人ももちつきをして食べたり、卒業式や



● 人口の移り変わり

	明治22年	昭和40年	平成13年
館山市全体	43,086人	56,674人	52,080人
豊房・神余地区	4,471人 (10%)	3,644人 (6%)	2,852人 (5%)



みんなで仲よくおもちづくり



秋、みんなでお米の収穫



豊房小の運動会



みんなで力をあわせてもちつき



豊房小学校の田植え作業

入学式に赤飯を炊いて、みんなで収穫の喜びをわちあいます。

豊房という地名は、この地が安房で最もたくさんの作物がみのる豊かな土地であることを意味するものとして、明治22年に豊房村ができた時にその名がつけられました。

豊房地区には、地元の産業のようすを歌にした「豊房音頭」という踊りがあります。「五穀ゆたかに房々みのる それもそのはず豊房だから」という楽しい歌は、ふるさとの産業を後世に伝えようと、昭和27年に豊房村の本間村長の発案でつくられたそうです。今でも、豊房小学校の運動会で地域の人たちと一緒にみんなで踊るなど、現在に引き継がれています。

豊房音頭にも歌われている豊房の農業のようすや歴史を調べてみました。



豊房小学校のフジの花

2 農業のようすを調べてみよう



豊房の農業の歴史

山の多い豊房地区は、平地が少なく、農家の人たちがたがやしている田畑は、山あいの谷田や、山の斜面などのたな田、だんだん畑が大部分です。

昔から農家の人たちは、稲作のほかに野菜作りや酪農など、山あいの地形をうまく利用して農業を営んできました。



山あいの田畑のようす

〈しょうが作り〉

かつて、豊房地区では、しょうが作りがさかんでした。山の斜面を利用した田畑は、水はけがよく、しょうが作りに適していました。昭和20年ごろから始まったしょうが作りは、昭和40年代半ばごろには、年間100トン以上も出荷され、9月と10月に農協に集まる農作物は「米としょうがだけ」といわれるほどでした。



天白干しのようす



豊房の白土

豊房地区は昔から農業を中心に栄えてきましたが、豊房音頭にも歌われ、さかんに行われた産業のひとつに「白土」があります。

現在ではメガネのフレームをみがくのに使われている白土は、昔はお米や歯をみがくのに使われ、館山市の特産品として全国的に有名でした。山すそに穴を掘って取り出し、竹の棚で干してから船で運ばれていきました。

今でも白土の出荷は続けられています。市内でただ一軒、現在でも白土を取りあつかっている



福島商店では、大阪や福井県鯖江市の業者に月10トンほどを出荷しています。

しかし、しょうが作りは、台湾からやすねんじゅうたいりょうゆ
 入されるようになり、今ではほとんど栽培されていません。

〈豊房育成牧場〉

また、最近まで酪農もさかんに行われていました。牛のえさには
 たくさんの生の草が必要でしたが、山の多い豊房地区は、牧
 草を栽培するのに適していました。

豊房地区の中央に位置する船ヶ作の山には、じょうぶな牛を
 育てるために「豊房育成牧場」がありました。広さ60ヘクタール
 の牧場では、100頭もの牛を飼うことができ、子牛を1年間あず
 ける農家もありました。しかし、育成牧場も牛肉の自由化による
 値段の落ち込みなど、経営がうまくいかなかったため、平成7年
 になくなってしまいました。



多くの牛が飼われていた豊房育成牧場



観光客に人気のある観光イチゴ狩り

現在の農業のようす

豊房地区全体では、農業だけをやっている家は昔と比
 べて少なくなりましたが、稲作を中心に菜花やシタケ栽培など
 が行われています。畑や神奈では、山あいの地形を利用した
 千両栽培がさかんで、その品質の高さから全国的にも有名で
 す。



イチゴハウスの中のようす

館野地区とともに、大戸でも行われている観光イチゴ狩りは、
 観光と農業を結びつけた新しい取りくみとして、昭和56年に
 はじめられました。現在、2つあるイ
 チゴ狩りセンターの1月から5月まで
 の入園者をあわせると20万人以上
 にもなります。

今では館山を代表する産業とし
 て定着し、たくさんの観光客に喜ば
 れています。

豊房の土地のようすや
 農業のようすを地図に
 まとめてみよう。





畑地区の千両栽培



千両小屋



畑の千両栽培のようす

山あいにある畑地区では、正月用の生け花として使われる千両栽培がさかんに行われています。畑地区の千両は、実のつきがよく、その品質の高さで全国的にも有名です。

千両は、赤や黄色の実とこい緑色の葉が美しい低木で、門松や生け花などの正月の縁起物の飾りつけに使われます。日かげで育てた方が実や葉の色があざやかになるため、竹で高さ1メートル80センチほどの小屋を作り、その中で栽培します。種をまいてから出荷（長さ90センチ前後）するまでに4年ほどかかるといいます。

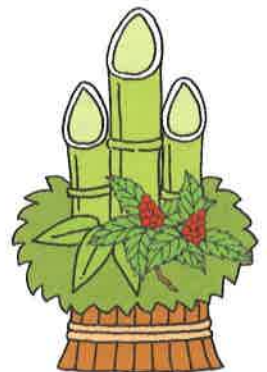
畑地区の千両栽培は、昭和47年ごろから始められました。山川作一さんがはじめて市場に出荷した千両が好評をえて、この土地にあったいい作物だということで、だんだんと広がっていきました。

現在では、50軒ほどの農家のうち、半数以上の農家が計約7.5ヘクタールで千両を栽培しています。年1回、12月中旬に東京の市場で開かれる「千両市」に出荷するため、農家の人たちは、11月下旬ごろから切り出し作業でいそがしくなります。

切り出された千両は、納屋で5階級に選別され、70本から100本ほどを出荷用の箱に入れていきます。およそ7千ケース、本数にして70万本ほどの千両が出荷されています。



千両の切り出し作業



3 歴史の里・豊房

緑豊かな田園風景が続く豊房地区は、数多くの遺跡が残る歴史の里でもあります。

西長田や南条、神余には中世のお城のあとがあります。この時代、西長田の周辺は鎌倉の円覚寺の領地でした。この土地でつくられたお米は円覚寺におさめられていたことになります。

また、出野尾の小網寺には、鎌倉の一流の職人が作った梵鐘や、鎌倉とゆかりが深い審海という僧侶にまつわる仏教の道具が残されていて、鎌倉と深いつながりをもっていたことがわかります。

西長田の県道沿いにのびる尾根の上には「千田遺跡」があります。この遺跡からは、縄文から古墳時代までの土器のかけらがみつかっています。特に、石器の材料として多く使われた黒い石のかけらが多いことに特色があります。また、ここは戦国時代のお城のあとでもあります。



小網寺の梵鐘



千田遺跡



おもしろ
探検隊

古茂口獅子神楽

古茂口の日枝神社では、10月16日の祭りに「獅子神楽」が奉納されます。獅子の衣装をまとった踊り手が、太鼓や笛、すり鐘のお囃子にあわせて舞うもので、1年間の豊作の感謝と祈願、無病息災、区内安全を祈願します。その題目は、序の舞、幣束の舞、剣の舞、くずしの舞とつづきます。

1月15日には、「春祈祷」といって、厄払いをしてほしいという家々をまわる慣わしになっています。昭和48年に、市の無形文化財に指定されています。

かつては演目も多く、昭和の中ごろまでは、青年



団から選ばれた神楽の演者が歌舞伎を同時にこなしたのまれれば近くの村や船形あたりへも、興行に出かけたといえます。

今でも、古茂口に伝わる伝統の舞は、20数名からなる保存会によって伝承されています。



かなまりちく せんりょうこや
神余地区の千両小屋

かなまり のうぎょう
神余の農業のようすを
しら
調べてみよう。



4 山あいの里 かなまり 神余のようす

かなまり 神余は、館山^{しらはま}と白浜^{しらはま}をむすぶ^{けんどう} 県道沿いの、まわりを山にかこま
れた^{ぼんち} 盆地^なの中にあります。巴川^{ともえがわ}が、まん中をまがりくねりながら流
れ、その両側^{りょうがわ}には、木のえだのように山のおくまで田畑^{たはた}が階段^{かいだん}
のように作^{つく}られています。川の上流^{かわ じょうりゅう}には、ダムがあつて、そこから神
戸^{かなまり}や富崎^{ぜんいき}、神余^{かなまり}の全域^{ぜんいき}に水をおくっています。

5月の終わりごろになると、山あいを流れる小川^{なが おがわ}では、ゲンジボ
タルがあわい光をはなちながら飛びはじめます。夏の訪れ^{おとす}をつ
げるホタルの光は、神余^{かなまり}の自然^{しぜん}の豊かさ^{ゆた}を私たちに教^{おし}えてくれま
す。

かなまり 神余は、神戸地区^{あわじんじゃ}にある安房神社^{ちいき}ゆかりの地域^{ちいき}でもあります。
その昔^{むかし}、里^{さと}に住む家^すの数^{かず}が50戸^こをこえると、そのふえた分^{ぶん}を別^{べつ}
の^{さと}里とするきまりがあり、これを余戸^よ（あまりべ）と呼んでいました。
かなまり 神余^{ちめい}という地名^{ちめい}は、神戸^{じんこう}の人口^{じんこう}がふえたため、あふれた人々^{ひとびと}が
あた^{あた}ら^{かいたく} 新しく開拓^すして住んだ^すということから、その名^ながつけられたといわ
れています。

ゆた かなまり のうぎょう
自然^{しぜん}豊かな^{ゆた}神余^{かなまり}の農業^{のうぎょう}のようすや歴史^{れきし}を調^{しら}べてみました。



山にかこまれた^{かなまりちく} 神余地区^{かなまりちく}



夏の訪れ^{おとす}をつける^{おとす}ホタルの光^{ひかり}



こうぼういんとく 弘法井戸^{こうぼういんとく}に行く途中^いにあるアーチ橋^{ぼし}



かなまり のうぎょう 神余の農業のようす

山に囲まれた神余地区は、田畑が少ないため、昔から米作りのほかに、キャベツやカリフラワーなどいろいろな野菜作りがさかんでした。酪農もさかんで、たくさんの牛もいました。

また、かつて神余地区では、タバコ作りがさかんでした。昭和13年ごろから栽培が始まったタバコ作りは、昭和40年ごろまで続けられ、その後は、アイリスやカーネーションなどの花作りがさかんになりました。

現在では、インゲンや春菊、菜花、カリフラワー、シシトウ、カナリアナスなどが主に栽培されています。収穫された野菜は、箱づめにしてJA安房神余支店に集められ、東京方面に出荷しています。

また、山あいの地形をうまく利用して、シイタケ作りや養鶏、酪農なども行われています。



かなまりのく でんえんかうりい
神余地区の田園風景



あ わ かな ま り し て ん
JA安房神余支店



おもしろ 探検隊

かなまり こうぼういど 神余の弘法井戸

巴川の川中に、やや黄色をおびた塩水がわき出しています。地元では塩井戸と呼ばれています。実際には、天然ガスがふき出しているのですが、この塩井戸にまつわる次のような伝説があります。

むかし、土地の女性が一人の旅僧に小豆粥をもてなしたところ、その粥に塩気がないのを不思議に感じた僧がたずねると、貧しくて塩が買えないといいます。そこで僧は川を下り、手の錫杖(つえ)を地面にさして祈禱し、引きぬくと塩からい水がふき出てきました。



その僧が、弘法大師だという言い伝えがあり、全国的に分布する典型的な弘法大師伝説のひとつで、県の有形民俗文化財に指定されています。



カナリアナス



カナリアナスの花



秋をいろどるカナリアナス

秋になると、あちらこちらの畑で黄金色した「カナリアナス」の収穫が始まります。

カナリアナスは、ナス科の植物で、原産地は南アメリカです。7センチほどの黄色い実の形がカナリアに似ていることが名前の由来です。キツネの顔に似ていることから「フォックスフェイス」とも呼ばれ、主に生け花などの観賞用として人気があります。

南房総での栽培は、20年以上前に神余地区や白浜町で栽培されたのが始まりで、現在では、鴨川市で多く栽培されています。小さな農地でも栽培できるため、神余地区でもカナリアナスの栽培がさかんになっています。



カナリアナスの収穫作業



カナリアナスの栽培カレンダー



主な作業	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①は種	は種量は10aあたり1300粒くらい											
②鉢上げ		鉢上げは本葉が3~4枚になってから										
③定植				耕運・元肥・うね立て・マルチはり								
④支柱立て・誘引・下芽整理					地面に近い芽は取り除く							
⑤追肥・わき芽かき						親株に追肥・わき芽かき						
⑥芯止め・摘葉				果実が大きくなったら葉をつむ								
⑦収穫始め・収穫			果実がレモン色に色付いたら収穫を始める									
⑧収穫終わり・室内貯蔵								霜が降りる前に収穫する				



おもしろ探検隊

かなまりひよしじんじゃ 神余日吉神社のかっこ舞

かなまり ひよしじんじゃ
神余の日吉神社では、7月19日と20日の祭りに「かっこ舞」が演じられます。獅子頭をかぶった踊り手が、腰に小さな太鼓をつけ、これを打ち鳴らして舞うことから、かっこ舞と呼ばれています。

たいこ ふえ そぼく
太鼓と笛の素朴なひびきにあわせて、3匹の獅子が舞う「かっこ舞」は、農耕生活には欠かさない雨を神に祈り、五穀豊穡を願うものです。花笠をかぶった少女が笛にあわせてすり鳴らすササラは、雨やカエルの鳴き声をあらわし、花笠からたれる七色の紙は雨をあらわしているといわれています。祭りの日には、社殿の前と地区内8か所で、計10回演じられます。

かなまり かっこ舞の歴史は古く、約200年前から伝えられているといわれています。昭和初期には、それまで中断されていたかっこ舞を、お年寄りから踊りを教わりながら青年団が中心にな



って復活させました。しかし、戦争の激化など、その後も何度か中断してしまったこともありま

した。
しょうわ
昭和49年には、高校生たちが地元の伝統を自分たちで守ろうと「あすなる会」をつくり、再び復活しました。その後、保存会がつくられ、伝統の舞は、今なお若者たちの手によって伝えられています。平成8年には、市の無形文化財に指定されました。



ひやくしゅうかい しろうと百姓の会

かなまり
神余地区では、大工や左官など建築関係の仕事をしている人や会社につとめている人が多いです。農業だけをやっている家は数軒で、ほとんどが兼業農家です。

こうしたサラリーマンや仕事を退職した人たちが集まって、平成11年1月に「しろうと百姓の会」がつけられました。神余の特産品づくりや産地直売など、みんなで新しい農業に取り組もうと、地域をあげてはじめられました。

かいいん
会員の人たちは、毎月1回のペースで学習会を開いて、先進地域の見学をしたり、元気で働いているお年寄りの人たちの知識や経験をいかしながら、土作りや野菜の作り方などを学ん



たくさんの野菜がならぶ青空市

でいます。

私が通っている神余小学校のとなりにあるJA安房神余支店の駐車場では、しろうと百姓の会の人たちが作った野菜を多くの人に食べてもらおうと、「青空市」が開かれています。ナスやトマトなど地元でとれた新鮮な野菜がたくさんならべられ、多くの人でにぎわいます。

7回目を数える青空市には、神余小学校の4年生5人も参加しました。「漬物名人」の加藤きみ子さんに、ナスやしょうが、米こうじなどの材料を使った「ナスのこうじ漬け」の作り方を教わり、青空市に訪れた人に試食してもらいました。

3年目をむかえた平成13年には、会員も39人に増え、それまでの取り組みをまとめた『耕心（こうしん）』という本もつくられました。今では多くの人に「神余の青空市」として知られ、その活動も年々活発になっています。



学習会のようす



青空市のようす



たくさんの人でにぎわう青空市のようす



神余小の子どもたちも出展しています



カナリアナスをかざりつけたミニ門松





おもしろ 探検隊

神余小学校の歴史と二羽の鶴の額

神余小学校ができたのは、今から130年ほど前の明治7年4月30日でした。当時はまだ校舎がなくて、地区にあった安楽寺というお寺を学校に使っていました。

ようやく専用の校舎ができたのが明治10年のこと。でも、これも実は仮校舎で、小学校に通う子どもがふえるにつれて、せまくなっていったようです。開校した明治7年に入学した児童の数は23人、それが明治26年になると150人になっています。

明治26年には場所をかえて校舎を新しくし、明治40年にはさらに校舎を1棟ふやしました。今の場所に学校ができたのは、大正13年のことで、前の年の関東大震災で校舎がつぶれたのを機会に、今の場所にうつってきました。

神余小学校には、立派な木の彫刻があります。



この額は、明治26年に千倉の後藤義光という有名な彫刻師がほったもので、二羽の鶴がむかひあって、「学」という文字をかこんでいます。「学」は「まなびや」と読む文字で、学校のことを意味しています。

なかよくむかひあう鶴の姿は、子どもたちがみんなでなかよく、そしていつまでも、この学校で学んでいく姿が表現されているように思います。



神余小児童の特技の一輪車



たてかえ前の校舎（～平成13年）



神余小学校の運動会の様子



新校舎（模型・平成14年3月～）

●地図で見よう 豊房・神余地区



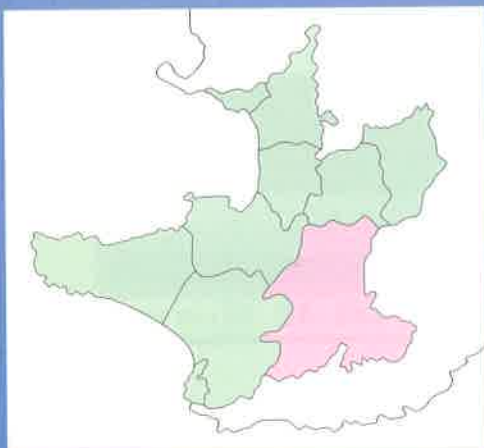
小納寺の梵鐘



畑地区の千両栽培



神余地区の田圃風景



館山観光いちご狩りセンター

おが岡

しおいりがわ
汐入川

おかたがわ
岡田川

いで野

小納

じゅうにしゃじんしゃ
十二社神社

館山市
せいぞろ
清掃センター

86

こうぼういど
弘法井戸

ひよし
日吉

ともえかわ
巴川



なん じょう
南 条

こも ぐち
古茂口

いい ぬま
飯沼

ひ え じん じ ゃ
日枝神社 (古茂口獅子神楽)

188

ひがし なが た
東長田

やも おき
山 萩

やも おき じん じ ゃ
山萩神社
つつがゆしん じ
(筒粥神事)

にし なが た
西長田

さく な が わ
作名川

さく な
作名

なが た が わ
長田川



さく な
作名ダム



やま
山トンネル

たいしやういけ
大正池

りじやうすいじやう
余浄水場



はた
畑

いし い け じ ゅ う た く
石井家住宅

しろやま
城山
かなまりじやうせき
(神余城跡)

なまりじやう
神余小

まい
っこ舞)

なが お が わ
長尾川

たて の
 (9) 古代安房の中心地 館野



館野小学校前のヒマワリ畑

館野のまちのようすを調べてみよう！



館野小のあきおさんの報告

1 館野のようす

館野地区は、館山市の南東部にあり、国道128号線沿いに広がった平地にあります。国道沿いには、自動車販売や飲食店などのお店がふえてきています。また、新しい家を建てて、うつり住む人もふえてきています。

最近では、最新の設備をそなえた安房医師会病院も建てられ、館山市やそのまわりの市町村の人たちに利用されています。また、山本には最新技術を使う大きな工場があり、たくさんの人が働いています。

緑豊かな大地と水に恵まれた館野地区は、米作りや野菜作りがさかんな地域です。特にイチゴ栽培がさかんで、観光農業として多くの観光客が訪れています。

ぼくが通っている館野小学校の近くには、観光イチゴ狩りのハウスがたくさん建ちならんでいます。その近くを通る道はストロベリーロードと呼ばれていて、歩道の白いフェンスには30個のイチゴが描かれています。小学校の体育館の壁にも、大きな実を



● 人口の移り変わり

	明治22年	昭和40年	平成13年
館山市全体	43,086人	56,674人	52,080人
館野地区	2,850人 (7%)	2,539人 (4%)	3,736人 (7%)

つけたイチゴのタイル絵が描かれています。

館野地区は、奈良時代には安房国分寺がおかれ、中世には里見氏のお城となった稲村城が築かれるなど、長い間、古代安房の中心地として栄えた地域でもあります。地区内には、古墳や条里跡など数多くの遺跡も残っています。

館野という地名も、安房の国づくりの中心人物であった伴直家主の住まい(館)があったといわれる地が、館野原と呼ばれていたことにちなんでいます。明治22年、館野村ができた時にその名がつけられました。

館野のまちのようすを調べてみました。



安房国分寺



稲村城跡

2 館野の農業のようすを調べてみよう

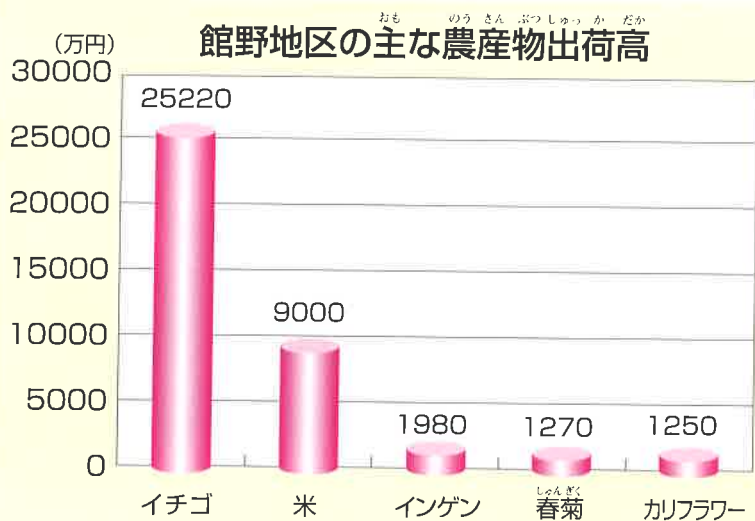


どんな農業がさかんなのかな？

館野地区では、米作りを中心に、野菜作りや酪農などを組み合わせた農業がおこなわれています。これを「複合農業」といいます。水田のほとんどは、農作業がしやすいように田の形を四角形にし、一枚の田の面積を30アールの広さにしています。野菜では、主にインゲンや春菊、カリフラワーなどが栽培されてい



溝川のビャクシン



館野地区の田園風景

資料：JA安房館野支店
平成11年(1月~12月)

ます。

また、山本^{あぶり}と安布里^{さいばい}では、イチゴ栽培がさかんです。1月から5月頃まで開園するイチゴ狩りセンターには、たくさんの観光客が訪れ、にぎわいます。

広瀬^{ひろせ}地区には、おいしいお米をつくるために、JA安房^{あわ}が運営する「館山ライスセンター」と「館山育苗センター」があります。

平成10年に建設された館山ライスセンターは、農家から持ちこまれたお米を乾燥させる最新の機械をそなえた施設で、天日干しのようにおいしいお米にしあげてくれます。

また、平成11年に建設された「館山育苗センター」は、じょうぶな苗を育てるために専門的な機械やハウスをそなえた施設です。この2つのセンターは、農家の人たちのたいへんな仕事をたすけ、安定した農業経営に役立てられています。



館山ライスセンター



館山育苗センター

③ イチゴ栽培のようす



イチゴ作りは、3月に親株を植えるのが1年の始まりです。親株は、専門に作っているところから株を買い、1株から40本から50本ほどのツルをとって、別の畑でふやしていきます。品種は実が大きく、甘みたっぷりの「とちおとめ」をはじめ「とよのか」「章姫」などがあります。

春から夏にかけては、ポットにツルを植えかえ、苗を育てます。夏には、ハウスの中の土作りをします。土にたい肥やもみがらをまぜ合わせて、水もちや水はけをよくしたり、消毒したりして作りあげます。

土ができあがると、苗を植える「うね」と呼ばれる山を作ります。うね作りは、土の表面積を多くして、たくさんの酸素を取り入れるために行います。こうした土作りの仕事は、イチゴ作りにとって大切な仕事であると同時に、農家にとってはたいへんな仕事の一つでもあります。



甘みたっぷりのイチゴ



定植作業のようす

イチゴのカレンダー

栽培の手順	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
①親株をうえる	■											
②ランナーを増やす		■	■	■	■	■						
③土作り・うね作り					■	■	■					
④苗を定植する							■					
⑤ハウスにビニールをはる									■			
⑥マルチをかける										■		
⑦電照栽培									■	■	■	
⑧ハチを入れる	■	■	■	■	■	■				■	■	■
⑨観光イチゴ狩り	■	■	■	■	■	■					■	■



9月～12月

9月下旬になると、20センチほどに育った苗をうねに1本1本ていねいに植えていきます。これを「定植」といいます。その後、冬にそなえて、ハウスにビニールをかけます。また、うねにはマルチと呼ばれる黒いビニールをかぶせ、土をあたためます。

11月上旬になると、電照栽培がはじまります。あかりは、日ぐれから夜11時近くまでハウスの中を照らし、たりない日照時間をおぎないながら、イチゴの成長を早めていきます。

花が咲く11月中旬には、ミツバチを利用した受粉が行われます。その後、小さなイチゴの実が顔をだし、実の色をつけ始めます。



イチゴの電照栽培



イチゴ栽培にはかかせないミツバチ

1月～5月

1月になると、観光イチゴ狩りがはじまります。農家の人たちは、観光イチゴ狩りに訪れる観光客の案内や予約の受付などでいそがしくなります。

イチゴ狩りのオープンは、テレビや新聞、ラジオなどで紹介してくれますが、農家のひとたちも、自分たちで旅行会社に手紙を出すなど、宣伝もしています。3月には、もう次の年に実をつけるイチゴ作りの準備が始まります。



ミツバチの箱の中には1万匹のミツバチがいます

4 イチゴ栽培のくふう

<たんそ病をふせぐくふう>

イチゴの苗を育てるためには、元親株から親株を1年かけてふやし、その親株を春に植え、子苗をハウスに定植するのに2年間もかかります。あとわずかで定植という苗が「たんそ病」により枯れてしまうことが問題になっています。

そのため、イチゴ組合では、平成9年から定植する苗の一部を北海道から取りよせることにしました。気温が低い北海道で育てられた苗は、たんそ病が発生しないからです。

<高設栽培への取り組み>

うねにイチゴの苗を植える栽培は、「土耕栽培」といいます。長い時間、腰をかがめておこなうため、とてもたいへんな仕事です。最近、安布里の石井隆さんは、「高設栽培」という新しい栽培方法を、市内で初めて取り入れました。

高設栽培は、鉄製のパイプを組み立てて、高さ150センチほどの棚を作り、その上の発砲スチロールなどでイチゴを栽培する方法です。

設備をととのえるのがたいへんですが、土耕栽培とくらべて腰をかがめての作業がなく、立ったまま作業ができます。また、うね作りなどたいへんな作業も必要がないことや、苗作りの時なども小さな面積でたくさんの苗を育てることができるため、とても便利です。



定植作業のようす



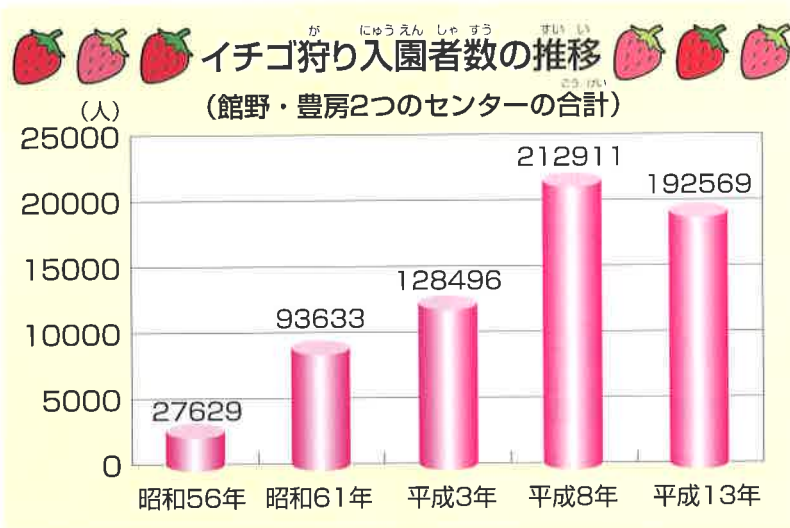
石井さんのハウスを訪れた子どもたち



イチゴ狩りの時も便利だね



イチゴの収穫



資料：館山市役所商工観光課

5 イチゴ栽培の歴史を調べてみよう

館山市の観光イチゴ狩りは、館野地区の山本と安布里、豊房地区の^{おおと}大戸でおこなわれています。昭和56年に観光と農業を結びつけた新しい農業として始められました。今から20年ほど前のことです。

観光イチゴ狩りが始まるまでには、^{ながねん}長年にわたる農家の人たちの^{どりよく}努力とくふうがありました。イチゴ栽培の歴史を見てみましょう。



観光イチゴ狩り



おもしろ探検隊

山本小学校の遠足運動会

現在の館野小学校の前身である山本小学校で、はじめて運動会が行われたのは、明治24年のことでした。『山本小学校沿革誌』には、次のように書かれています。

「明治二四年五月二二日 生徒ノ運動会ヲ催ス其順路八本村ヨリ国府村ニ至リ稲都ヲ過ギ九重ニ出ツ…。全校生徒ヲ六隊二分カチ各訓導之ヲ率テ午前八時出門ス」

運動会といっても、そのないようは、現在の遠足のようです。校旗をひるがえし、隊列を組んで出かけましたが、全校生徒が同じコースを歩いているのにはおどろかされます。ですから、翌日は「生徒疲労ノ為臨時休業」しています。

くわしくみると、明治26年の場合、鶴谷八幡神社に出かけて、競走や遊ぎをおこない、さらに那古小学校へ行って柔軟体操を披露して



います。そのほかの年のようすをみても、安房神社や洲宮神社に行き、その由来を聞いたり、北下台や大房岬で地理や歴史の学習をしています。

つまり、現在の遠足や学習旅行と運動会をひとつにしたような「遠足運動会」なのです。

運動会と呼ばれる遠足は、明治37年まで続きます。春は遠足、秋は運動会とはっきり分けられたのは、それ以後のことになります。



イチゴ栽培の始まり

館野地区で、本格的にイチゴ栽培が始まったのは、昭和20年代の後半です。それまでは、庭先や畑のすみで栽培され、地元の市場に出荷されているだけでした。安布里の秋山佐城さんが新しい品種のイチゴの苗を植え、栽培したのをきっかけに、木曾良雄さんたち数名が本格的にイチゴ栽培を始め、だんだんと広がっていきました。

その後、館野地区公民館長の山口齊さんが熱心にイチゴ栽培の研究に力をそそぎ、昭和30年2月に農事研究会ができたのをきっかけに、イチゴ栽培に積極的に取り組み始めました。

昭和30年7月には、館野いちご清浄栽培組合ができ、「幸玉」という品種のイチゴを取り入れました。これにより、昭和31年には、豊房や青柳地区にも広がり、豊房いちご組合もつくられました。



東京の市場への出荷

このころになると、地元の市場への出荷だけでなく、東京の市場への出荷も始まります。

しかし、当時の道路はとても悪かったうえに、イチゴの実はやわらかく、車での輸送は成功したことはありませんでした。出荷のときは、組合員が交代で毎晩トラックに乗りこみ、途中数か所で止まり、イチゴのいたみぐあいを調べていました。

昭和33年の春には、東京の市場へ本格的に出荷が始まりました。市場でも「館山のイチゴ」として注目を集めます。

昭和34年には、千葉県モデル集荷所として安布里集荷所が完成しました。また、この年には秩父宮妃殿下が布沼の花畑などを見学されたのをきっかけに、翌年から皇室に館野のイチゴを贈ることになり、今でも伝統行事として続いています。



イチゴ選果式のようす



ビニールハウスでの栽培

昭和36年には、ビニールハウスが取り入れられ、天候に左右されることなく、栽培できるようになりました。その後、ビニールハウスも大型になり、昭和41年には、館野、豊房、青柳、高井地区で総面積10ヘクタールと、栽培面積も広がっていきました。

ビニールハウスは保温するためにたいへん便利な施設でしたが、その一方で風通しが悪いため、イチゴの形が悪くなる問題になりました。そこで、昭和48年にミツバチを利用した受粉が取り入れられました。また、昭和50年には電照栽培が始まり、収穫もふえていきました。



イチゴの電照栽培



観光イチゴ狩りがスタート

昭和56年には、観光イチゴ狩りセンターがオープンしました。当時の開園時期は、2月から5月までで、2万6千人から2万9千人ぐらいの入園者でした。その後、ハウスの大型化など施設も整ってきました。現在、2つあるイチゴ狩りセンターの1月から5月までの入園者数を合わせると20万人以上になります。

今では、館山市を代表する産業として、館山市を訪れるたくさんの観光客に喜ばれています。



たくさんの観光客が訪れるイチゴ狩り



おもしろ探検隊

国分の孝子塚

国分地区に、美しいツバキの花がおいしげった、小さな塚があります。孝子塚と呼ばれるこの塚にまつられているのは、平安時代に親孝行で朝廷から表彰された伴直家主という人です。

安房国に住む伴直家主という人は、やさしい心をもったまじめな人でした。お父さんとお母さんが生きていたときに親を大切に、親孝行をつくっていました。その両親がなくなると、今度は自分の食事や生活をきりつめて、親のためにりっぱな墓を建てました。

また、両親の像をつくって、生きていたときと同じように食事をそなえ、供養しておこたることがありませんでした。

これがいつまでも続いたので、人々に知れわたり、やがて都にいる朝廷の耳にまで達しました。感激した朝廷は「このものを孝子と呼んで、生涯その税を免除してあげるように」といいました。



身分も三階という位がさずかり、その家の入口には朝廷からくださった「孝子の門」という大きな旗が風にたなびいていたといひます。

江戸時代、安房の誇りである家主をたたえ、後世に伝えようと考えた三芳村本織出身の石工武田石翁が、孝子の塚をさがし出し、おおぜいの人から寄付をつのって塚の上はりっぱな石碑を建てました。1850年のことです。

安房国の名を全国的に高めた伴直家主のお話でしたが、ところでみなさんは親孝行…していますか。

●^ち地図^ずで^みて^みよう
館野地区



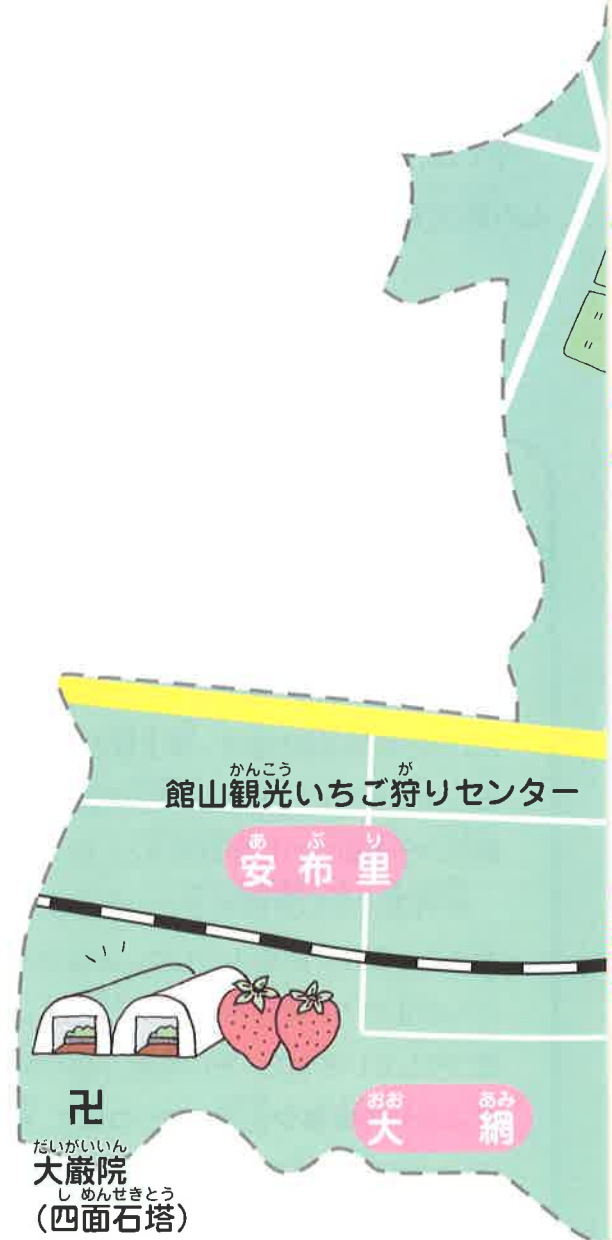
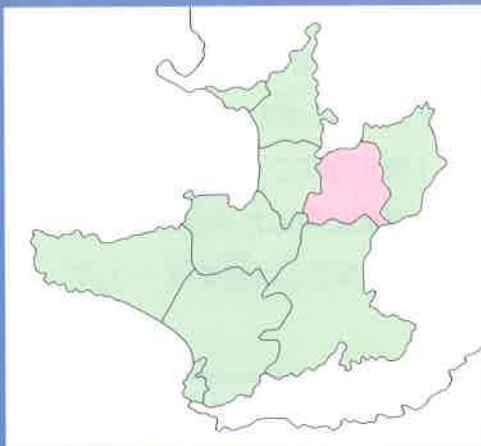
安房園分寺

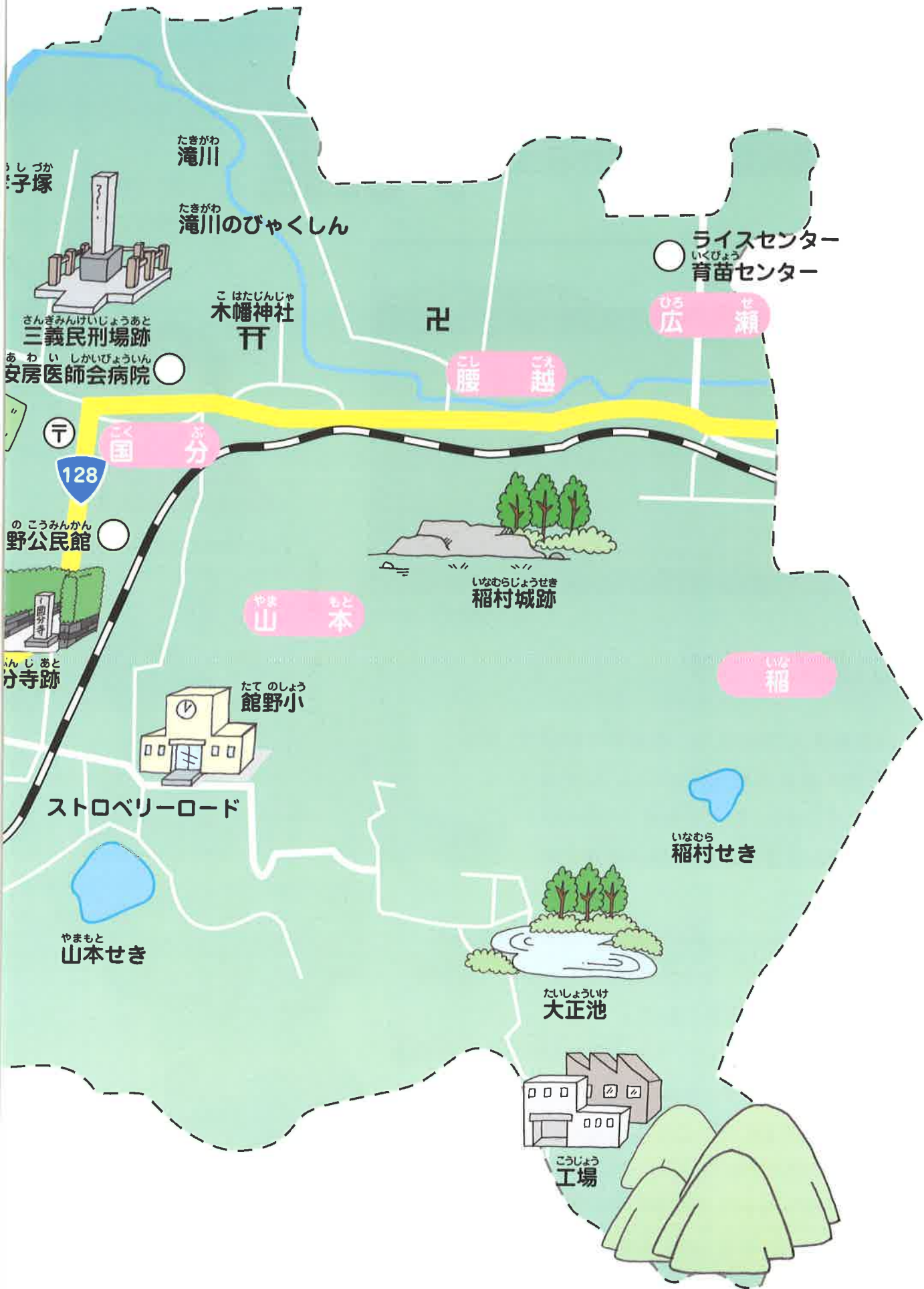


滝川のビャクシン



観光イチゴ狩り





このえ
 (10) 田園風景が続く豊かな土地 **九重**

九重のまちのようす
 を調べてみよう!



田園風景が続く九重地区



九重小のまさ子さんの報告

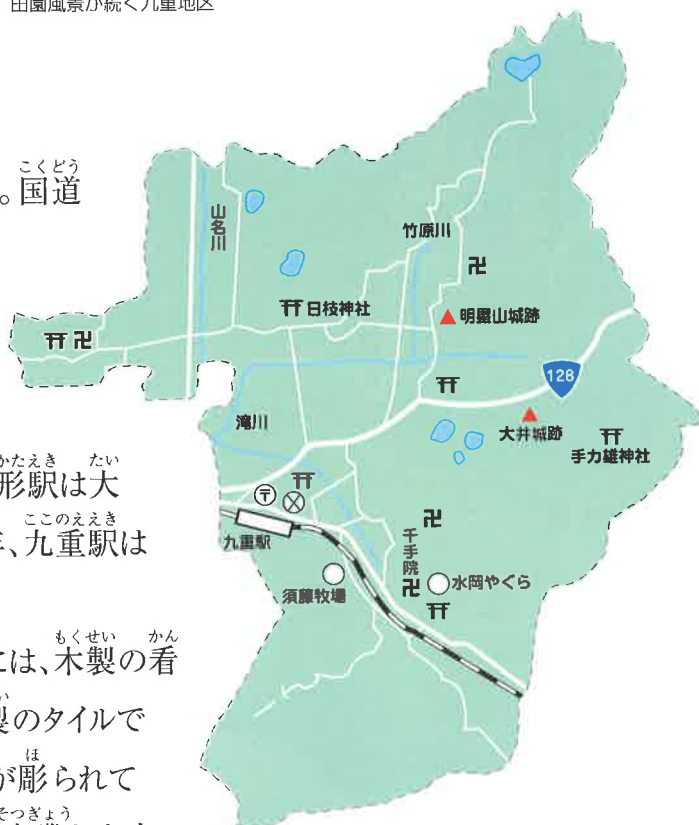
1 九重のようす

九重地区は、館山市の一番東側にあります。国道128号線が通り、館野地区と同じように平地がひらけています。また、千倉町へむかう県道沿いには、九重駅があり、JR内房線が走っています。

館山市内には、3つの駅があります。那古船形駅は大正7年、安房北条駅（今の館山駅）は大正8年、九重駅は大正10年6月1日に開業しました。

通勤や通学に使われている九重駅の入口には、木製の看板がかけられています。看板には、80枚の木製のタイルで「九重駅」ときざまれ、そのまわりには花や動物が彫られています。この手づくりの看板は、平成10年度に卒業した九重小学校の6年生19人が卒業記念に作ったものです。

九重地区には、宝貝、水岡、安東、二子、藪、水玉、大井、竹原、江田の9つの地区があります。九重という地名は、明治22年に九重村ができたときに、この9つの地区が一緒になってできたという



● 人口の移り変わり

	明治22年	昭和40年	平成13年
館山市全体	43,086人	56,674人	52,080人
九重地区	2,671人 (6%)	2,220人 (4%)	1,933人 (4%)

意味を持っています。九重村の村役場は、今の九重地区公民館にあったそうです。

田園風景が続く九重地区は、昔から米作りがさかんで、平地を利用した米作りや野菜作りのほか、酪農もさかんに行われています。

8月になると、宝貝地区の田んぼでは、あわい紅色をしたハスの花が咲き始めます。宝貝では、昔からハスの栽培がさかんでした。今はその数も少なくなりましたが、昔はほとんどの田んぼがハス田だったそうです。真夏に咲くハスの花は、大きな緑の葉にはえて、とてもきれいです。

九重のまちのようすを調べてみました。



九重駅の看板づくりのようす



真夏に咲くハスの花

2 農業のようすを調べてみよう



どんな農業がさかんなのかな？

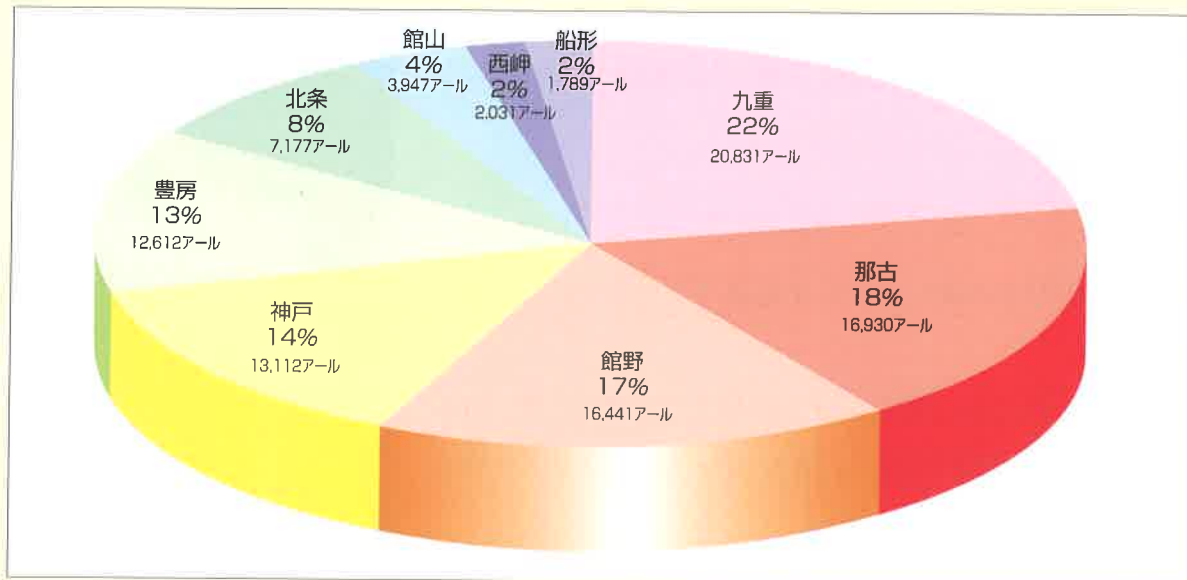
九重地区は、まわりが山でかこまれています。中央は平地になっており、昔から米作りがさかんでした。

下のグラフを見てみましょう。館山市の中で、米を一番多く作っているのが九重地区です。



米の収穫作業

館山市内の水田面積



資料：平成12年世界農林業センサス



ひろびろとした田畑が広がる九重地区



米の収穫



ナシの出荷作業



牧場のようす

田は、そのほとんどが四角に区切られ、コンバインやトラクターなど大きな機械を使った農作業が楽にできるように整理されています。

野菜作りでは、主に菜花や春菊、ハス(レンコン)などが栽培されています。また、自然薯やナシの栽培もさかんです。花きでは、千両や菊などが栽培されています。

また、酪農もさかんで、九重地区全体では500頭もの牛がいます。



味がじまん 房州ナシ

丸山町との境にある大井地区では、房州ナシの栽培

がさかんです。

ナシ栽培は、昔は実を袋をかけて栽培していましたが、10年ほど前から畑全体を網でおおい、鳥や風などから花や実を守る方法が取り入れられています。

4月中旬、真っ白なナシの花が満開になると、交配作業が行



交配作業のようす

ナシの栽培カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①花粉を交配させる	■											
②よけいな実を取る		■										
③草かり・わらをしく・水をまく			■	■	■							
④収穫・出荷					■ 幸水	■ 豊水	■ 新高					
⑤畑に肥料を入れる(礼肥・充肥)						■	■	■	■	■	■	■
⑥のびた枝を切る(せん定)								■	■	■	■	■

われま。摘花した雄しべから取った花粉を、「ぼん天」と呼ばれる棒の先につけた羽毛で一つひとついねいに交配させます。花粉の交配は、イチゴ栽培と同じように、ミツバチに手助けをお願いする方法もあります。

最初に花がひらくのは「新高」という品種で、次に「豊水」「幸水」と続きます。収穫は「幸水」「豊水」「新高」の順で、花が早く咲く品種ほど収穫はおそくなります。

品種によって収穫の時期を少しずつずらしているのは、仕事を少しでも楽にするのと、出荷の時期を長くするために、収入を多くするくふうの一つです。

5月上旬には、一つの枝に5個ぐらいの実がなるように、よけいな実を取りのぞきます。これを摘果作業といいます。

8月上旬には、ナシの収穫が始まります。果実を上の方に持ちあげるようにすると、かんたんにもぎ取ることができます。

「幸水」の出荷が終わると、「豊水」、9月には「新高」の出荷が始まり、10月上旬まで作業は続きます。



ナシの収穫作業のようす



網にかこわれたナシ畑



のびた枝を切るせん定作業

あま 甘みたっぷりの房州ナシ。
さいきん 最近では、贈り物としても
にんき 人気があります。





九重の特産品 自然薯

九重地区では、自然薯の栽培もさかんです。

九重の特産品にしようと、平成8年に7軒の農家が集まり、南房総で初めて自然薯の本格的な生産と販売を始めました。自然薯の栽培は、土が大切で、九重地区に質のいい赤土があったことが栽培のきっかけだそうです。

平成9年には、新鮮な自然薯をみんなに食べてもらおうと、県道沿いに直売所をオープンしました。「九重の自然薯」として、地元の人や観光客に人気があります。

自然薯は、別名を「山薬」といいます。昔から薬用にも用いられた健康食品でもあります。体がかかっている時は、空腹の時にとろろにして食べると元気が出るそうです。また、食事の時に一緒に食べれば、酵素のはたらきで消化もよくなるそうです。つるにできる「ムカゴ」も、ゆでて食べるととてもおいしいです。



自然薯の直売所



九重の特産品・自然薯



自然薯の収穫のようす



自然薯の栽培のようす

栽培されている自然薯は、1.3メートルほどの長さです。2年がかりで、「ムカゴ」と呼ばれる種イモから苗を栽培します。

プラスチック製の直径6センチ、長さ1.3メートルほどのパイプを二つにわり、U字型になったパイプに赤土をつめ、その中に長さ5センチほどに育った苗を1本ずつ植えつけます。

これを15度から20度の傾斜をつけて、20センチほどずらして、将棋だおしのように何本も重ねてうめていきます。

3か月ほどで1.3メートルほどに育ち、収穫までの2か月で太さがましていきます。11月になると、収穫が始まり、直売所にりっぱな自然薯がならべられます。

最近では、市内数か所に直売所がもうけられています。みなさんも「九重の自然薯」の看板をみたら、お店をのぞいてみてください。



大きく育った自然薯



おもしろ探検隊

豪族たちの里・九重-水岡やぐら

田園風景が続く九重地区は、数多くの遺跡が残る歴史の里でもあります。安東を中心に水岡、寶貝などには、南北朝時代前後のやぐらや石仏、仏像などが残され、有力な豪族が活動していたことがわかります。

やぐらは、鎌倉時代中期から南北朝時代にかけて、鎌倉を中心に武士階級の墓としてつくられたものです。なかでも、水岡のやぐらは高さ1.5メートルの大きなもので、鎌倉文化が安房にも強い影響をあたえていたことがわかります。



九重地区には、このほかにもたくさんの遺跡があります。みんなで調べてみましょう。



ぼくじょう 牧場のようす



ひろびろ ぼくじょう 広々とした牧場



えさをたべている牛



ちゅうがくせい ちゅうがくせい 中学生の酪農体験



ちゅうがくせい ちゅうがくせい 乳しぼり体験

3 らくのう 酪農のさかんな九重



酪農のようすをみてみよう!

みなさんは、よくミルクを飲みますね。九重地区は、そのミルクを出してくれる乳牛を飼っている農家が市内でもっとも多く、酪農がさかんです。

牛にもいろいろな種類がありますが、九重地区ではホルスタイン種が多く、九重全体で500頭ほどいます。最近では、牛を飼っている農家はへってきていますが、それぞれの農家では牛の数をふやしています。100頭以上の牛を飼っている農家も2軒あります。

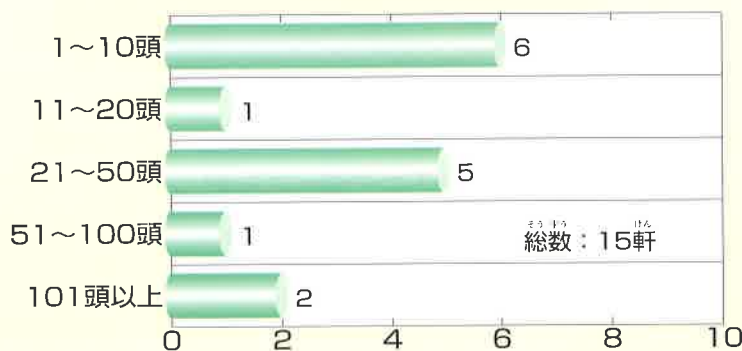


きんぎょ 緑にかこまれた牧場



牛たちものんびりとすごしています

九重の酪農家



資料：市役所農水産課（平成13年度）



酪農家の一日の仕事

酪農家では、まだ日の暗い、朝5時ごろから作業を始めます。まずは、乳をしぼります。昔は手でしぼっていましたが、今では機械でしぼる家がほとんどです。乳しぼりは酪農家にとってもっとも大切な仕事で、朝と夕方の2回おこないます。

乳しぼりの後は、牛のようすを見ながらエサをあたえます。牛は、おいしいミルクがとれるようにいろいろな草を食べます。また、生まれたばかりの子牛は、お母さんのミルクを飲みます。



乳しぼりのようす

しぼったミルクは、バルククーラーと呼ばれるタンクにためておいて、酪農協同組合のタンクローリー車が集めてくるんだよ。その後、牛乳工場で殺菌され、パックにつめられ、お店にならびます。



親のように愛情をもって育てます

乳しぼりが終わると、家族みんなで手分けをして、牛舎のそうじをします。夕方の5時から6時までも朝と同じ作業をします。牛舎を清けつにすることは、牛のためにも、おいしいミルクをつくるためにも大切です。

また、お産のときは昼夜をとわず、看護します。無事に子牛が生まれた後は、ぬれた体をふいたり、乳を飲ませたりと、親のように世話をします。

乳牛からおいしいミルクができるように、おいしいエサ(飼料)をつくるのはもちろんですが、日ごろから愛情を持って育ていくことが、酪農家にとって大切な仕事でもあるのです。

酪農という仕事は、動物が相手なので毎日いそがしいのですが、おたがいの仕事をたすけあう「酪農ヘルパー」という制度があります。酪農家の人たちは毎日の仕事がありますが、酪農ヘルパー制度のおかげで、お休みをとったり、旅行に出かけることもできるようになりました。



ミルクをためておくタンク



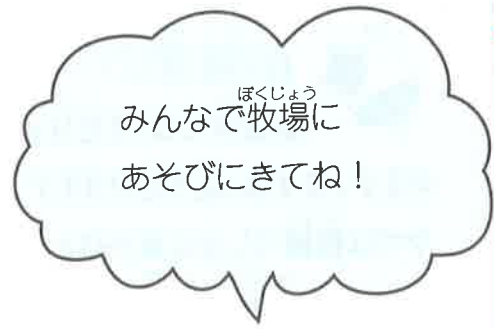
牛舎のなかには、たのしい案内看板があります



ぼくじょう 牧場へ行ってみよう!

あんどう すどうぼくじょう とう か
安東の須藤牧場では、130頭の牛を飼っていて、1年
間やく ぎゅうにゅう しゅつか
で約750トンの牛乳を出荷しています。牛のほかにも、馬やポ
ニー、羊、ロバとたくさんの動物も一緒にくらしています。馬とポニ
ーのあいだに、こまが生まれ、元気にそだっています。家族み
んなでぼくじょう けいえい すどう たく たず
で牧場を経営している須藤さんのお宅を訪ねてみました。

ぼくじょう はい ぎゅうしゃ あつ
牧場に入ると、大きな牛舎があります。牛は夏の暑さによわい
ので、やねを高くして、風とおしをよくしてあります。牛舎に使われ
ているもくざい、古くなったでんちゅう はいざい りよう
材は、できるだけお金をかけないことと、ものを大切に使うリサイクル
のためでもあります。須藤さんの家の牛舎には、昔の九重小学
校でつかっていたもくざいもつかわれているそうです。



ねんまつ 年末のイルミネーションも人気のひとつ

すどうぼくじょう 須藤牧場のようす



やぎや羊などたくさんの動物がいます



いっぱいのもんでね



バター作りのようす



しょうどうぶつ 小動物とのふれあい体験ができます

須藤牧場では、多くの人に牧場のことを知ってもらおうと、いそがしい合間をぬって、酪農体験を受け入れています。近くで牛や馬などを見たり、さわったりすることができ、乳しぼりやバター作りなども体験することができます。

牧場を経営する須藤裕紀さんは「酪農の仕事はたいへんな時もあるけど、乳牛はめんどうを見てあげれば、見てあげただけおいしいミルクを出してくれるので、やりがいがあります」と話していました。

須藤牧場は、中央酪農会議の「日本の牧場スタンプラリー」で、267牧場の中から2か所だけという「ベストコミュニケーション」にも選ばれています。みんなで出かけてみましょう。



牧場を経営する須藤裕紀さん



春を待つ渡り鳥

冬でもあたたかい南房総は、北からやって来る冬鳥たちが羽を休める越冬地でもあります。

九重地区には、農業用に水をためておく堰がいくつもあります。9月になると、江田や竹原の堰にも、マガモやコガモなどカモ類を中心に、オシドリやキンクロハジロなどたくさんの鳥たちがやってきます。かわいらしい鳥たちは、遠くシベリアなど北の大地からやってくるそうです。

鳥たちは、昼は水の上を泳いだり、陽だまりでのんびりと眠ったりしています。夜になると、まわりの田んぼに出て、草をついばんだりしています。

冬鳥は、毎年同じようなルートで、同じ場所に戻ってくるそうです。冬の間は食料がなくなるた



羽を休める渡り鳥たち

め、南へ渡ってきます。小さな鳥の多くは、タカなどの天敵から身を守るために夜間に渡るそうです。

春になると、冬鳥たちは子どもを産み育てるために北へ帰っていきます。南房総は、冬鳥たちの第二のふるさとでもあるのです。

●^ち地^ず図^みで見てみよう
九重地区



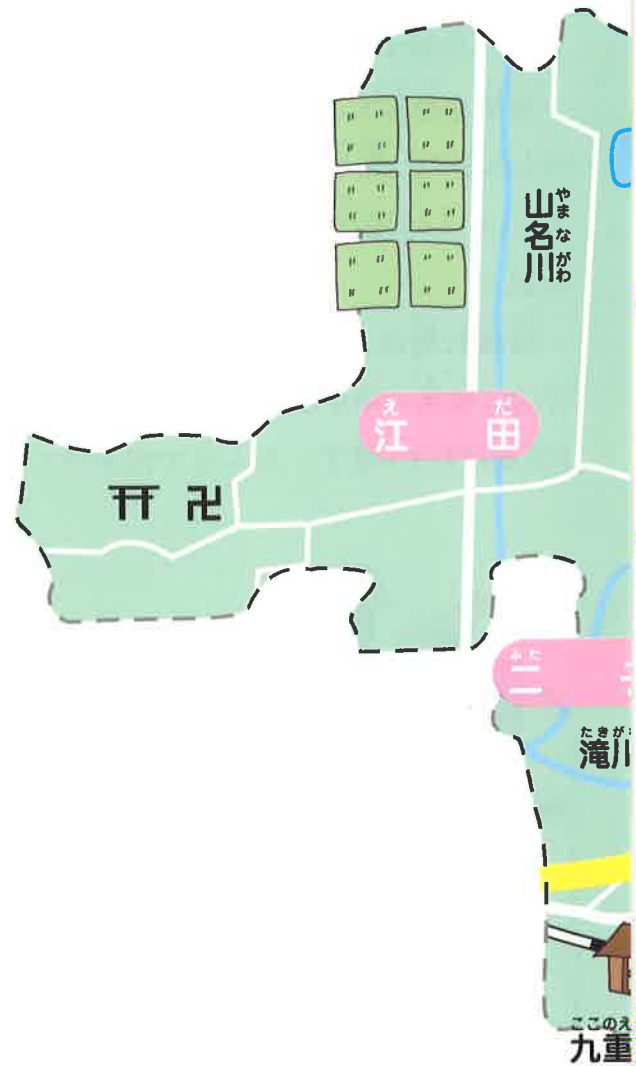
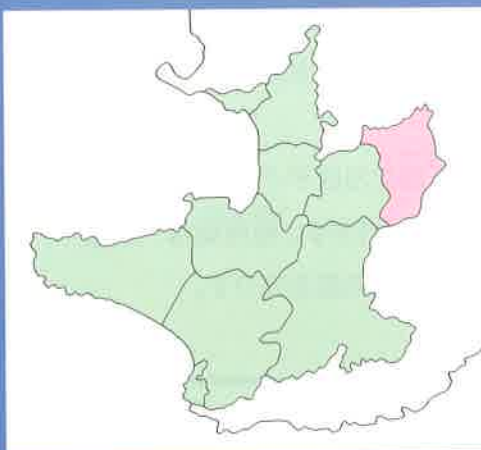
広々とした田畑



大きく育った自然薯



牧場のようす









4 暮らしをささえるしくみ



(1) 水道のしくみ



作名ダム

水は、どのようにして私たちの家庭まで送られてくるのかな。水道のしくみを調べてみよう。



① 水と生活とのかかわり

水道の水源

水は、私たちの生活にかかせない大切なものです。じゃ口をひねると、いつでもきれいな水がでできます。私たちが使っている水道の水は、川の水、ダムの水、そして地下水を水源としています。これらの水を浄水場できれいにし、水道水として私たちの家庭に配っています。

しかし、その水源も少しずつ利用すればいつまでも私たちに水のうるおいをあたえてくれますが、一度に取りすぎると川や地下水もかかれてしまいます。

昔は家に井戸があり、水をくみあげて使っていましたが、大きなまちになると井戸をほるより、まとめて水を配った方がよいことがあります。そこで、県や市町村の仕事として水道をつくる必要になってきました。



作名ダム



中央公園の噴水

家庭で使われる水

私たちの家庭では、水はどのように使われているのでしょうか。台所で使う水、風呂で使う水、洗たくに使う水、そしてのどがかわけば、じゃ口からコップに水をくみます。このように、私たちの家庭では水がないと生活できません。

また、家庭ばかりでなく、病院、デパート、学校など、水道を使うところはたくさんあります。また、農作物を育てるための農業用水や工場などでも大量の水が必要です。

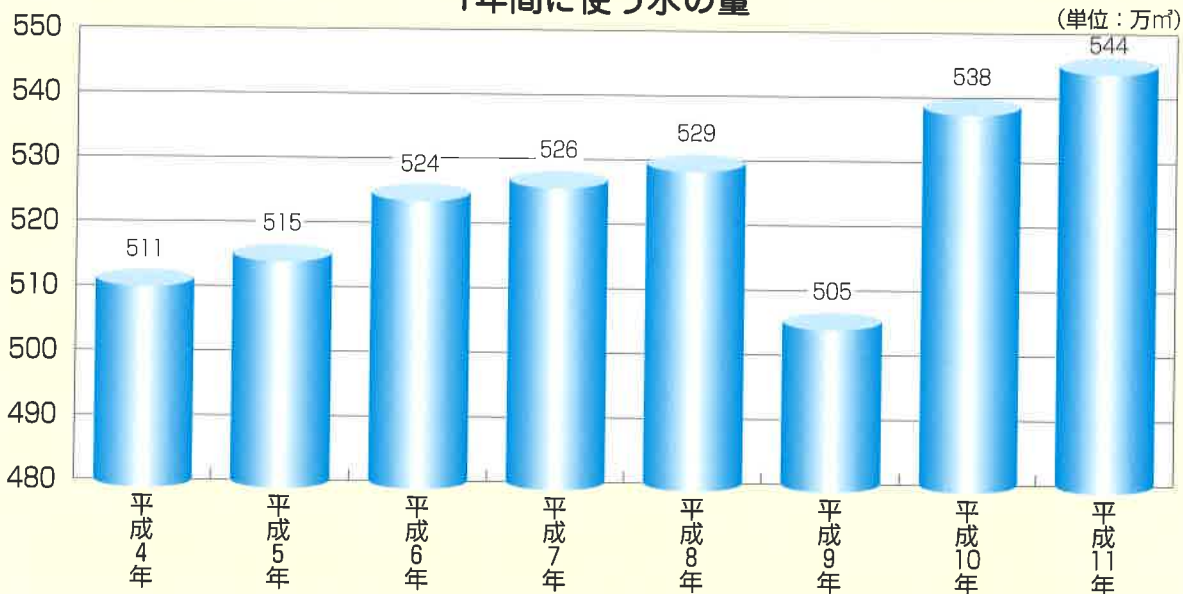
館山市では、人口が年々減ってきていますが、下のグラフでもわかるように、1年間に使われる水の量は毎年増えています。水は、あまりにも私たちの身近にあるため、つい水のありがたさを忘れがちになります。

どうして、私たちが使う水の量は増えているのでしょうか。みんなの学校や家庭では、水をどのように使っているのか話しあってみましょう。

また、どうしたら使う水の量をへらすことができるのか。水と私たちとのかかわりを、もう一度考えてみましょう。



1年間に使う水の量



※平成9年は濁水のため

資料：三芳水道企業団

② 水道水のできるまで

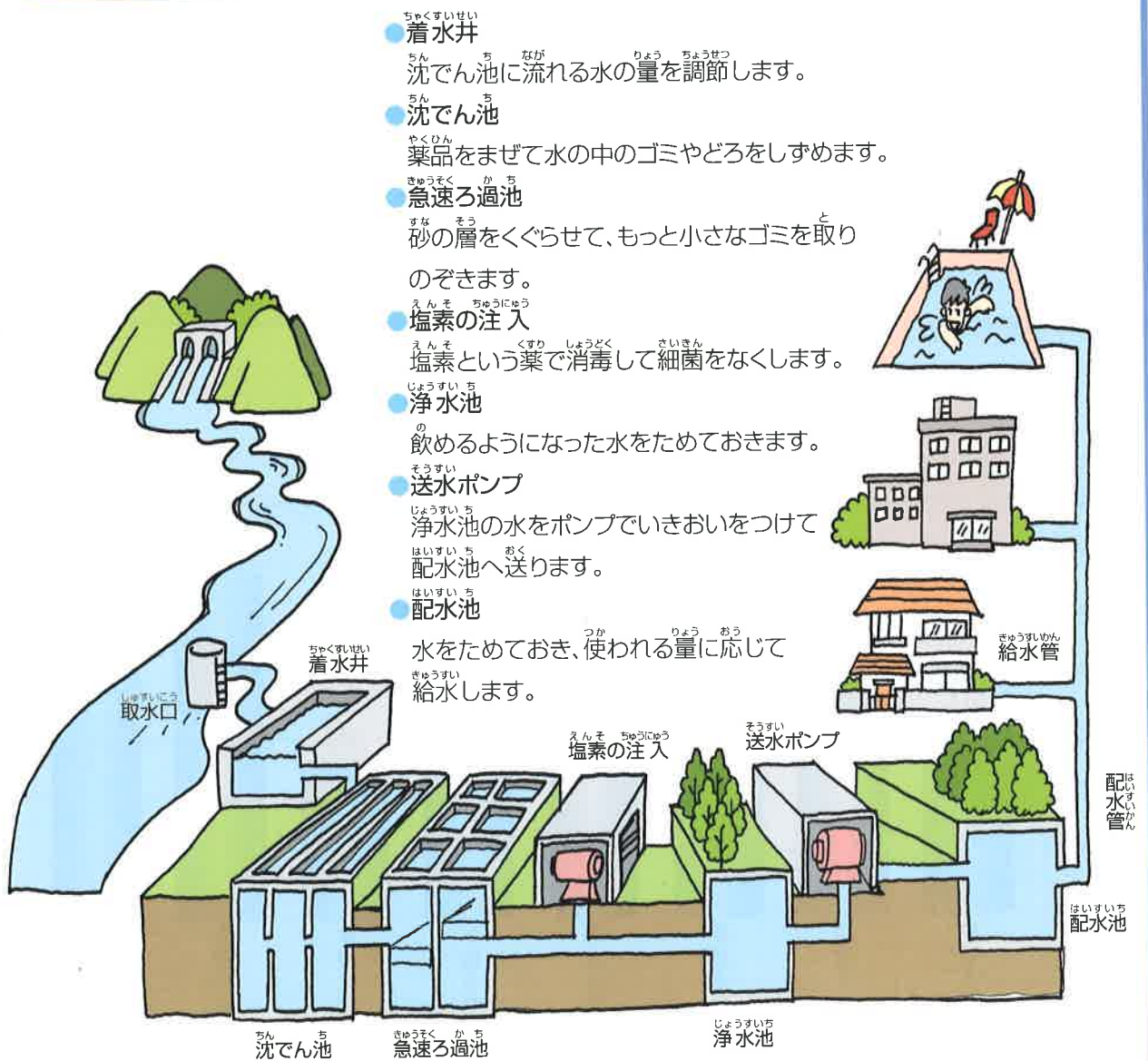
自然の水は、いったん水源池に集められ、浄水場へ送られます。そして、沈でん池、ろ過池を通りながらすきとおったきれいな水となり、塩素という薬品で消毒して飲める水にします。

このようにしてつくられた水は、いったん配水池に送られてから配水管を通ってみんなの家庭や学校に届けられています。

下の図で、飲み水のできるまでを見てみよう。



飲み水のできるまで



3 南房総の水資源のようす

わたしが住んでいる南房総は、丘陵地帯が多く、流れている川も短く、その流域面積も狭いため、川の流れは豊かではありません。そのため、私たちが使う水の約2分の1を利根川にたよっています。

川の水や地下水のようすは、千葉県の北部と南部では違いがあります。私たちの住んでいる南房総の水資源のようすを調べてみましょう。

地下水のようす

房総半島の地下水は、各地域の地質によって異なります。私たちの住んでいる南部は、岩の層が多く、帯水層（水をふくんだ砂・れきなどの層）が少ないため、地下水があまりありません。

九十九里平野では、砂の層が多く、地下水はとぼしく、深いところでは海水となっています。

北西部は、水をとしやすい関東ローム層があり、その下には地下水を多くふくんだ層群（地層の重なったもの）があります。市原市などの層群は、400メートル以上もあり地下水も良質で豊かです。

川のようす

房総半島の南部は、房総丘陵があり、愛宕山、鹿野山、清澄山、鋸山などの高さが300メートルから400メートルの山が連なっていますが、他の県とくらべると高い山とはいえません。

房総丘陵から流れ出る川は、養老川、小櫃川、夷隅川など大きな川をのぞき、ほとんどの川は、延長が短く、流域面積も小さいので流れは豊かではありません。

地下水が豊かではない南部の人たちにとって、川の水は昔から大切な水源になっていますが、せっかく降った雨もすぐに海へ流れてしまい、川の水は思うように利用できません。



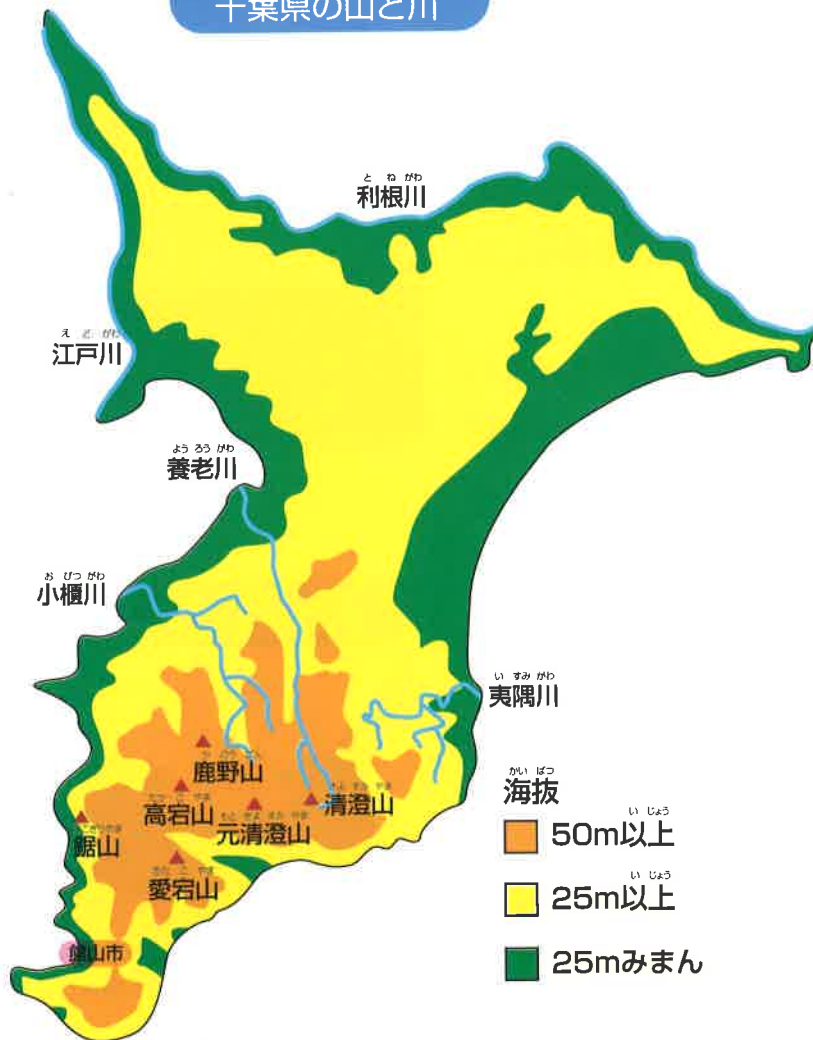
利根川

地下水の分布の区域図



南房総の山なみ

ちばけん 千葉県 の山と川



ちばけん ちけい ちかすい
千葉県の地形や地下水の
分布、あるいは川のような
みすみぼうそう みずしげん
すから、南房総の水資源
かんが
について考えてみよう。



とねがわ 利根川

とねがわ ばんどう たろう よ ひかし
利根川は「坂東太郎」とも呼ばれています。東
くに いちばんおお
の国で一番大きな川という意味です。
みくにさんみやく たにがわだけ ちか みなもと だいしやう
三国山脈の谷川岳の近くを源とし、大小の
川を集めて関東平野をうるおし、千葉県の銚子
あつ かんとうへい や ちばけん ちやうし
で太平洋にそそいでいます。
なが ばん め りゆういきめんせき
長さは日本で2番目ですが、流域面積は日本
一の川です。



4 館山市の水道の歴史

水をもとめて

大きな川のない館山市は、長い間、水不足に悩まされてきました。特に、夏になると観光客が増え、水を使う量も増えるので、毎年のように水が不足していました。

水が足りなくなると、給水制限といって、家庭などへ送る水量を少なくしなければなりません。観光が盛んな館山市にとって、この水不足は重要な問題でもありました。

市では、どのようにしてこの問題に取り組んできたのか、その歴史を見てみましょう。

簡易水道による水の供給

館山市の水道は、昭和13年8月に房州水道株式会社が館山北条町へ給水を行ったのが始まりです。市営としては、昭和21年に宮城水道と南条水道が簡易水道として始められたのが最初です。

当時は、山からわきでくる水を利用したり、井戸をほって水をたくわえ、飲み水にしていました。豊房地区には、山藪に井戸がありました。市では、この水を利用して、南条の山の上に貯水槽をつくり、簡易水道として水を供給していました。

昭和35年から昭和47年にかけては、西岬、神戸、富崎、豊房(神余)地区への給水が始められました。その後、昭和48年4月に宮城、南条、西岬の簡易水道を「館山市水道」として統合しました。

作名ダムの完成

その後も水道を使う量は増え、水不足になってきたので、市では作名ダムをつくることを計画しました。作名ダムの工事は、昭和48年から5年がかりで行われ、総工事費約30億円をかけ、昭和52年に完成しました。これにより、豊房地区をはじめ、館山地区、西岬地区などの多くの家庭へ給水できるようになりました。

館山市の水道の歴史



昭和13年 房州水道株式会社が館山北条町に給水

昭和21年 市営として宮城水道と南条水道が簡易水道として給水

昭和35～47年 西岬、神戸、富崎、豊房地区へ給水



増間ダム

昭和44年 三芳水道施設・増間ダムが完成

た。

昭和50年4月には、**民営**の**房州水道**を買収し、**市営**の「**中央水道**」として**事業**をうけつぎ、昭和54年にはそれぞれの水道を「**館山市水道**」として**統合**し、**河川**からの**取水・浄水・配水**施設を整備し、昭和57年に**事業**が**完成**しました。

昭和48年 宮城、南条、西押の簡易水道を館山市水道として統合

利根川の水を館山へ

館山市と同じように、**水不足**に悩まされていた**安房・夷隅郡**市の17市町村は、**共同**で**利根川**を**水源**とする**水道用水**を受水しようと、平成2年8月に「**南房総広域水道企業団**」をつくりました。



作名ダム

この**事業**は、**利根川**を**水源**に、**佐原市**の**取水口**から**長柄ダム**（**長柄町**）までの**房総導水路**を活用し、さらに**長柄ダム**から**導水路**を延長して、**大多喜浄水場**で**水道水**に**浄水**し、**安房・夷隅郡**市の各**市町村**へ**水道水**を送る**計画**です。

昭和52年 作名ダム・浄水場が完成

工事は平成3年度から**始め**られ、**総工事費**870億円をかけ、平成8年10月に**完成**しました。

昭和54年 館山市水道、中央水道などを館山市水道として統合

これにより、**館山市**でも**利根川**からの**安定**した**水道用水**が送られてくるようになり、同時に、**館野・九重**の**未給水地区**への**給水**が**始め**られました。また、平成10年4月には「**館山市水道**」と「**三芳水道企業団**」が**統合**し、**今**に**いた**っています。

平成2年 南房総広域水道企業団を設立

こうして**館山市**の**水道**は、昭和21年に**簡易水道**として**始め**られて**以来**、**長い年月**と**多くの人の努力**によって、**だんだん**と**広**

平成8年 利根川を水源とした南房総広域水道企業団から受水を開始。同時に館野、九重の未給水地区へ給水開始



水道の料金
現在の**水道料金**は、**水1立方メートル**あたり**229円99銭**です。
この**水**を作るのに**320円55銭**の**経費**がかかります。（平成13年時点）

平成10年 館山市水道と三芳水道企業団が統合

げられ、現在は三芳水道企業団として、げんざい みよしすいどうきぎょうだん 富浦町、とみうらまち みよしむら 三芳村をやくふくむ約5万7千人のせいかつの人たちの生活をささえています。

水道の流れ・利根川～長柄ダム～大多喜ダムまで約100キロメートルの旅



利根川



佐原市取水口



東金ダム



長柄ダム

(2) 私たちの生活とごみ



わたしの家から出るごみは、どのように処理されているのかな。ごみの処理のようすを調べてみよう。



1 家庭から出るごみのようす

増えつづけるごみの量

私たちの家から出るごみは、生ごみ、紙くず、ビニール、家具、ガラスなど、たくさんあります。右上のグラフは、市の人口とごみの量のうつつりかわりをあらわしています。

昭和54年度には、人口が約5万7千人で、各家庭などから出された1年間のごみの量は約1万8千トン。平成11年度は、人口が約5万2千人で、ごみの量は約2万7千トンとなっています。

人口は減ってきていますが、市内の各家庭や事業所などから出されるごみの量は、年々増えてきているのがわかります。

ごみの量が増えているわけを、みんなで考えてみましょう。



家庭から出されるごみ



清掃センターに集められたごみの山

市の人口とゴミの量のうつきわり



資料：館山市役所環境保全課

ごみを出すときのきまり

私たちの家や職場には、市から「環境美化カレンダー」が配られています。このカレンダーには、ごみを出すことについて、いろいろなきまりが書かれています。家の人たちは、このカレンダーで、ごみを出す日やごみの出し方などのきまりをたしかめてから、家の近くのごみを集めるところにごみを出します。



日当日の朝、8時00分から8時30分までに決められた集積場に出してください。古紙を除き、日曜日・祝日はごみの収集はありません。

古紙類（新聞・雑誌・ダンボール）・飲料用紙パックの収集日

3月			4月		
地区	新聞・雑誌・ダンボール	飲料用紙パック	地区	新聞・雑誌・ダンボール	飲料用紙パック
館山	3日 19日 20日	20日	館山	7日 23日 18日	18日
北条	10日 26日 7日	7日	北条	14日 30日 4日	4日
那古・船形	24日 14日	14日	那古・船形	28日 11日	11日
西神・高崎	7日		西神・高崎	11日	
神戸	4日 28日	28日	神戸	8日 25日	25日
藤野	14日		藤野	25日	
龍野・九重	20日 14日	14日	龍野・九重	24日 11日	11日

燃せないごみカレンダー

3月													4月					
日	月	火	水	木	金	土	分別はしっかりと	日	月	火	水	木	金	土				
					1	2	1週 金属類 ペットボトル	1	2	3	4	5	6	7				
3	4	5	6	7	8	9	2週 ガラス類 白色トレイ	7	8	9	10	11	12	13				
10	11	12	13	14	15	16	3週 金属類 ペットボトル	14	15	16	17	18	19	20				
17	18	19	20	21	22	23	4週 ガラス類 白色トレイ	21	22	23	24	25	26	27				
24 31	25	26	27	28	29	30	5-6週 金属類 ペットボトル	28	29	30								

館山市経済環境部環境保全課 (2013)11 (9)

環境美化カレンダーを見て、ごみのわけ方や出し方にはどのようなきまりがあるのか、調べてみよう。



ごみの種類を調べてみよう

ごみのわけ方には、大きくわけて7種類あります。生ごみなどの「もせるごみ」と、空き缶などの金属類、空きビンなどのガラス類の「もせないごみ」、ジュースなどの「ペットボトル」、肉や野菜などが入っていた「白色トレイ」、新聞や雑誌などの「古紙類」、牛乳などが入っていた「紙パック」、そして「テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン」の家電製品です。

ごみをいくつかの仲間に分けて集めることを分別収集といいます。また、缶やビン、ペットボトル、古紙などは、同じものを集めれば、もう一度使うことができます。これをリサイクルといいます。



清掃センターに集められたごみの山

ごみの種類 (7種類)

<p>も 燃せるごみ</p>	<p>衣類 履物 台所ごみ</p>	<p>はくしよく 白色トレイ</p>	<p>はくしよく 白色トレイ</p>
<p>も 燃せないごみ (金属類)</p>	<p>自転車 金物類 ふとん スプレー缶</p>	<p>こしるい 古紙類</p>	<p>新聞 雑誌</p>
<p>も 燃せないごみ (ガラス類)</p>	<p>空きビン ガラス グラス</p>	<p>いりようよう 飲料用 紙パック</p>	<p>飲料用紙パック</p>
<p>ペットボトル</p>	<p>ペットボトル</p>	<p>かてん 家電 リサイクル法 対象4商品</p>	<p>冷蔵庫 洗濯機 エアコン テレビ</p>

2 ごみのゆくえ

家庭から出されたごみは、だれが集め、どのようにして処理しているのでしょうか。ごみの処理のようすを見てみましょう。

収集車のはたらき

各家庭がごみを出すところは「ごみステーション」と呼ばれていて、市内でおよそ1,400か所あります。市では、ごみを集める日を地区ごとにきめて、12台の収集車でこれらのステーションをまわり、ごみを集めています。収集車によって集められたごみは、出野尾の山の上にある清掃センターへ運ばれていきます。収集車は、1回で約2トンのごみを運ぶことができます。

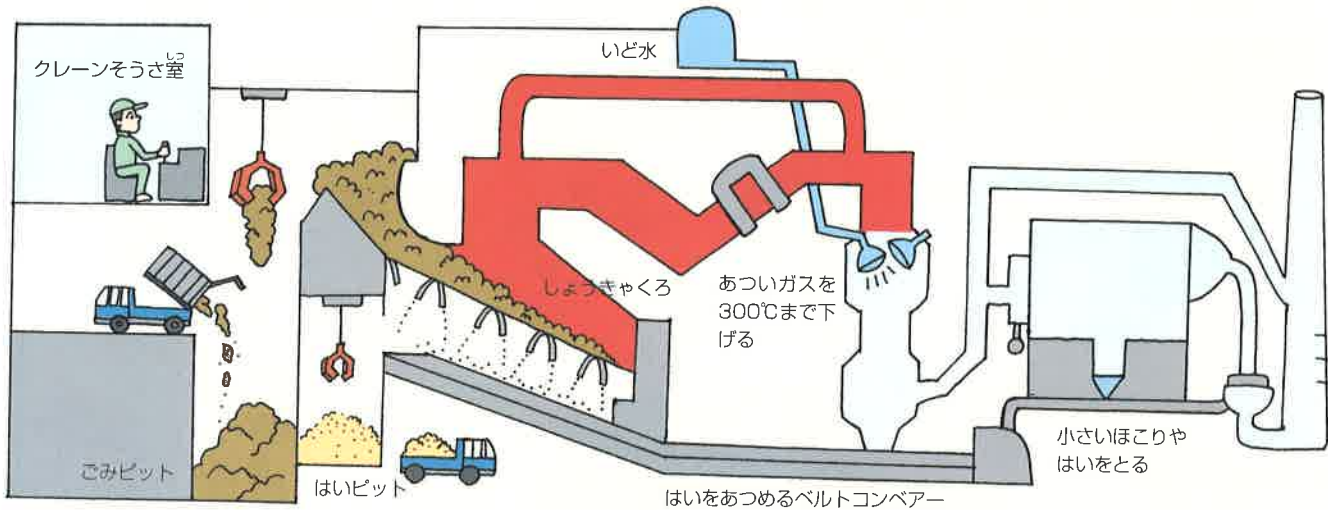


各家庭がごみを出すステーション

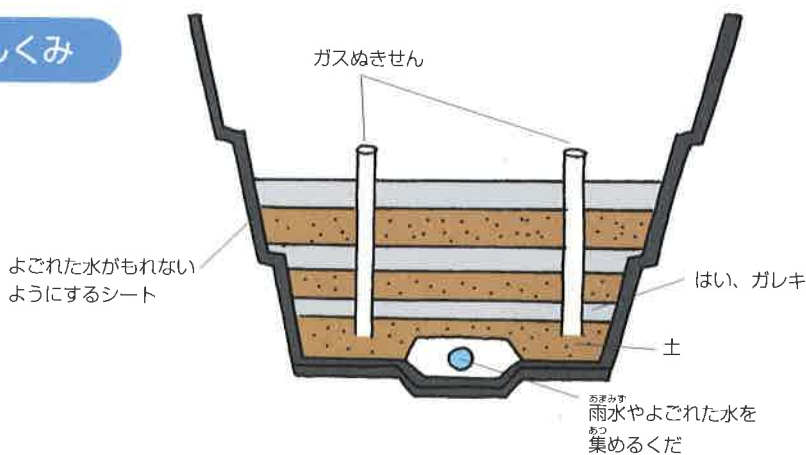


ごみを集める収集車

ごみを燃やすしくみ



うめ立て地のしくみ



清掃センターのはたらき

収集車によって運ばれてきたごみのうち、生ごみなどのもえるごみは、ごみピットとよばれているところに集められます。ごみピットの容量は300トンで、約3日分のごみを入れることができます。ごみピットに集められたごみは、クレーンで焼却炉へ運ばれ、もやされます。

清掃センターには、50トンの焼却炉が2基あり、1日で100トンのごみをもやすことができます。清掃センターでは、いやなにおいやよごれたけむりを外に出さないように気をつけています。



清掃センター

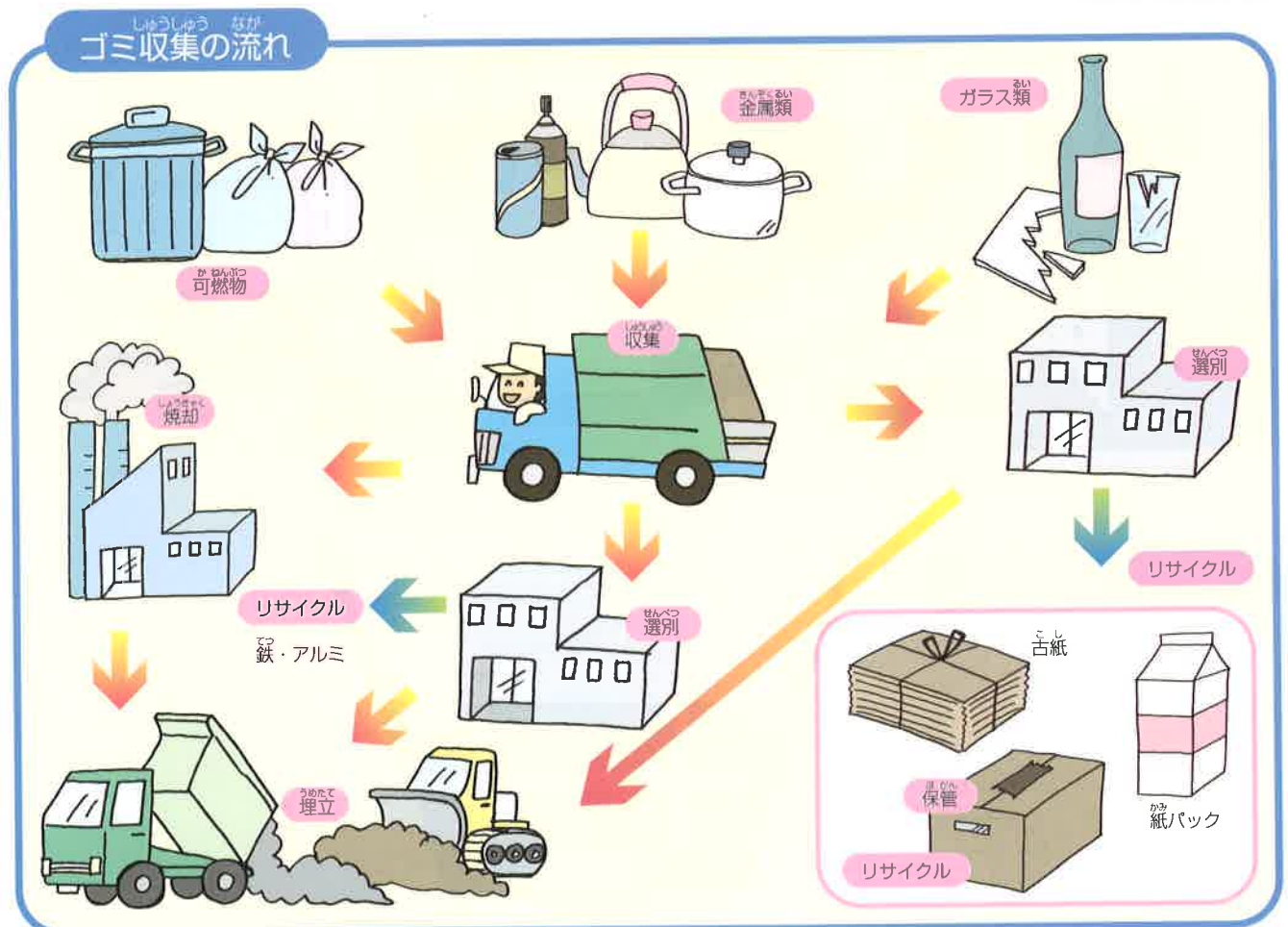


ごみピットの中の様子

最終処分場のはたらき

もやした後には、たくさんの灰ができます。集められた灰は、清掃センターの近くにある一般廃棄物最終処分場に運ばれ、ガレキと一緒にうめられます。

ここでは、うめ立て地にたまった水を水処理施設できれいに



してから川に流しています。環境を守るため、きめられた日に水質検査もします。

リサイクルされるごみ

リサイクルされるごみは、市が委託した業者によって集められています。金属類は、いったん、清掃センターに運ばれ、ガスボンベやスプレー缶など危険物を取りのぞき、その後、清掃センターのとなりにある粗大ごみ処理施設で細かくします。その後、鉄とアルミにわけてプレスされ、製鉄会社などに運ばれます。

ガラス類、ペットボトル、白色トレイ、古紙類、紙パックなど、その他のリサイクルされるごみも、それぞれガラス工場や製紙工場、リサイクル工場などに運ばれ、新しい製品に生まれ変わります。

テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンは、家庭から電気店や専門の業者が直接ひきとっていき、リサイクル工場へ運ばれていきます。



集められた灰は最終処分場に運ばれます



リサイクルされる金属類

リサイクルの流れ

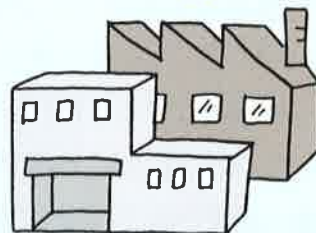
●消費者が分別排出



●自治体が分別収集

●リサイクルの流れ、3つの役割

●事業者が再商品化



3 ごみ処理のなやみ

お金がかかるごみの処理

家庭などから出されるごみの量は、平成11年度で約2万7千5百トン。1日に約74トンというたくさんのごみが出されています。

このごみを処理するためには、多くの経費がかかります。ごみを収集するのに2億3千万円、処理をするのに4億円、あわせて約6億3千万円の経費がかかっています。

これらの経費は、私たちの家でする税金でまかなわれています。道路や公園などをつくれば、後に残って便利に使えますが、これらのお金は形に残らない経費です。ごみを少しでも減らせば、それは税金の節約にもなるのです。



ごみを処理するためには、多くの経費がかかります



ごみの半分は紙

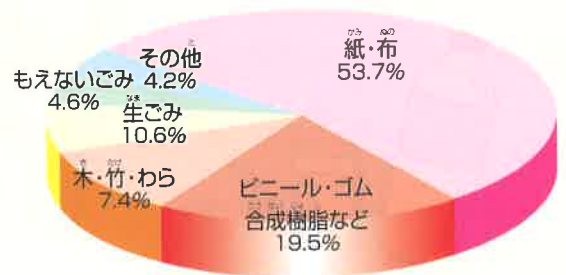
右の円グラフは、平成11年度に清掃センターに持ちこまれたごみの種類を調べたものです。紙類が半分をしめているのがわかります。

ごみといえば、生ごみというイメージがありますが、実際にごみのなかみを調べてみると、そのほとんどが紙類。この中にはリサイクルできる紙もかなりあるはずですよ。

紙は、私たちの生活にかかせないものですが、紙の原料はパルプです。パルプは木からとれますから、紙をやすすということは、森をやすしているのと同じことになるのです。

また、清掃センターの焼却炉では、いかに紙はもやしずらいのです。焼却炉の温度は、900度前後に設定されているのですが、紙類はカ

清掃センターに出されたごみの種類(平成11年度)



リーが高いので、水をふくませ、少しずつもやさなければならぬからです。

1日に100トンの処理能力をもつ清掃センターなのに、現在は約80トンしか処理できません。紙やプラスチックが増えれば、焼却炉の処理能力は低下してしまいます。

④ごみを減らす工夫

ごみのリサイクル

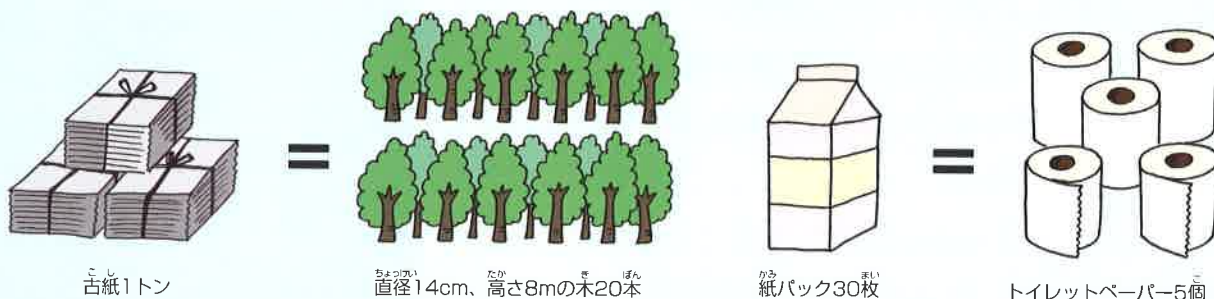
ごみは、そのままですてしまえば、高い経費のかかるやっかいものですが、同じものにかけて集めれば、資源として再利用されます。

1年間に生産されるペットボトルは、全国で約25万2千トン。このうち、約77パーセントが清涼飲料水用です。家庭から出されたペットボトルは、分別収集され、リサイクル工場で原料となり、製品製造工場では洋服やカーペット、運動用マット、野球のベースなど、いろいろな製品に生まれ変わります。

また、いらなくなった新聞や雑誌など、古紙1トンのリサイクルすれば、直径14センチ、高さ8メートルの木20本分の紙ができます。紙パックは、30枚でトイレトーパー5個をつくることができます。リサイクルは、ごみを減らすだけでなく、環境にやさしい取り組みでもあります。



ペットボトルと白色トレイ



まちをきれいに

市では、春と秋の年2回、「環境美化の日」をきめて、市民みんなで「クリーン・アンド・ビューティフル運動」にとりくんでいます。公園や空き地、道路などをみんなでそうじしています。

また、環境美化カレンダーを各家庭に配布して、ごみを出す時のきまりを呼びかけたり、川や道路などにごみをすてないように、立札を立てたりしています。

私たちも、ごみを少なくするために、どんなことができるか、考えてみましょう。



公園や空き地、道路などをみんなでそうじしています

(3)きれいな海や川を守る^{まも}



坂田沖のサンゴ礁

きれいな海や川を守るために、市ではどのようなとりくみをしているのかな。下水道のしくみを調べてみよう。



①きれいな水とよごれた水

私たちの家では、お風呂やトイレ、台所などでたくさんの水を使います。じゃ口をひねると、いつでもきれいな水が出てきます。私たちの生活にはかかせないこの水道の水は、ダムの水や川の水などを水源としています。

一方で、台所などから出るよごれた水は、そのまま流してしまうと、川や海をよごしてしまいます。きれいな水を使うのも、よごれた水を出すのも、私たちの生活にふかいかかわりがあります。

私たちが生活に必要な水を、いつでもきれいなままで使うためには、きれいな川をみんなで守っていく必要があります。きれいな川を守ることは、きれいな海を守ることもあります。

館山市の川や海のように、そのよごれの原因などをみんなで調べてみましょう。



波静かな鏡ヶ浦



海釣り



平砂浦に咲くハマヒルガオ



那古海岸に咲くハマユウ



坂田沖



館山棧橋



沖ノ島

② 館山市の川と海のように

川と海の水質をはかる

私たちの住んでいる館山市の川や海は、どのくらいきれいなのでしょうか。あるいは、どのくらいよごれているのでしょうか。

川や海の水質の目標となる環境基準は、国できめられています。海の水のよごれは、CODといって、よごれを化学的に分解するときを使う酸素の量ではかります。よごれている水ほどCODの値は高くなり、環境基準はきれいな水の順にA、B、Cの3段階にわけられます。

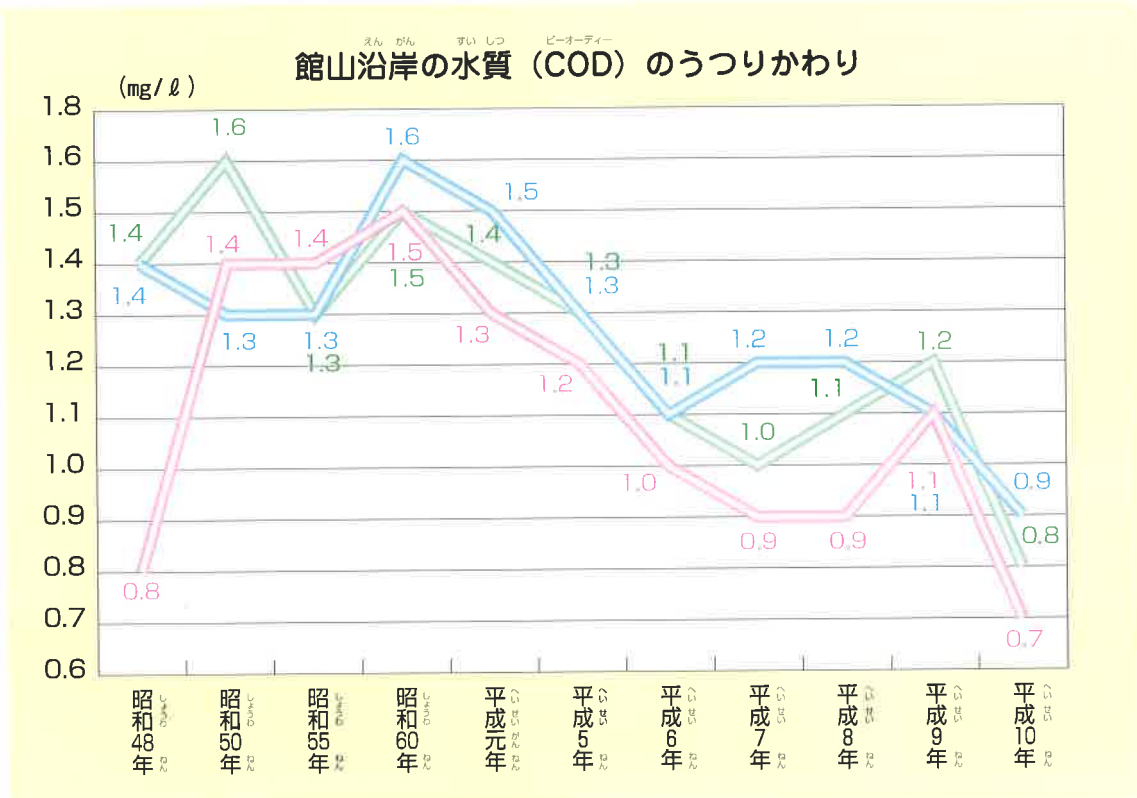
川の水のよごれは、BODといって、水中の微生物がよごれを分解する時に使う酸素の量ではかります。よごれている水ほどBODの値は高くなり、環境基準はきれいな水の順にAA、A、B、C、D、Eの6段階にわけられます。



北条海岸

海の水のよごれはCOD、川の水のよごれはBODによってあらわします。いずれもよごれているほど値は高くなります。





資料：館山市役所環境保全課

船形・北条・西岬の海の様子

上のグラフは、船形、北条、西岬沿岸の水質のうつりかわりをあわらしたものです。船形、北条、西岬の海は、国・県からA類型に指定されていますが、いずれも環境基準を達成しています。そのうつりかわりを見ると、CODの値がいずれもへって、館山市の海は、だんだんきれいになってきていることがわかります。



洲崎灯台

汐入川と平久里川の様子

次に、汐入川と平久里川の水質のうつりかわりを見てください。汐入川はB類型、平久里川はA類型に指定されています。

次のグラフは、それぞれの川の上流と下流の水質のうつりかわりをあらわしています。

2つの川の様子を見ると、上流と下流では大きな差があるのがわかります。

汐入川の上流にある東橋地点は、BODの値が低いのですが、下流にある館山二中付近の要橋地点では、上流の東橋地



汐入川の河口

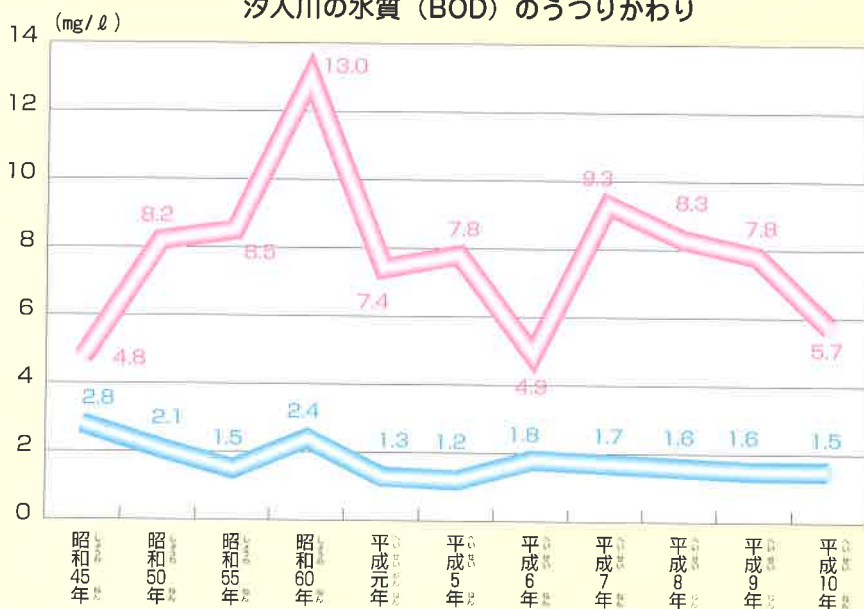
てん 点とくらべてBODの値が3倍以上も高く、水のごれがひどくな
 びーオーディ あたい ばい いじょう たか
 っているのがわかります。

2つの橋は、わずか2キロメートルほどしか離れておらず、同じ
 はし はな おな
 川なのにどうしてこのような違いがあるのでしょうか。みんなで考
 ちが かんが
 えてみましょう。



平久里川

汐入川の水質 (BOD) のうつりかわり

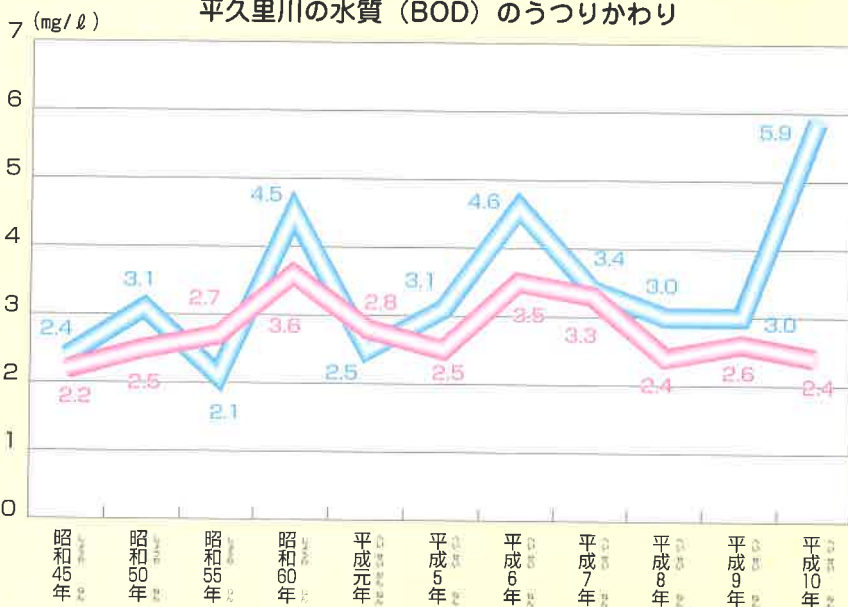


要橋付近地点 (下流)



東橋付近 (上流)

平久里川の水質 (BOD) のうつりかわり



横峯大橋 (旧岩崎橋) 付近 (上流)



平成橋付近 (下流)

資料：館山市役所環境保全課

③川や海の水をよごす原因

川や海の水のよごれの原因は、私たちの家庭から出る生活排水だといわれています。汐入川の場合、その水質のよごれの約70パーセントが台所や風呂など、家庭から出される生活排水が原因です。

生活排水のなかでも、台所から出るよごれた水が一番大きな原因でもあります。

食器をあらうときに、なにげなく流すラーメンの残り汁。コップ一杯分(200ミリリットル)を流すと、魚が住むことができるきれいな水にもどすのに、風呂おけ(300リットル)3.3杯分の水が必要です。これが、使用済みのてんぷら油(500ミリリットル)を流すと、なんと330杯分の水が必要になります。



もし、どの家庭からもこれだけのよごれのもとが川や海に流れ出たら、たいへんです

よごれのもと ()内の量をすてたら	よごれの おおよその値 BOD(mg / ℓ)	魚がすめる水質にする ために必要な水の量は 風呂おけ何杯分?
しょう油 (15ml) 	150,000	1.5杯分
みそ汁 (200ml) 	35,000	4.7杯分
使用済みのてんぷら油 (500ml) 	1,000,000	330杯分
米のとぎ汁 (2ℓ) 	3,000	4杯分
牛乳 (200ml) 	78,000	10杯分
ラーメンの汁 (200ml) 	25,000	3.3杯分



各家庭に設置される合併処理浄化槽



川をみんなできれいにしよう (錦鯉の放流)

4 川や海をきれいにする取り組み

館山市の取り組み

市では、下水道の整備を進めている他、三軒町、相浜、汐入川、那古の市内4か所に、生活排水処理施設などをつくり、よごれた水をきれいにしてから川や海に流しています。

また、下水道の区域以外の地域には、各家庭が合併処理浄化槽を設置する時に補助金を出して、その数を増やす努力をしています。合併処理浄化槽は、家庭雑排水と水洗トイレのよごれた水をあわせて処理し、きれいになった水をそのまま川などへ流すことができます。トイレのよごれた水だけをきれいにする単独処理浄化槽の8倍の効果があると言われています。

家庭でもできる工夫

みんなの家庭でも、川や海をきれいにするためにたくさんあります。たとえば、料理に使った油を新聞紙ですい取って、もえるごみとして出すことや、流し台の三角コーナーに水切り紙をつけて、こまかいごみを流さないなど、いろいろあります。

一人ひとりの小さな取り組みが、私たちの川や海をきれいになります。みんなで、どのようにしたら、川や海を守れるか、考えてみましょう。



生活排水処理施設(那古海岸)



排水路浄化施設(汐入川河口)

5 きれいな水を守る下水道

下水道のはたらき

市では、きれいな川や海を守るために、平成4年からJR館山駅を中心とした区域から、下水道の整備を進めています。

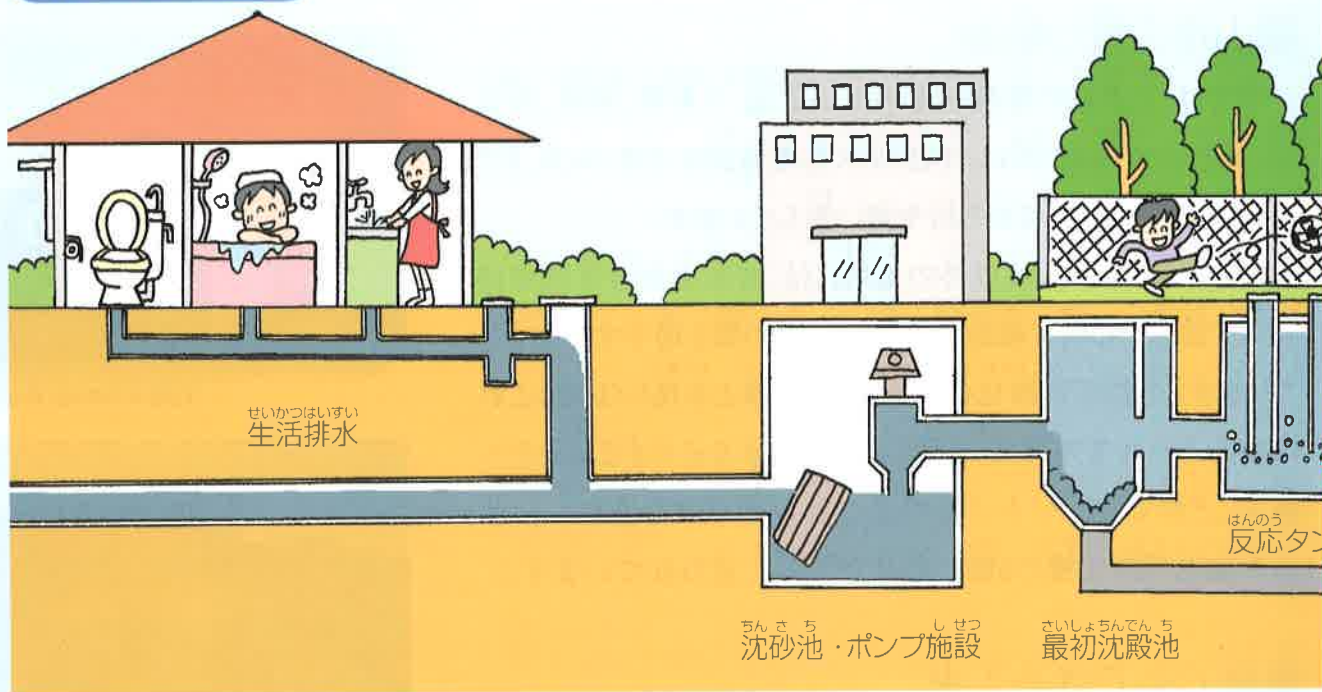
下水道は、家庭などから出る生活排水を下水管を通して鏡ヶ浦クリーンセンターに集め、きれいな水によみがえらせる大切なはたらきをしています。

また、水洗トイレが使えるようになったり、よごれた水は道路の下にうめこまれた下水管を通すため、道路の側溝やドブのいやなにおいや、カ・ハエの発生をふせぎ、まちもきれいになります。



鏡ヶ浦クリーンセンター

下水道のしくみ



●生活排水

家庭から出る生活排水は下水管に入ります。

●沈砂池・ポンプ施設

下水管によって運ばれてきたよごれた水は、ここでゆるやかに流し、大きなごみや土砂を取りのぞき、ポンプで最初沈殿池に送ります。

●最初沈殿池

送られてきた汚れた水をゆるやかに流し、どろなどを取りのぞき、水を反応タンクに送ります。

●反応タンク

バクテリアなどの微生物の集まったどろ状のものをくわえて、空気をふきこんで、かきまぜます。すると水のよごれは、微生物の栄養になって取りのぞかれ、最終沈殿池に送られます。

●最終沈殿池

しずみやすくなったどろは、ここでゆっくり底にしずみます。きれいになった水は塩素混和池に送られます。

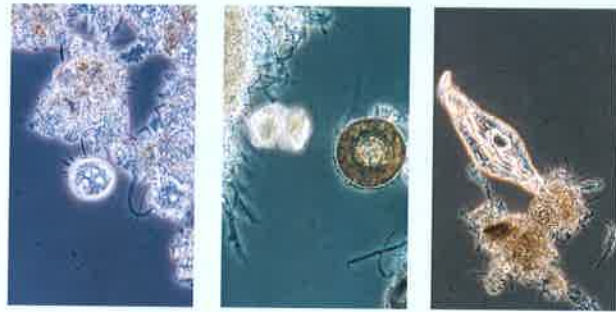
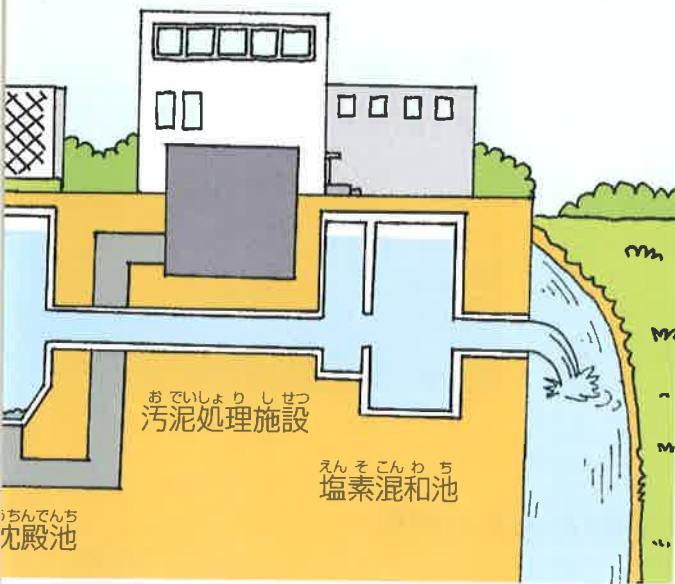
下水道のしくみ

下水道の中心的な施設である「鏡ヶ浦クリーンセンター」は、大きくわけて4つの施設からできています。水質検査や機械などを管理する「管理棟」、下水管によって運ばれてきた水を3つの池に通すことできれいにする「水処理棟」、よごれた水から出るどろを処理する「汚泥棟」、きれいになった水を消毒してから川へ流す「塩素混和池」の4つの施設です。

クリーンセンターでは、よごれた水をどのようにきれいにしているのか、下の図で、そのしくみを見てみましょう。



親子見学会のようす



水のごじれは微生物の栄養となって取りのぞかれます

左のペットボトルの水がクリーンセンターで右の水のようにきれいになります



● 汚泥処理施設

沈殿池の底にたまったどろは、ここで水分をしほり取られ、トラックで運ばれていきます。

● 塩素混和池

きれいになった水は、ここで消毒されて川に流されます。

(4) 火事をふせく



消火訓練のようす

わたしの生活を守っている消防署のはたらきやそのしくみを調べてみよう。



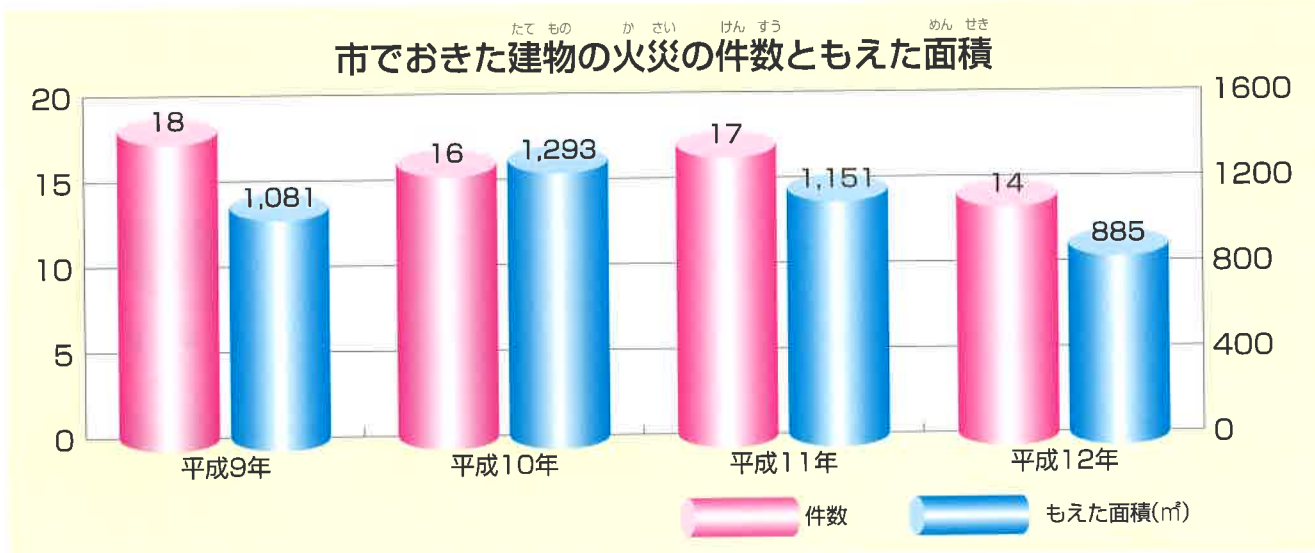
1 消防署のはたらき

火事になると、火は一瞬のうちにもえ広がり、家をやきつくします。火事は、家ばかりでなく、人々の生命までうばっていくことがあります。

下のグラフを見ると、私たちの市でも毎年火事がおきているのがわかります。



消防車



資料：安房都市消防本部

このおそろしい^{かじ}火事をふせいだり、いろいろな^{さいがい}災害から私^{わたし}たちのくらしを守るために、24時間体制ではたらいているのが消^{しょう}防^{ぼう}署^{しょ}の人たちです。

火事を早く消^{しょう}すために、消防署^{しょうぼうしょ}や市ではどのようなしくみをつ^{しら}くっているのか、調べてみましょう。

消防署のしくみ

館山市では、安房地域の市町村と協力して、「安房郡市広^{あわぐんしこう}域^{いき}市^し町^{ちやう}村^{そんけん}圏^{けん}事務^じ組^む合^あい」という組^{くみ}合^あいをつ^かくり、火事をふせぐ仕事^{しごと}をしています。

安房地域には、館山消防署と鴨川消防署の2つの消防署^{しょうぼうしょ}があります。それぞれの消防署には、消防車^{しょうぼうしゃ}、ポンプ車^{しょうぼうしゃ}、タンク車^{しゃ}、はしご車^{しゃ}、救急車^{きゅうきゅうしゃ}などがあります。



救急車

安房郡市消防本部、消防署の配置



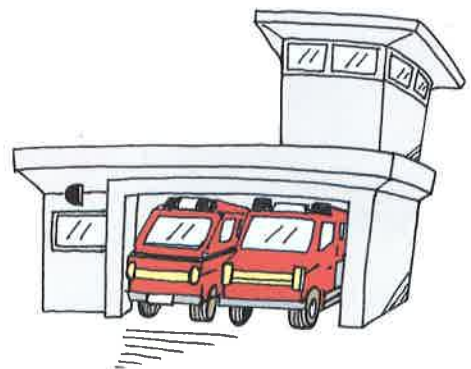
安房郡市消防本部 館山消防署



西岬分遣所



神戸分遣所

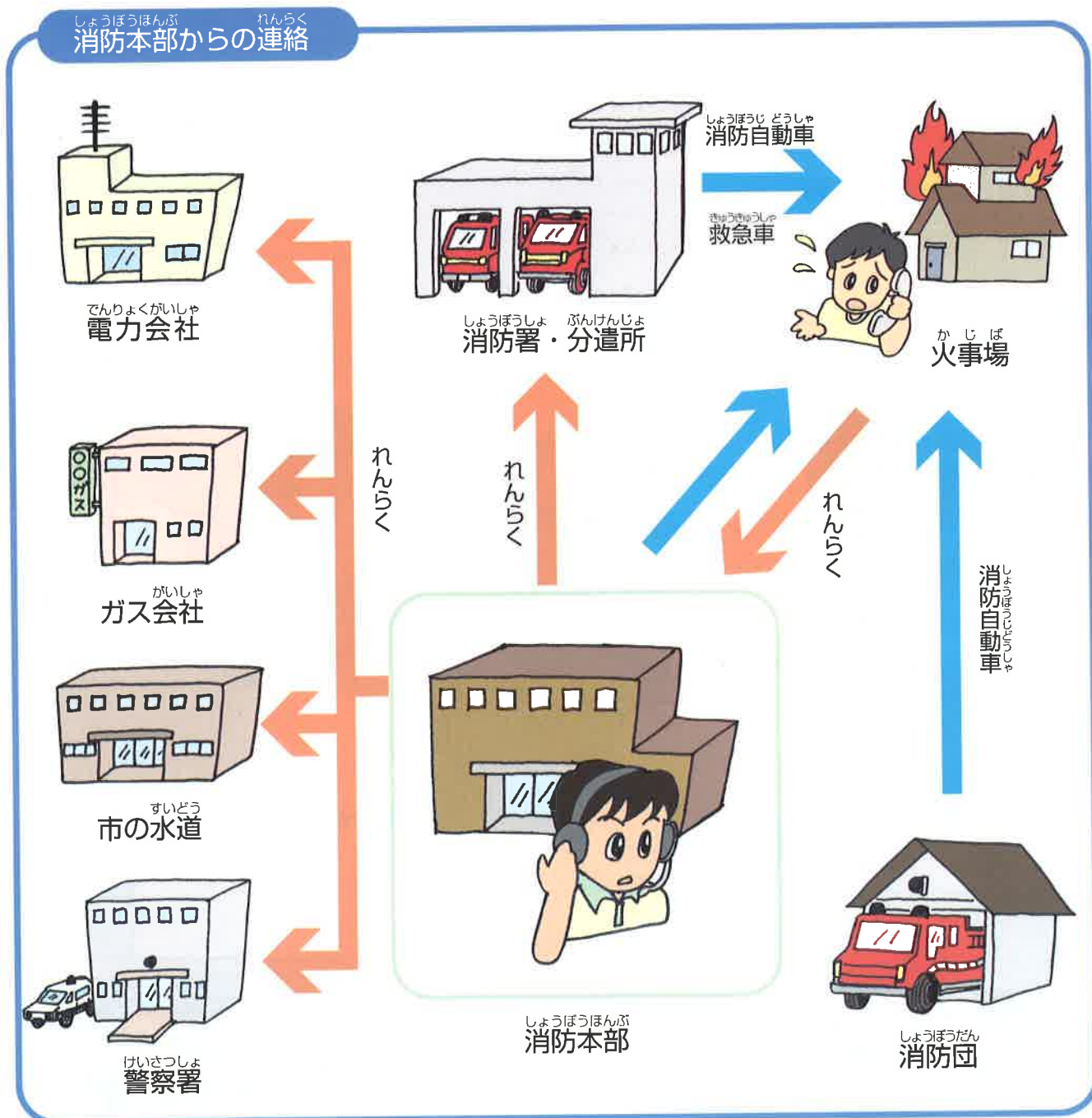


この2つの消防署の中心になっているのが「安房郡市消防本部」です。消防本部は、館山消防署と同じ建物の中にあります。安房地域でおこった火事の知らせなどは、すべてこの消防本部の指令室に集まってきます。

消防本部では、2つの消防署のほかに、安房地域全体に分署や分遣所をおいて、どこで火事がおきても、一秒でも早く火事場に行けるようにしています。



安房郡市消防本部





消防士さんたちは、毎日のようにきびしい救助、救急訓練をつみかさねています



消防車の点検

消防の仕事を見てみよう

24時間仕事をする消防士の人たちは、午前 8時30分の交替で1日がはじまります。

消防の仕事は、人の命を守る大切な仕事です。一刻をあらそう災害現場では、一人ひとりの適切な行動と正しい判断力、消防士どうしのチームワークが必要です。

そのため、消防士たちは、毎日のようにきびしい救助、救急訓練をつみかさね、どのような災害でも確実に対処できる技術を身につけています。

訓練のほかには、緊急時にそなえ、消防車などの点検や整備も毎日行われています。また、デパート、病院、工場など多くの人が出入りする場所やたくさんの住宅があつまっている地域などの安全について調べてまわり、火災が発生したときに、どのような消火活動をおこなったら、少ない被害でくい止められるかを研究しています。

また、風の強い日や空気がかんそうしているときは、各家庭などに防火を呼びかけたり、町内会や事業所などに出かけ、防火に関する指導や消火器のあつかい方のほか、救急法の指導なども行っています。



消防本部の指令室



消防の仕事子どもたちに説明する消防士さん



いろいろな道具の説明もしてくれます

② 安房地域の火災のようす

平成12年に安房地域の各市町村でおこった火災は、164件ありました。そのうち、館山市では、35件の火災がありました。

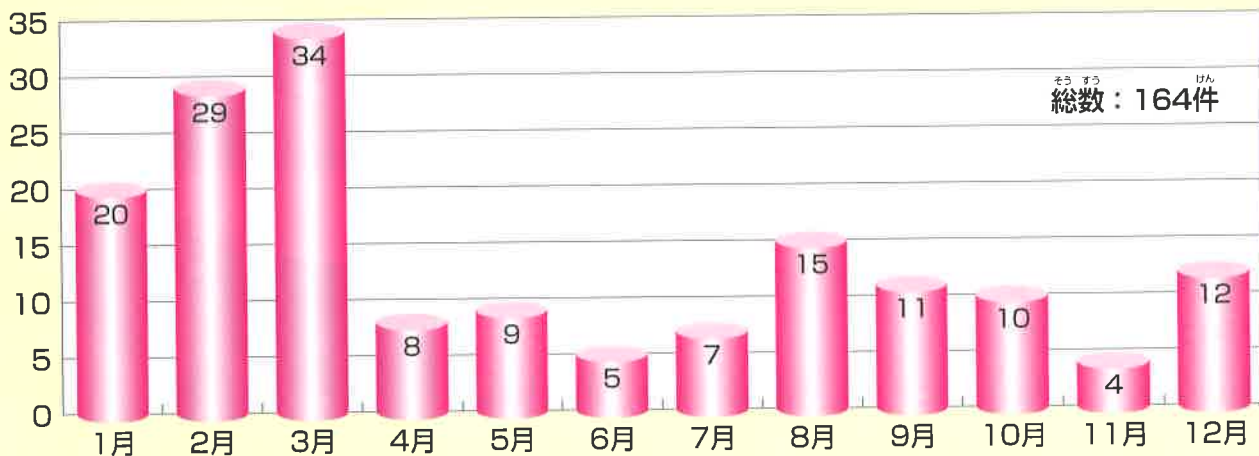
安房地域全体では、建物火災が61件、林野火災が23件、車両火災が9件、船舶火災が1件、その他火災が70件あり、それぞれ増加しています。

月別に見ると、1年のうちで1月から3月にかけて、多くの火災が起こっています。164件の火災を出火原因別に見ると、「たき火」が59件でもっとも多く、続いて「放火のうたがい」が32件、「たばこ」が14件などとなっています。

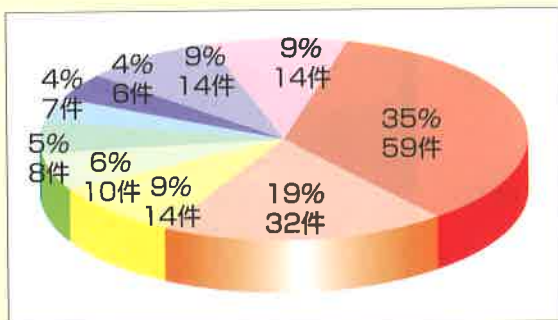


消防団による消火訓練

月別に見た火災発生件数 (安房地域全体)

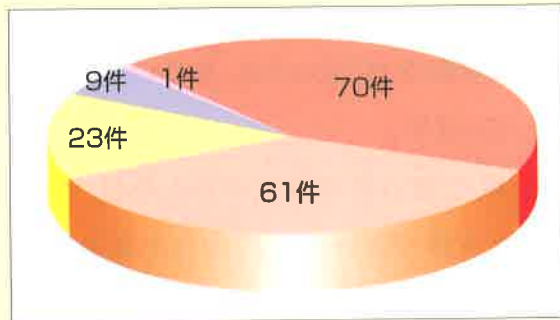


出火の原因別件数 (安房地域全体)



- たき火
- 放火の疑い
- たばこ
- 電気器具配線
- こんろ
- 放火
- かまど・ボイラー
- その他
- 不明

種別に見た火災発生件数 (安房地域全体)



- その他
- 建物
- 林野
- 車両
- 船舶

資料：安房地域消防本部(平成12年)

3 火事を早く消すしくみ

消火活動のようす

火事が起こったことを知らせる119番は、市内のどこからかけても、消防本部の指令室につながっています。

知らせを受けた消防本部では、すぐに消防署へ出動命令を出したり、電力会社やガス会社、市の水道、警察署などへ連絡します。

消防署は、連絡をうけるとできるだけ早く火事場へかけつけ、消火活動をはじめます。一方、連絡をうけた電力会社では、火事を消す人が感電しないように電気を止めます。ガス会社では、火事が広がらないようにプロパンを取りはずします。

また、市の水道では、消火せんの水がよく出るようにバルブをあけたり、警察署では、現場のまわりの自動車や人の通行を止めるなど、消火活動にみんなで協力します。

一秒でも早く出動するための工夫

消防署では、夜間は交替で起き、24時間いつでも出動できる体制をとっています。

消防士は、一秒でも早く出動するために、夜、仮眠するときは、作業服を着たまま仮眠をしたり、消防車のエンジンなどの手入れをしています。

実際に消防署へみんなのでかけ、消防士さんたちがどんな工夫をしているのか調べてみよう。



消防本部の指令室



消防車



いつでも出動できるように消防車や道具の手入れなどを行っています

4 館山市の取り組み

火事をふせぐための施設

市では、どの場所におきても、すぐに水が使えるように、消火せんや防火水そうなどを市内各地区につくり、火事に備えています。

下の表は、市内にある消火せんや防火水そうの数を調べたものです。学校のプールなども消火に使われます。

市全体の消火せんなどの数

	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
消火せん	787	888	888	888
プール	25	25	25	23
防火水そう	337	342	343	345

資料：市役所社会安全対策課

消防団のはたらき

火事が起こったら、火が小さいうちに、少しでも早く消すことが大事です。火事を早く消すために、市内各地には消防団があります。9分団・24個部にわかれていて、それぞれの部の詰所にはポンプ車が配置されています。

消防団員は、ふだんは自分の家や会社などで仕事をしていますが、火災などの災害が発生すると、ポンプ車で出動し、消火活動にあたります。また、風の強い日やかんそうしている日には、地区内をまわって防火を呼びかけたり、火事にそなえて、各地区の消火せんや防火水そうの点検をしています。

そのほか、いつでも出動できるように定期的にポンプ車を点検したり、訓練をして、火事のときだけでなく、地震や水害などの災害にもそなえています。



防火水そう



消防団の訓練のようす



消防団の訓練のようす



城山での訓練のようす

5 家庭でできる火災予防

時代とともにかわる火災の原因

火災の原因は、時代とともに変化します。OA化、情報化社会が進むなかで、最近では電気コードが原因の火災が全国的に多くなっています。

注意して身のまわりを見ると、電気スタンドや電気炊飯器、ワープロ、パソコンなどの電気コードが、タコ足のようにはりめぐらされています。

プラグをコンセントにさしこんだままにしておくと、すきまにほこりがたまりやすく、そのほこりが空気中の水分を吸収すると電流が流れ、発火することがあります。

このようなプラグとコンセントが原因の出火は「トラッキング」とよばれています。ベッドや机のいすなどの下じきになった電気コードにきずがつくと、ショートして発火します。プラグを入れたままの状態では、スイッチを入れなくても発火するおそれがあります。こうした火災をふせぐには、

- ① 年に何回か電気コードをぬいて、プラグをそうじする。
- ② 電気コードを家具などがふみつけていないか点検する。
- ③ 旅行などで長い間家をあけるときは、電気コードをぬいておく。

など、ふだんから身のまわりを点検することが火災の予防になります。



共同防災訓練のようす



消火器による消火訓練



バケツリレーによる消火訓練

家族みんなで火災の予防を

天ぷらをあげるときはその場をはなれない、ストーブにはもえやすいものを近づけないなど、やってはいけないとわかっていても、ちょっとした油断が火災の原因になります。

火災予防は一人ひとりが、ふだんから防火への意識をもつことが大切です。ねる前の習慣として、「ガスのもとせん」「電気コード」など、点検することを書いたメモを見ながら確認するなど、家族みんなで、もう一度防火点検をしてみてください。



(5) 交通事故をふせぐ



白バイによる交通安全パレード

けいさつしょ
警察署や市では、交通事故
のないまちにするために、ど
のような活動^{かつどう}をしているの
かな。調べ^{しら}てみよう。



1 交通事故をふせぐ

みぎ しゃしん こうつうじこ
右の写真は、交通事故をおこした車のようすです。写真を見
ると、交通事故のおそろしさがよくわかります。こうした交通事故
は、まいにち^{まいにち}のようにおきています。交通事故は、なぜおきるの
うか。

どうろ ある じどうしゃ じてんしゃ おお
道路は、歩く人、自動車、自転車など多くの人^{りよう}が利用して
います。みんなが自分^{じぶん}かってに歩いたり、走^{はし}ったりすれば、たいへん
危険^{きけん}です。このために交通ルールが決められています。みんな
が交通ルールを守れば、交通事故をへらすことができます。

けいさつしょ こうつうじこ
警察署や市では、交通事故をなくすためにどのような活動^{かつどう}
しているのでしょうか。調べ^{しら}てみましょう。



交通事故のようす



2 交通事故のようす

交通事故の原因

下のグラフは、館山市内でおきた交通事故の件数と死傷者の数をあらわしています。毎年のように、多くの交通事故がおきているのがわかります。そのほとんどが、車を運転する人のスピード違反など安全運転をおこたったことが原因です。

また、交通事故にあった人の年れい別の表を見てみると、お年よりや子どもたちも交通事故のぎせいになっています。特に、お年よりの交通事故が多くなっています。

交通事故の原因は、運転する側にも、歩行者側にもあるようです。私たちも注意して歩かなければなりません。

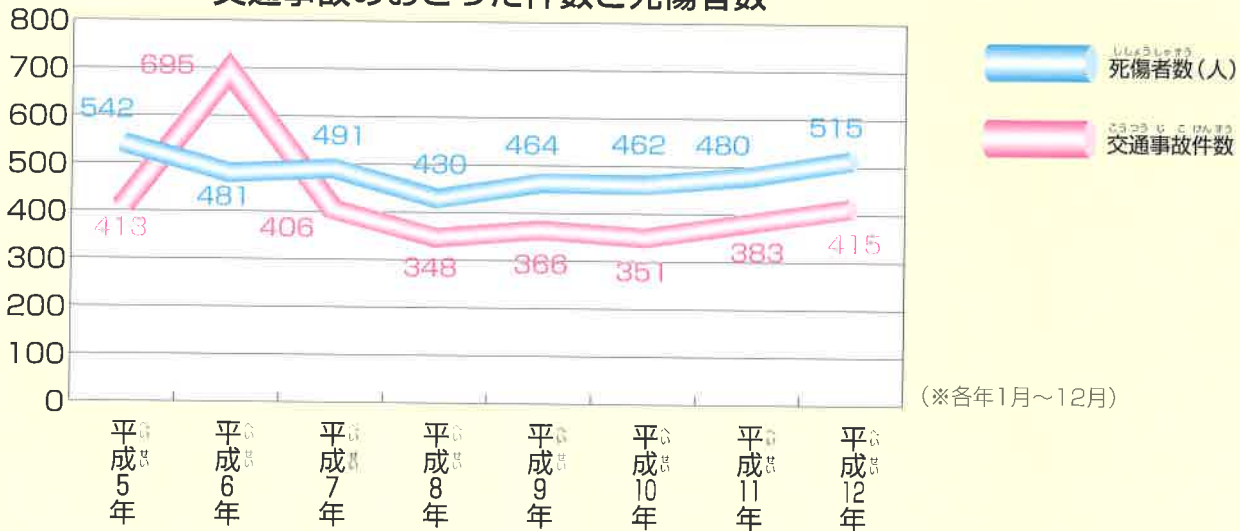


館山警察署



パトカー

交通事故のおこった件数と死傷者数



年れい別にみた死傷者数 (平成12年)

幼児	13人
小・中学生	16人
16才以上59才以下	371人
60才以上	115人
合計	515人

運転者の原因別にみた事故発生件数 (平成12年)

スピードい反など安全運転をおこたった	334件
ブレーキ、ハンドルのそうさをあやまった	16件
信号むし	21件
その他	44件
合計	415件

資料：館山警察署

交通事故のおこりやすい場所

交通事故は、どのような場所でおきるのでしょうか。

右のグラフは、交通事故が発生した場所を地区別にあらわしたものです。平成12年に館山市内でおきた交通事故は415件ありました。これを地区別で見ると、北条地区の発生件数が190件でもっとも多く、続いて館山地区が70件、館野地区が57件、那古地区が44件となっています。

また、下の図は、多くの人身事故がおきた場所をあらわしています。1か所で3件以上の事故がおきた場所は23か所で、98件の交通事故がおきています。

館山市には、国道127号線や国道128号線などの大きな道路が市内を網の目のように通っています。図を見ると、こうした大きな道路や交差点で多くの交通事故がおきているのがわかります。



国道127号線館山バイパス

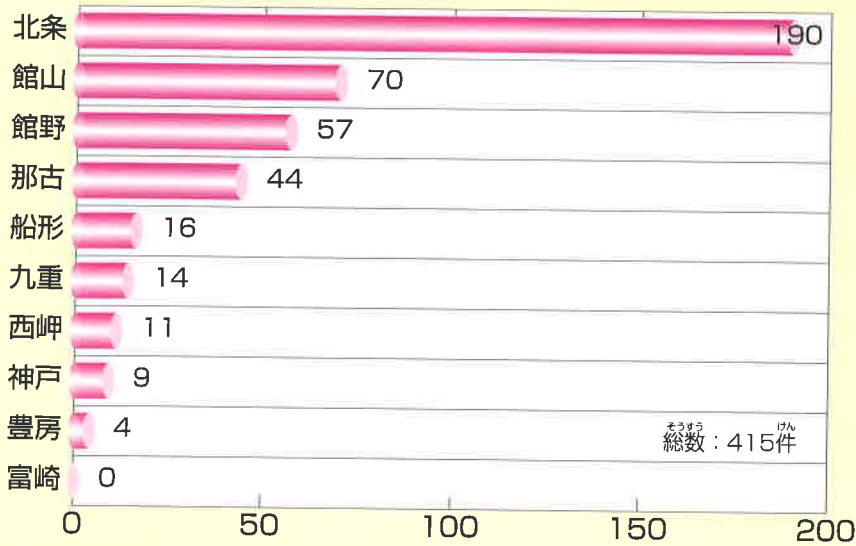


国道128号線

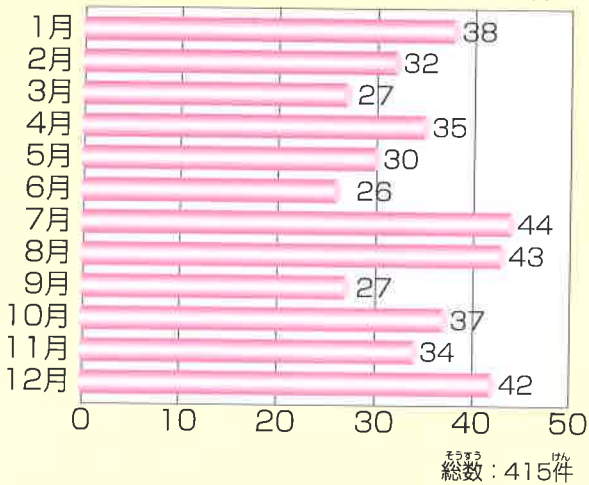


資料：館山警察署

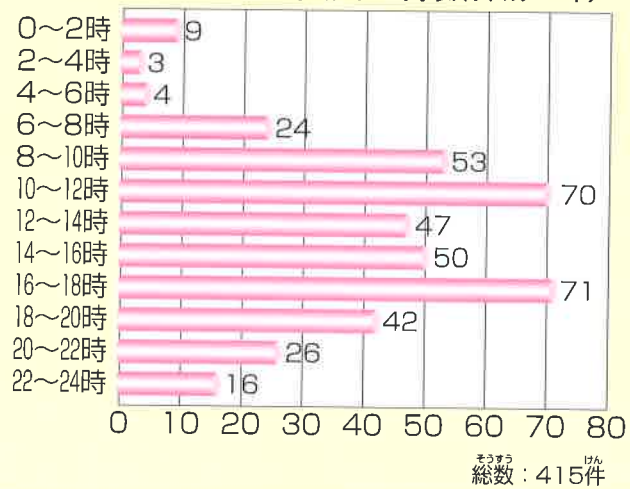
ちくべつ しこはっせいけんすう
地区別に見た事故発生件数 (平成12年)



つきべつ み しこはっせいけんすう
月別に見た事故発生件数(平成12年)



じかんべつ み しこはっせいけんすう
時間別に見た事故発生件数(平成12年)



資料：館山警察署

多くの事故がおこる月と時間帯

1年のうちでは、7月と8月、12月が多く、1日のうちでは、うす暗くなる夕方や午前10時から12時の時間帯に多くの交通事故がおきています。

どうして、このような場所や時間帯に多くの交通事故がおきるのか、みんなで考えてみよう。





シートベルト衝撃体験



安全運転のよびかけ

3 交通事故をふせぐ活動

交通事故をなくすためには、どうしたらいいのでしょうか。警察署や交通安全協会などでは、交通事故をふせぐために、いろいろな活動をしています。

警察署の活動

警察署では、交通事故がおきたときにつけるだけでなく、交通事故をなくすためにも活動しています。パトカーで市内を見まわったり、交通ルールが守られているかをとりしまりしたり、混雑しているところの交通整理をしたりしています。

そのほか、館山警察署では、秋に交通安全教室をひらいています。「秋の全国交通安全運動」の一環としておこなわれる教室では、自動車学校のコースを使って、自分の運転をもう一度点検してもらい運転技能体験や、子どもたちも参加して、シートベルト衝撃体験や自転車の安全な乗り方などの指導をしています。

また、警察署のほかに、市内には交番や駐在所があり、私たちの安全を守るための仕事をしています。



白バイ隊



城山交番



交番と駐在所

交番は、警察官が交替で勤務するところ。駐在所は、警察官とその家族がそこに住み、生活しながら勤務しています。どちらも地域の安全を守るという重要な仕事をしています。

こうばん ちゆうざいしよ ぼしよ
交番・駐在所のある場所



こうつうあんぜんきょうかい かつどう
市や交通安全協会の活動

こうつうあんぜんきょうかい けいさつしよ きやうりよく こうつうしどう こう
市や交通安全協会では、警察署と協力して交通指導や交
つうあんぜんきょうしつ こうほうしゃ こうつうじ こ
通安全教室、広報車によるよびかけなど、交通事故をふせぐ努
りよく
力をしています。

みんなががっこう かよ みち おうだん ほ どう ほどうきやう
みんなが学校へ通う道には、横断歩道や歩道橋、ガードレー
しんごう き あんぜん し せつ
ル、信号機などいろいろな安全施設があります。

くに けん し こうつうあんぜんきょうかい どうろ あんぜん まも
国や県、市、交通安全協会では道路の安全を守るために、こ
うあんぜん し せつ せつ ち ほ どう もう ひろ
うした安全施設を設置しています。また、歩道を設けたり、広げ
たりしてとお やすくする し ごと
たりして通りやすくする仕事もしています。



あんぜんくわんてん
安全運転のよびかけ



じてんしゃ だんぜん の がた しどう
自転車の安全な乗り方の指導

4 私たちにできる交通安全

交通事故にあわないために

子どもの交通事故は、歩いているときと自転車に乗っていると
きに多くおきています。交通事故にあわないために、私たちにで
きるものがたくさんあります。

たとえば、道路を歩くときは、

①「道路へはとび出さない、一度とまって安全をたしかめる」

②「とまっている車のすぐ前や後ろから道路をわたらない」

などがあります。

また、自転車に乗るときは、

①「自分の体にあつたものに乗る」

②「二人乗りや手ばなし運転、かさをさしながらの運転はしない」

などがあります。

夜は、歩く人や自転車は、自動車からよく見えません。特に、自
転車の無灯火は自動車からよく見えないため危険です。交通事
故をふせぐため、明るい服をきて、服や自転車に反射器材をつ
けましょう。



みんなで調べてみよう

私たちにできる交通安全は、まだまだたくさんあります。み
んなで考えてみましょう。

また、学校や家の近くには、どのような安全施設があるの
か、どのような危険な場所があるのかなど、みんなで調べて
地図や表にまとめてみましょう。



いろいろな交通標識



● 横断歩道
 近くにあれば、ここで横断しましょう。



● 自転車及び歩行者専用
 自転車と歩く人だけがとおれます。



● 歩行者横断禁止
 この標識があるところでは、横断してはいけません。近くの横断歩道をわたしましょう。



● 歩行者専用
 歩く人だけがとおれます。自転車はおしてとりましょう。



● 自転車横断帯
 自転車に乗っているときなどに横断できます。



● 自転車専用
 自転車だけがとおれます。



● 一時停止
 いったん止まって左右の安全をたしかめてからとおしましょう。



● 自転車通行止め
 自転車にのってとおることはできません。



白バイに乗ったよ

道路には、いろいろな交通標識があります。どんな標識があるのか、みんなで調べてみよう。



(6) みんなで学びあう



おもちゃ図書館

公民館や図書館、博物館などでは、どのような活動が行われているのかな。調べてみよう。



① ゆたかな生活と生涯学習

国語、算数、理科、社会。みんなは学校の勉強で、何が一番好きですか。

みんなが学校で楽しく勉強しているように、大人の人たちもいろいろな勉強をしています。おいしい食事をつくるために料理教室に通うお母さん。仕事にやくだてようとパソコン教室に通うお父さん。健康のために、マラソンをしている人もいます。

その理由も、「仕事のため」「健康のため」「学ぶことで、人生をゆたかにしたい」などいろいろです。なかには、学んだことをいかして「人のやくにたつことをしてみたい」と、ボランティア活動をしている人もいます。

心ゆたかにくらすために、楽しみながら学ぶことを「生涯学習」といいます。みんなの学校と同じように、みんなで集まって、楽しみながら勉強するために、市内には公民館や図書館、博物館など、いろいろな施設があります。それぞれの施設では、どのような活動が行われているのでしょうか。調べてみましょう。



仲間どうしてパソコンを学ぶ人たち



若潮マラソン大会

2 公民館のようす



コミュニティセンター



子育て支援講座のようす

公民館にでかけてみよう

館山市には、10の地区がありますが、それぞれに地区公民館があります。西岬地区には2つあるので、全部で11の地区公民館があります。

また、北条地区にあるコミュニティセンターの中には、中央公民館、保健センター、勤労青少年ホームなど、いろいろな施設が集まっています。みんなの学校に、教室や図書室、家庭科室、図工室などがあるように、コミュニティセンターにも、いろいろな部屋があります。

1階には、集会室、展示ホール、和室、創作室などがあります。集会室は、講演会や研修会など、大勢の人が集まる時に使われます。展示ホールは、絵画や書道などを展示することができ、発表会などに使われています。和室では、茶道、華道、着物の着付け、囲碁・将棋などができます。創作室では、七宝焼きや陶芸用の窯があり、工芸や美術を楽しむことができます。

2階には、集会室のほかに、保健センターがあり、料理教室ができる部屋もあります。

また、3階には、卓球や体操などができる軽運動室や、音楽室などがあり、エアロビクスやピアノ教室などに利用されています。



ウーマンカレッジ

集会室での講座のようす



パソコン教室のようす



料理教室のようす

サークル活動のようす

みんなの学校でクラブ活動があるように、公民館を利用している人たちも、自分の好きなサークルに入って活動しています。

中央公民館で活動しているサークルの数は、150以上あります。地区公民館などで活動しているサークルをあわせると、300以上にもなります。押し花を楽しんでいるサークルや、陶芸、書道、手話、カラオケ、リズム体操など、その活動もさまざまです。

サークルの人たちは、おたがいの交流をふかめようと、サークル連絡会をつくり、学んできたことを発表しあうために、毎年3月にサークルフェスティバルを開催しています。

また、いくつかのサークルでは、学校などから要望があるとボランティアとして出かけていき、自分たちが学んできたことを多くの人に教える活動もしています。

公民館の仕事

公民館は、サークル活動のほかにも、いろいろな団体が会議などに利用しています。コミュニティセンターや地区公民館などをあわせると、年間27万人以上の人が施設を利用しています。

中央公民館や地区公民館には、館長と職員がいて、サークルの人たちに部屋をかしたり、いろいろな講座や講演会などを開いています。

講座は、館山市の歴史などを学ぶ「ふるさと講座」や花づくりを学ぶ「花・ガーデニング教室」などのほか、消防署などほかの機関と協力して行う「救命講習」や「マイカー点検教室」などがあり、毎回たくさんの方が参加しています。

また、親子を対象に野外活動を楽しむ「たてやまパパママ子育て塾」や「親子クッキング教室」なども人気があり、子どもからお年よりまで、いろいろな人が公民館を利用しています。



サークルフェスティバルのようす



ピアノ教室のようす



花・ガーデニング教室のようす



救命講習のようす



マイカー点検教室のようす



おもしろ 探検隊

館山で生まれた「公民館の歌」

全国に公民館がつくりはじめられたのは、今から50年以上前のことです。戦後、新しい日本をつくるために、いろいろなことが考え出されました。そのひとつに、みんなが自由に集まって勉強をしたり、話し合いをするために、全国に公民館をつくらうという計画がたてられました。昭和20年のことです。



昭和35年、北条小学校でおこなわれた館山市歌の発表会

昭和21年には、全国に公民館をつくる活動を広げていくために、「公民館設置促進中央連盟」がつくられました。

翌年には、連盟と毎日新聞社が協力して「公民館の歌」の歌詞を全国に公募しました。それには全国から1,017編もの応募があり、そのなかから館山市小原に住む山口晋一さんの作品が当選しました。

山口さんは、北条小学校などで教員をつとめるかたわら、このほかにも昭和13年に全国公募

された「万博行進曲」をはじめ、富崎小学校校歌（昭和27年）、館山市歌（昭和35年）など数多くの作詞を手がけています。

以後、レコード化された「公民館の歌」とともに、全国に多くの公民館がつくられ、現在では全国で1万8千館以上を数えます。

昭和27年以来、毎年開催されている全国公民館研究大会では、今なお山口さんの「公民館の歌」が歌いつづけられています。

公民館の歌
（自由の朝）

作詞 山口 晋一
作曲 下総 皖一

一、平和の春に あたらしく

郷土を興す よろこびも

公民館の つどいから

とけあう心 なごやかに

自由の朝を たたえよう

二、心の花の におやかに

郷土にひらく ゆかしさも

公民館の つどいから

希望を胸に 美しい

文化の泉 くみとろう

三、働くものの 安らかに

郷土に生きる たのしさも

公民館の つどいから

まどいになごむ ひとときに

明日への力 そだてよう

3 図書館のようす



館山市図書館



青空読書広場

図書館にでかけてみよう

館山市の図書館は、中央公園のとなりにあります。その歴史は千葉県内でも古く、昭和18年に館山駅前にある中村パン屋さんのおくでオープンしたのがはじまりです。その後、昭和35年に北条地区の南町(現在の国民生活金融公庫のところ)にうつり、昭和47年に今の場所に建てられました。

みんなが学校の図書室で本をかりるように、図書館には大勢の人が本をかりにきたり、図書館の本を使って勉強をしたりしています。年間約9万冊の図書が貸し出されています。

図書館には、約12万6千冊の本があります。そのうち、児童向けの本が約3万冊あります。小説や趣味の本、郷土に関する本、図鑑などいろいろな本を用意して、みんなに貸し出しをしています。そのほか、雑誌や新聞をみることができるコーナーもあります。また、天気がいいと図書館の外に青空読書広場がひらかれ、パラソルの下で本を読むことができます。

図書館では、たくさんの人に本を読んでもらうために、移動図書館「わかしお号」で市内各地区をまわって、本の貸し出しもしています。わかしお号には約2千8百冊の本をのせることができ、みんなの学校にも訪問しています。

また、図書館を利用する人がどんな本があるのか調べるために、家庭や学校からでもインターネットで調べることができます。



受付カウンター



図書館で勉強する人たち



図書利用券



わかしお号



図書館まつり



子どもお話し会



図書館まつり



図書館の仕事

図書館には、「図書館司書」という図書館専門の職員がいて、図書に関する相談のほかに、みんなが利用しやすいように図書の整理や貸し出しの仕事をしています。

図書館を利用するためには、図書利用券が必要です。申し込みをすると、図書館の職員が利用券をつくってくれます。本は1人5冊まで、2週間かりることができます。かえすときに図書館がしまっている場合、ブックポストにかえすことができます。

図書館では、図書の貸し出しのほかに、いろいろな行事も行っています。図書館の集会室では、ボランティアの人たちが紙芝居や絵本をつかって「子どもお話し会」や「映画会」などを開いています。

また、文学にゆかりのある地をたずねる「文学散歩」をひらいたり、秋には「図書館まつり」を開催しています。図書館まつりでは、家庭でいらなくなった本のリサイクル市やお話し会、資料展、映画会がひらかれ、多くの人でにぎわいます。



子どもお話し会



文学散歩のようす

4 博物館のようす



ほくぶつかんほんかん
博物館本館



ほくぶつかんぶんかん
博物館分館

しろやまこうえん たてやましりつほくぶつかん ほくぶつかんほんかん てん
城山公園のなかにある館山市立博物館は、博物館本館と天
守閣のかたちをした分館があります。

こうえん さんちょう ぶんかん しょうわ ほんかん しょうわ
公園の山頂にある分館は、昭和57年10月31日、本館は昭和
58年11月23日にオープンしました。年間4万6千人もの人が博物
館を利用しています。

ほくぶつかん わたし しら
博物館は、私たちのふるさと館山のむかしのことを調べたり、
まな
学んだりできるところです。



ほんかん まかくてんじしつ
本館・企画展示室

ほくぶつかんほんかん 博物館・本館のようす

ほくぶつかんほんかん れきしてんじしつ 民俗展示室、子ども展示室、
きかくてんじしつ ビデオルームなどがあり、安房の国の歴史を物語
る品々が展示されています。

れきしてんじしつ とし きそ せんごくだいみょう
歴史展示室では、館山市の都市の基礎をつくった戦国大名
さとみ しちゆうしん、館山市の歴史を紹介しています。

かい さとみ し れきし なんそうさとみ はつ
2階にあるビデオコーナーでは、里見氏の歴史や南総里見八
けんてん ものがたり べんきょう
犬伝の物語などをビデオで勉強することもできます。

民俗展示室では、むかしのくらしを、農家の屋敷を復元して紹
介しています。また、子ども展示室では、土器の復元パズルが楽
しめる体験コーナーもあります。

にちようび しゆくじつ せんごくじだい かっちゆう ちやくようたいけん
そのほか、日曜日や祝日には戦国時代の甲冑の着用体験も



ほんかん れきしてんじしつ
本館・歴史展示室



ほんかん ビデオコーナー

できるなど、いろいろな人が歴史の勉強を楽しみながらできるように工夫されています。

博物館・分館のようす

城山公園の山頂にある分館では、おもに「南総里見八犬伝」にかかわる250点もの品が展示されています。また、最上階からは、鏡ヶ浦を中心とした市街が一望できます。

南総里見八犬伝は、安房の領主里見氏をモデルに、江戸時代の作家滝沢馬琴が、28年間かけて書き上げた物語で、全106冊という日本でもっとも長い、世界でも有数の長編小説です。機会があったら読んでみましょう。

博物館の仕事

博物館には「学芸員」という博物館の専門の職員がいます。むかしのものを大切に収蔵庫に保存したり、館山市のむかしのくらしや、歴史を調べて、企画展をひらいたりして、館山市の歴史をみんなにわかりやすく紹介しています。

また、企画展の開催などのほかに、歴史講座や火おこしなどの体験講座をひらいています。とくに、各地区の文化財などをまわる歴史探訪は、毎回100人ほどの参加があり、人気があります。学芸員の人たちは、地区ごとにコースをつくり、いつでも文化財などを見てまわることができるように、解説つきの文化財マップを作って、配布しています。

公民館や図書館、博物館では、どんな工夫をしているのかな。みんなででかけて調べてみよう。



本館・民俗展示室



子ども展示室



分館からみた館山市のまちなみ



歴史探訪のようす



歴史探訪マップ

5 市内の公共施設

市内には、公民館や図書館、博物館などのほかに、スポーツを楽しむための施設などいろいろな施設がたくさんあります。

みんなの学校や家の近くにある公共施設では、どのような活動がおこなわれているのか調べてみましょう。

市内公共施設マップ

館山市中心部

【市】

- 1 館山市役所
- 2 (仮称)介護・福祉情報センター
- 3 館山市コミュニティセンター (中央公民館・保健センター)
- 4 館山市図書館
- 5 館山市立博物館
- 6 館山市教育センター
- 7 館山市営50mプール
- 8 菜の花ホール
- 9 館山地区公民館
- 10 豊津ホール
- 11 館山消防署
- 12 館山駅自由通路・市民ギャラリー
- 13 錦ヶ浦クリーンセンター

【県】

- 14 安房合同庁舎
- 15 安房保健所
- 16 館山警察署
- 17 千葉県立安房博物館
- 18 千葉県教育庁安房地方出張所
- 19 安房教育会館

【国】

- 20 館山簡易裁判所・家庭裁判所
- 21 検察庁館山支部
- 22 館山税務署
- 23 法務局館山支局
- 24 労働基準監督署
- 25 館山測候所
- 26 館山郵便局

【学校】

- 27 県立安房高校
- 28 県立安房南高校
- 29 県立安房水産高校
- 30 私立安房西高校
- 31 市立第二中学校
- 32 市立第三中学校
- 33 市立館山小学校
- 34 市立北条小学校
- 35 市立館山幼稚園
- 36 市立北条幼稚園

【保育園】

- 37 市立中央保育園

館山市内全図

【市】

- 38 私立アンデレ保育園
- 39 私立基督教会附属保育園
- 40 私立館山ユネスコ保育園
- 41 老人福祉センター
- 42 館山市福祉作業所
- 43 館山老人ホーム
- 44 中里の家
- 45 学校給食センター
- 46 市民運動場
- 47 安房医師会病院
- 48 館山火葬場
- 49 三芳水道作名浄水場(作名ダム)
- 50 館山市環境施設センター
- 51 那古地区公民館
- 52 船形地区公民館
- 53 西岬東地区公民館
- 54 西岬西地区公民館
- 55 神戸地区公民館
- 56 富崎地区公民館
- 57 豊房地区公民館
- 58 館野地区公民館
- 59 九重地区公民館
- 60 出野尾老人福祉センター
- 61 市営温水プール
- 62 市営市民体育館
- 63 市営西岬市民体育館
- 64 多目的運動場

【県】

- 65 県立館山運動公園
- 66 南房パラダイス
- 67 館山野鳥の森

【国】

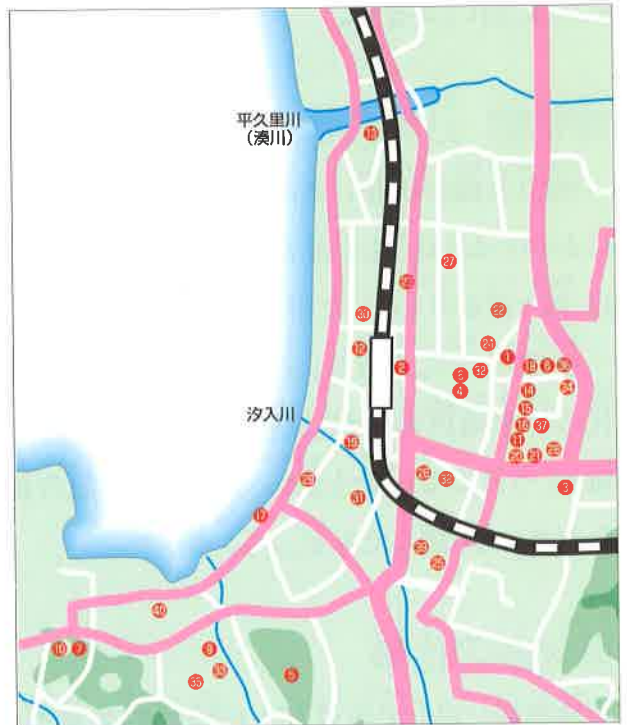
- 68 館山公共職業安定所
- 69 館山観光案内所

【その他】

- 70 館山商工会議所
- 71 国民休暇村にしざき荘
- 72 いこいの村館山

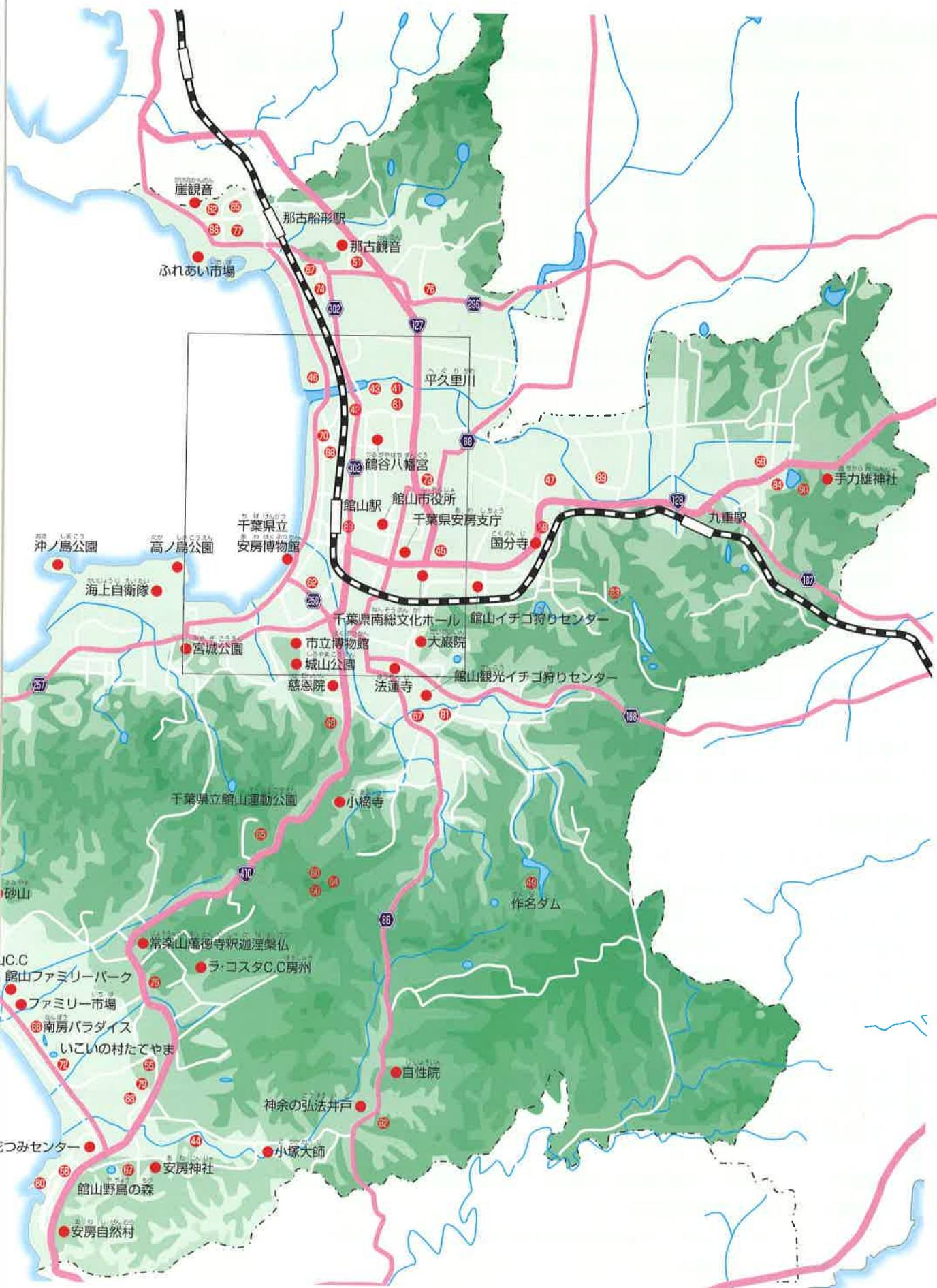
【学校】

- 73 県立館山高校
- 74 市立第一中学校



学校の近くにある施設を調べてみよう。





企画・編集関係者

(順不同・敬称略)

ふるさと学習副読本「南総たてやま発見伝」編集委員会 (館山市教育問題研究委員会)

◎神戸小学校 校長 佐野 元 (平成12年度～13年度)

○房南中学校 教頭 嶋田 裕史 (平成13年度)

館山小学校 教諭 松田 雅司 (平成12年度)

館山小学校 教諭 岡崎 靖 (平成12年度)

館野小学校 教諭 石井 恵子 (平成12年度)

第一中学校 教諭 池田 俊朗 (平成12年度)

房南中学校 教諭 加瀬 俊浩 (平成12年度)

那古小学校 教諭 真木 泉 (平成12年度～13年度)

館野小学校 教諭 永井 悟 (平成12年度～13年度)

北条小学校 教諭 黒川 健二 (平成13年度)

西岬小学校 教諭 川名 直樹 (平成13年度)

第二中学校 教諭 田中 和人 (平成13年度)

第三中学校 教諭 土橋 純也 (平成13年度)

(◎委員長 ○副委員長)

企画・編集協力

館山市教育委員会学校教育課・生涯学習課・館山市立博物館

館山市企画部企画課

協力・資料提供

(順不同・敬称略)

千葉県南房パラダイス・千葉県立野鳥の森・千葉県立安房博物館・千葉県安房農業改良普及センター・JA安房・館山警察署・安房郡市消防本部・三芳水道企業団・UMCジャパン株式会社・株式会社ミヨシ・株式会社カネフク・小池 康之 (東京水産大学)・山井 廣 (千葉県生物学会会員)・平本 紀久雄 (水産学博士)・三瓶雅延 (沖ノ島サンゴを見守る会)・黒川 浩 (花農家)・成田 均 (ダイバー)・大竹 邦明 (館山海ほたる観察倶楽部)・安藤 智 (館山天文クラブ)・難波昭一 (平砂浦海岸植物園)・須藤 裕紀 (須藤牧場)

参考資料

館山市史 (館山市/1971年)・館山市総合計画 (館山市/2001年)・館山市統計 (館山市/2000年)・館山市の文化財 (館山市教育委員会/1992年)・社会科郷土学習資料「館山市の生活」第7版 (館山市教育研究会社会科部会編/1993年)・「千葉県の自然誌」本編7 (千葉県/2000年)・「しおみ」移動教室副読本 (新宿区教育委員会/1999年)・安房の校歌と応援歌 (忍足利彦編著/1995年)・房州いちごのあゆみ (房州いちご組合連合会結成30周年記念事業実行委員会/1985年)・豊房郷土誌 (豊房地区コミュニティ委員会/1984年)・耕心 (JA安房神余支店/2001年)

ふるさと学習副読本「南総たてやま発見伝」(上巻)

平成14年3月 初版発行

編集者 ふるさと学習副読本「南総たてやま発見伝」編集委員会 (館山市教育問題研究会)

発行者 館山市教育委員会

〒294-8601 千葉県館山市北条1145-1 TEL0470-22-3111

印刷・製本 (株)集賛舎

〒294-0014 千葉県館山市山本226 TEL0470-22-2277

ねん 年	くみ 組	しめい 氏名
---------	---------	-----------